夕刊　滿洲日報
十月廿一日
發行所　大連市東公園町廿一番地　株式會社滿洲日報社

鐵相と懇談の結果 正式撤回に同意

【東京特電廿一日發】井上藏相は午前十一時江木鐵相と懇談の結果、正式に減俸案の撤回に同意した

金解禁を斷行し 來議會は解散に決す

【東京特電至急報二十一日發】政府は昨日來愼重協議の結果、減俸問題に關しては政府は多くの先例に省みて引責等のことには觸れず單に財政缺陷の補ひは別に考慮することにするとの理由を以て、あつさり減俸案を撤回することに決定した、而して政府はその後反對黨の攻擊には耳を藉さず一氣に豫算を編成、一路金解禁斷行の準備を進め來議會に對する政府の陣容を固めて解散するとに決定

撤回と政府部内の意見 全く政策の破產ではないから 責任問題は起らぬ

【東京廿一日發電】減俸案撤回によつて起る政治的責任問題等につき政府部内では左の如き意見が多い

一、政府は來年度豫算編成上また金解禁のため整理緊縮政策遂行上、減俸案を斷行したのであるが輿論がこれを不可とする以上、政府はこれを無視するを得ぬ、政府は結果に對する觀測を過つた責任はあるも、それは政策そのものの破產ではなく、その遂行の手段を過つたに過ぎないから他にとるべき途を選んで、その政策を遂行せばよい、この政策は現政府を措いて他に遂行するものはない

一、閣議の決定は閣僚間の内部的問題で撤回は幾多の前例を有す例へば田中内閣は裁判所改正法を樞府に御諮詢後、撤回した、しかも現政府は未だ公式手續をとらず輿論に傾聽して撤回するので輔弼の責任を顧みぬとはいはれぬ

二、一旦聲明したことを飜したるも輿論を尊重する政府の率直なる態度は國民これを諒とせん

一、義務教育費增額と減俸とは關係なきも減俸撤回の結果、豫算に多少の影響あるも義務教育費には充分の考慮を注ぐ積りである

減俸案は撤回しても 責任問題は起らぬ
窮屈な財政が一層窮屈になる ◇―井上藏相かたる

【東京廿一日發電】官吏減俸案撤回問題は各閣僚の歸京を待つて二十二日の定例閣議に濱口總理より提示、各閣僚の同意を求める段取となる模樣で、これに對して井上藏相が容易に贊意を表明するであらうか、藏相の今日までの本問題に關する言明よりするも、官吏の減俸案が

金解禁　を目標として鋭意緊縮豫算編成の上にやむを得ざるものとして世間の反對論を豫期して立案せるものであるだけに井上藏相は一應は强硬なる反對意見を述べたる後、計畫遂行を不能ならしむる虞ある政治的事情を豫想して同意するに至るであらうと見られてゐる、右に關し井上藏相は、この問題をどう考へてゐるか、二十日午後六時、麻布三河臺の邸にて左の如く語る

濱口總理がどんな考へを持つてゐるか知らぬが、若し撤回を決意するならその前に先づ各閣僚に相談されるのが當然で、未だ

撤回　すると決めてしまつた譯でもあるまい、何事に限らず一旦こうと決めたことは餘程重大なることがない限り、これを止めるといふことを考へる丈けでも惡いのだ、我輩は減俸問題に對し、こんなにまで世間の反對があり、こんな成行にならうとは豫想しなかつた、何も殊さら事情はない全く始めから技術や方法の點で考へが足りなかつたのだ、併し今だつて我輩は減俸そのものを決して惡いとは思つて居らぬ、世間も決して

反對論者　ばかりではない毎日驚くほど贊成や激勵の手紙が未知の人から來てゐるくらゐだ、撤回反對意見は恐らく他の閣僚よりも我輩が一番强硬だらう、それは豫算を弄つて見たものゝみが持つ意見なのだ、明年度豫算なんか三度やり直して見て、その結果どうしてもあそこ（減俸）まで行かなければならなかつた、ずつと以前に減俸問題もあつたが、あの當時は幾億圓といふ

剩餘金　があつて年々自然增收もあり、財政には充分の餘裕があつたから今日とは全く事情が異つてゐる、若し減俸を止めれば、たゞでさへ窮屈な財政が一層窮屈となるだけで明年度豫算編成に支障を來すやうなことは絕對にない、内閣の生命を賭してまで是非とも實行しなければならぬといふ程の問題じやないよ、如何に正しいことでも成し遂げることの出來なくなるやうな事情があれば、これを無視する譯には行かないよ、この問題がどう轉んでも責任問題の起りやうはないぢやないか

首相と懇談 法相、鐵相が

【東京廿一日發電】渡邊法相は二十一日午前九時、江木鐵相は同九時半官邸に濱口總理を訪問、減俸案撤回について懇談した、次で松岡均平男も首相を訪問して貴族院

老虎クレマンソー翁 危篤狀態に陷る

【パリー廿一日發電】フランス政界の元勳クレマンソー氏は昨夜九時、激しき心臟病の發作に襲はれ五回に亘り强心劑注射および酸素吸入を受けたが恢復の徵なく午前一時極めて危篤狀態に陷つた

大事な時だ

【東京卅一日發電】減俸反對運動の火蓋を切つて總辭職の悲壯なる覺悟までしてゐた檢事連は減俸案撤回と聞いて何れも快哉を叫び思ひ〳〵に祝杯を擧げたが代表者の一人なる松坂地方次席檢事は語る

結構なことだ、われ〳〵の正しき希望が完全に通つた譯で實に嬉しい今日からは心を新たにして働く何しろ今は一番、忙しい大きな事件を手に掛けてゐる大事なときだから

つた

飾の情勢につき報告するところあ

撤回の結果 政治上の觀測諸相

【東京特電二十一日發】政府が減俸案を撤回する場合は政府の責任問題その他、種々なる結果が豫想される、即ち

一、責任ある内閣が、その重要政策遂行のためにとるべき途なく止むを得ざるに出でたる手段なりと稱し多數者の生活に直接犧牲を要求するが如く閣議で決定し堂々、聲明した後、反對の聲に脅かされ、これを撤回するが如きは政策本位を看板とし責任政治を高唱せる現内閣として、その政治的責任を免れぬを得ない。かゝる豹變が頻々と行はれるに至らば遂ひに責任政治の根本は破壞されるに至るであらう

一、閣議の決定は政府最終の意思決定であり、その發表は責任内閣の國民に對する重大なる公表である。然るに一旦、反對に遭つて忽ち屈して撤回するは無定見極まる、又かくの如き重大なる社會問題を惹起すべきことを豫見するの明を缺き陛下の大權に關する官吏の俸給につき減額を天下に言明しながら正式手續をとらざる故を以て輕率に撤回するは政治を弄び輔弼の重任を全うせざるものなり

一、政府は諒入の減退を補ひ消費節約を徹底せしむるため止むを得ず減俸を斷行すると稱しながら、これを撤回するは政府の財政計畫および整理緊縮政策、金解禁實行上の缺陷および無爲無能を暴露するものである

一、政府の威信を傷け農村における不人氣を招來し政友會に好個の武器を與へるものである

一、義務教育費國庫負擔增額の財

手段が惡い

【東京廿一日發電】公正會黑田長和男語る＝減俸案はその趣旨は認め得ても全く過つた手段であると思ふから區々たる面目に捉はれず率直に撤回することは政府としても賢明であり國家のためにも結構なことゝ信ずる、現内閣の政策施設はまだ國民の輿論を失つてゐないが減俸案は過ちに違ひないがこれを改めれば政府の責任論は有力になるとは信ぜられない、この點惡政を重ねた政府の失策と同一視する譯には行かぬ

俸給生活者の組合が これからは大馬力で

【東京廿一日發電】秋山豫審部長判事は語る＝愉快だかくあるべきが當然だが過ちを知つてあつさり撤回した濱口氏は偉い、判事連も既に昨日肚を決して大部分のものは撤回されずんば辭職する積りでゐたのだ、この度の各方面の動きが刺戟となつて今後、俸給生活者の組合が生るゝとになるであらう

【東京二十一日發電】鹽野檢事正談＝とう〳〵撤回されたが、これで檢事も辭職せずに濟んだ、實は一兩日中に撤回になつて呉れゝばよいが二、三日と經過するうちには若い連中は痺れを切らして大變なことになりはせぬかと心配してゐた今日から陣容を立直して疑獄事件其他に大馬力をかける積りである

撤回は賢明な處置 富田民政幹事長談

減俸案の撤回により負擔增額案の實現至難となり總選擧對策上與黨を不利ならしめる等の結果が豫想されるが、政府が、これらの非難に對し如何なる態度をとるかは頗る注目されるところである

【東京廿一日發電】減俸案撤回に決せるについては與黨としては、これを是認し飽くまで政府を支持し時局に善處せしむべきである、これが政策問題なら兎もかくただ金解禁の準備行動の一部に過ぎないのであるから、これを撤回したからとて別に責任問題など起らぬと信ずる一旦、閣議で決めたものであつても重要な政策問題でもないし、この際輿論に聽從して撤回せんとするに至つたことは輿論を尊重する所以であり賢明なる處置であると思ふ

藏相も釋然と 撤回に同意した ◇―江木鐵相談

【東京廿一日發電】江木鐵相は二十一日朝關西より急遽歸京して濱口首相と會見した後さらに午前十一時、井上藏相を官邸に訪ひ減俸案撤回問題につき懇談、同三十分辭去した、鐵相は語る

減俸案はいよ〳〵無條件で撤回するに決した乃ちこの種の案を他日再び提議するやうなことはない、絕對的無條件撤回である、これに關聯して井上藏相の面目とか引責辭職とかのやうなことも傳へるものがあるけれども、この點について總理ならびに自分からも腹藏なく藏相に打明け充分意見を交換した結果、藏相も至極釋然として撤回に同意した、また政府の責任論についてもこの問題はまだ立案の過程にあつたもので上奏の手續をとらざるは勿論、原案すら未定項であるから一切起る譯はない

猛省すべし 森政友幹事長談

【東京廿一日發電】我々も減俸案を速かに撤回するがよいと思ふ、ただ撤回により我々が痛感するは

一、民政黨の政策遂行に當る決心が當てにならぬものたること

二、國民の中堅に脅威を與へまた勞働者階級に波及する影響を恐れしめ且つ國務の澁滯、購買力の低下により國民消費を萎微し、しかも内奏までして聲明した政策を撤回するに政府は如何なる責任を取らんとするか

三、勞働團體の團結權すら否認してゐる政府はこの官吏の團結に對し事實上、降參したことになり政治上、重大なる禍根を貽すものである

要するに、減俸問題により國民は濱口内閣が實行力を有せず、また國民生活の實際を破壞せざること

何の面目ありて 國民に見ゆる 藏相は當然辭職せよ ◇―政友會評

【東京廿一日發電】政府が官吏減俸案を撤回することに決定したとの報に接し政友會では政府の朝令暮改的態度に全く啞然たる態である、これに對する批評は大體左の如くである

閣議において全閣僚一致の意見により殊に總理の說明書まで發表して天下に公約した官吏減俸案を今日、直ちに輿論が反對するの故を以て、これを撤回せんとするは國政を弄ぶの甚だしきものである、而して内閣の威信いづれにありやといひたい、閣議の決定事項は内閣全體の連帶責任である天下に公約せる政策を忽ち撤回して何の面目ありて政府は國民に見えんとするものであるか生產方面の活動をなさず、ただ節約緊縮を一枚看板とせる現内閣は減俸案撤回によりその節約緊縮政策も拋棄せるものと斷ずべく現内閣存立の意義は、ここに全く失はれたものである要するに政府の威信は全く失墜し減俸案撤回の結果は井上藏相は當然、辭職すべく引いては内閣瓦解の端を發するものである

樂觀は許さぬ 責任にはならぬが 藏相の輕率が問題 ◇―政治的に

【東京廿一日發電】減俸案撤回内定に對し事態重大化を憂慮して來た貴族院は大體好感を以て迎へ殊に反對の急先鋒と見られた公正會は政府の率直なる撤回に贊意を表する形勢に一轉して來たほどであるが政府の責任論については、今直ちに起らずとするも今回の失態によつて政府の威信傷き今後、重要政策の遂行上、種々支障を來すべく殊に藏相、今回の淺慮輕率は早晩、貴族院においても問題となるべく井上藏相を以て金解禁斷行の重責を良く全うし得るや疑惑を抱くものすらあり研究會、交友倶樂部方面の反政府系ではこの氣運に乘ぜば今日の貴族院の大勢は平穩に歸しても將來の對政府關係は相當多事なるものあるべく決して政府の樂觀を許さぬだらうと稱してゐる

を知つたのである政友會としては靜かに事件の推移を監視する積りである政府はこの不祥な禍根を貽したことに對し猛省すべきである

貴院議員入津

【天津二十日發電】内田嘉吉氏を團長とする貴族院議員十二名の一行は十九日朝東站に到着し常盤ホテルに少憩、岡本總領事の案内で陸宗輿舊邸内の宣統帝を訪ね各國租界を視察し正午、官民有志の歡迎午餐を日本倶樂部に受け午後三時五十分發列車で北平に向つた

豫算の査定は終つた 大問題は總裁着後 請負制度も總裁の考へ一ッ 大平滿鐵副總裁談

昭和五年度の經費豫算査定も本日午前を以て大體、一通りは終了して來る廿六日、着任を見る仙石總裁に供覽決裁を仰ぐだけになつた併し事業費も、經費豫算もこのまゝ決裁を得るか否かは總裁供覽後でないと何んともいへない

昭和製鋼所　問題は總裁着任の日までに餘日があれば委員會を招集するかも知れぬが同問題は總裁自身も大問題として居られるし、また社會的にも國家的にも大問題であるだけ委員會での研究結果を詳細に總裁へ見て貰つて總裁は更に上京後、各方面の人を加へた委員會に諮つて最後の決定を下されることにならう自分の今日の立場としては、これ以上同問題についてのお話は出來ない旅順市長および市會議長の訪問を受け製鋼所の旅順建設方も聽いたけれど關稅問題である關係上

建設地など　は未だ何ら考へてゐない前總裁の請負制度これは山本君が最もよい方法としてやつたことで實際上よい成績を擧げたけれどこの制度は山本君も永續せしむる方針であつたか否かは知らないが一つの興奮劑として用ひられた方法であらう併し今日ではその藥もきゝ過ぎてゐないかとも思はれる滿鐵は一つの大きなシステムだから鐵道なり礦山なりの一部に請負制度を採用してこの組織を破壞するやうでは困るから自分としてはシステムを破壞せずやつて行きたいと思つてゐる、何れの會社にせよ

請負制度と　いつた方法を講ずれば必らず幾らかの利益は現はれるが會社そのものゝシステムを破壞されるのを虞れるからやらないだけの話だ、併し僕は同制度をやめるといふ譯でない副總裁の着任後總裁が果してどうお考へになるかは知らない

官地分割拂下 泰山街、王陽街方面の

大連民政署では泰山街、王陽街方面の官有地拂下希望者が非常に多いので愈々來月四日午前九時より午後四時まで（入札未了の場合は翌日も入札をなす）民政署において競爭入札に附し翌日午前九時開票することになつた

入札土地は王陽街三六三番地外十九筆、泰山街一一番地外三十五筆、總坪數二千四百五十九坪であるが何れも三十坪乃至七十坪の小分割地で入札方針は一人一筆主義をとるが特別の事情あるものに限り接壤地二筆の入札を許すと

中央市場の改善と 教育費の改善を 市會に提案すべく 委員會に諮問の模樣

大連市營中央市場の改善は既に市場規則改正案が成り漸々準備が進んだので今週中、社會常置委員會を開き種々改善策を附議諮問する筈であるが委員會の意向によつては新に擴大した委員會を開きたるのち市會に提案することゝなるであらう、次に市教育の緊縮および經費上の問題についても今週中に教育常置委員會を開く筈であるが提案事項中、彌生高女および商工學校に關するものは既報の通りで外に市が負擔する各小學校の物件費（備品費及消耗品費等）は燃料費を除いて生徒一人當り年額約十圓の多額に上るが内地にては主要

公私經濟緊縮 第二回總會

滿洲公私經濟緊縮委員第二回總會は二十四日、大連市會議場で開催されることゝなつた

池田代議士 二十一日死去

【東京廿一日發電】秋田縣選出政友會代議士池内廣正氏は二十一日胃潰瘍で死去した

糞尿の搬出 香爐礁送りか

大連農會が大連市より購入してゐる糞尿は農會の西山會および西礁糞池搬出の契約であるが市との經費の關係上近距離の西山會糞池に專ら供給してゐる、時に糞尿需要閑散期に當るため西山造甲の第二の假糞池をも充たし目下假糞池では假糞池をも日ならずして充滿する豫想で、かつ衞生上も面白からぬことがあるので市當局では經費を惜まず香爐礁糞池に輸送すべく目下、吉野民政署衞生課長と杉山市衞生係主任との間に打合中である

はるびん丸乘客

二十三日入港のはるびん丸主なる乘客左の如し

難波義雄、山下汽船社員三好良三、阪神築港會社員伊東三吉、國際運輸會社員河野九郎、内外棉花會社員川作太郎の諸氏

人事

▲最所文二氏（日本航空會社營業所長）廿一日二十時半京城より來連

▲德留清一郎氏（同京城出張所長）同上

▲三木遞信局府金課長　二十一日旅順往復

▲田中千吉氏（大連民政署長）歸任

▲松尾愿氏（前大連商議囑託）二十三日午前九時發列車で▲連

荻川放談（109） 自給自足

一家でも、一國でも、自給自足が出來ねば、世界に對し、世間に對し、立派なことは云へぬ、米國が近時の活躍も、國内豐富の資源を消化して餘りあるからで、然り自給自足は、一家、一國の獨立を保つべき最低の限度たり、それ以上に世間世界へ顏を出さうとするには、自給自足を越えての過剩がなければならぬ、併しどの家も、どの國も、皆自給自足とゆく譯でない、そうしたものに之を强ゆれば、反つてそこに破綻を生ずる、寧ろ足らぬを他に採り、内から生ずるによつて之を償ひ、償ふて尙餘りあらしむべきで、而してそれこれも亦自給自足と云ふを得ん。

◇

斯ふしたことから、關東州及び在滿邦人を觀る、果して其自給自足を全ふしあるか、遺憾ながら未だしである、曾て此處にも黃金時代が覗れたが、其の場合に邦人は自給自足の策を樹てなかつた、それで今日は多く人任せである、體よ、個人なり團體が、事毎に他力本願を發揮する醜さを、恰も之をして習ひ性たらしめた感がする、若し一國一家に自給自足を必要とするなら、處在を同くし、目的を等しうすると思はるゝ關東州及在滿邦人の一團に、どうしてそれが必要と云ひ得べき、時代は緊縮である、此機會に於て關東州及在滿邦人は、須らく自給自足に入るべし。

◇

此自給自足に入らんとせば、關東州及在滿邦人は、其一團に於て、國家を本位とする外貨抵制の外に、其團内だけの外貨抵制をもやるべし、之で生產を興して失業を防ぎ、これとともに消費節約を實行して、國家の財政緊縮に共鳴し、以て我經濟國難を打破するのである、斯くすれば國難を打破し得るのみか、自己の獨立をも購ひ得て、滿洲に活躍するの素地を作る譯となる然らば關東州及び在滿邦人の其經團内に於ける外貨抵制とは何ぞや、必要以外に内地の物貨を欲しがらぬことなり、一片の刺身でさへ、内地ならではとの贅澤を取去ることなり。

◇

そうすると内地生產を阻まざるかと、云ふ勿れ、内地の生產は共喰第一主義に立つべきでない況んや微々たる關東州及び在滿邦人の需要をやで、而も此一團の自給自足こそは、國家富强の基をなすべきもの、一家の獨立あつて一國の獨立あり、關東州及在滿邦人の一團が經濟的に獨立せんか、國家經濟の上に裨益するところ、蓋し莫大なるなからんや、若し夫之で支那人を肥やすとの憂ひあらんか、そこに交易の方法あり、内地、關東州及び在滿邦人によつての生產で其回收を圖るがよい、何でもよし、今少しく關東州及在滿邦人間に生產が興らねばならぬ。

會においてさへ四圓を平均とし最多のところで七圓に滿たない況にあるので、これが改善案を諮問する模樣である

大觀小觀

減俸案、とう〳〵幽靈のやうに姿を消すことになつた。

◇

しかし、金解禁はせねばならない。無い袖で明年度の窮屈な豫算を成せねばならぬ、とあつては、その正體を、何らかの形で現はすとであらう。

◇

國民としては、減俸案を引きしめた責任を負つて、節約の目的達成に努力せねばならない。

◇

果斷な事の祝杯云々など、いか世間を知らぬ不謹愼の言動すべきか。

◇

たゞ問題は、國民一般が緊縮、整理緊縮の國難匡救に邁進することが肝要である。

輕率なりといふ政府の責任も、責任を問ふのみにて問題の打開は望まれず、そこに積極的の緊張がなくてはならぬ

天氣豫報

廿一日　南西の風晴れ一時曇
日出　六、〇九　日沒　五、〇七
滿前　六、三〇　滿後　〇、一〇
干前　〇、〇五　干後　六、二〇

ボンヤリ歩くな 大事な命が危ない

交通地獄時代大連に再現す タッタ二日間で六件

交通受難の時代は再來した、自動車、電車、馬車、人力車自轉車等に衝突する、十九日と二十日の二日間でもザッと六件、重傷、輕傷、破損、修理――血腥さい事件と破壞的な鉢合せは市民を極度の不安に陷らしめた

引倒されたうへ 車輪の下敷 自轉車乘り重傷を負ふ

十九日午前十時ごろ大連監部通四十二番地先に於て旅順水師營西南街德運自動車公司かた運轉手王安邦(二)の貨物自動車と山縣通り二一三義昌公司店員殷利候(二)の乘る自轉車と衝突し、殷は自轉車と共に倒れたところを更に車輪にかけられ左右膝關節その他數ヶ所に全治まで四十日を要する重傷を負はされ、そのうへ自轉車に約十圓の損害をうけた

驀進自動車 無燈自轉車を刎ね飛し 更に電柱と衝突す

同日午後五時四十分には春日町二二大連タクシー運轉手澤田甚一(二)が若松町へ乘客を迎へに行く途中櫻花臺二十二番地先きに差し蒐つた時、荷馬車數臺が行列して同方面へ進行してゐるので規定以上の速力を出して之れを追ひ越した刹那、越後町二二三硝子商天和盛店員崔鐵公(二)が無燈の自轉車を飛ばして疾走し來たのに激突し張を電車線路内に抛飛ばしたうへ約十米突先の電柱に衝突し張を一時人事不省に陷らしめ全治五日の擦過傷を與へたが、自動車も車體を破損し三十圓の損害を蒙つた

自動車と人力 車側面衝突

同日午後十一時三十分には愛宕町十番地先路上に於て春日町四五平和タクシー運轉手山崎遜三(二)の自動車と八幡町車夫合宿所内車夫張培臨(二)の人力車と側面衝突し人力車は顚覆されたうへ車の心棒を折り曲げられ一圓八十錢の損害を受けた

曳馬狂奔 電車と衝突

同日午後三時二十分ごろ一號系統電車が深水千城(二)運轉の許に寺兒溝に向け進行の途明治町二番地先に差し蒐つた時、折柄撒水中の市役所撒水夫潘善昌(二)の撒水車曳馬が電車の警笛に驚いて狂奔し電車軌道内に飛び込んだ爲め相互……

滿電バス トラクターと激突す

廿日午後八時三十分には大山通りと吉野町の十字路に於て滿電バス……

國際競技 寫眞ニュース

【上】は劉風竹東北大學副校長夫人から賞品を受ける南部忠平選手【下】は日獨支競技中の呼びもの八百米突リレーの盛觀

無許可の運轉手 人力車を監部通りで引ッ懸ける

運轉手湯田平泰藏(二)の操縱する滿電バスと小崗子永樂街一二義昌公司運轉手劉學雲(二)のトラクターと激突しバスは三十圓、トラクターは約三圓の損害を負ふた

二十日午後三時には監部通り七十四番地前路上に於て浪速町五三澤吉五郎かた店員河口桂太郎(二)は運轉手の許可なく三橋かたの自動車を操縱し八幡町車夫收容所内車夫謝立孟(二)の人力車と衝突し人力車を顚覆し車體を破損せしめ十九圓の損害を與へた

顚覆刑事 遂に死亡

廿日午後三時ごろ犯人護送のもとに犯跡捜査を終へサイドカーにて南關嶺より歸署の途中、金州道路において奇禍にあつた小崗子署刑事風呂田誠三氏はその後大連醫院において加療中であつたが、廿一日午前十時五分遂に死去した風呂田刑事は廣島縣賀茂郡上黒瀬村生れで大正十三年十二月關東廳巡査を拜命、爾來小崗子署勤務昭和三年六月刑事係を命ぜられたもので極めて剛膽な半面に温情に富み内外共に氣受けよく、今回同刑事の死は惜まれてゐる、なほ家族は妻女マツ子(二九)さんのほか當年二歳になる長女があると

旅大選手 けさ歸連

國際競技出場の奉天の日獨支競技で健闘した大連旅順の滿洲側選手は男女とも元氣旺盛に二十一日八時着の列車で歸連したが、驛頭には彌生高女生徒を始め多數の各關係者の出迎へあり大いに賑はつた

大連觀世協會 創立發會の謠會

當市在住の觀世流師範泉泰一朗、堀田勇、渡邊與十郎、高橋忠次良の諸氏發起となり今回觀世流の合同會を創立、會長には大連市長を推し、相談役として若干知名の士を擧げ師範連は理事として斯道發展向上のために努力し、來る廿七日午後一時から市の社會館でその發會を催す由、番組け左の如くで多數の來會を望むと

「素謠」三輪、鉢木、井筒、松風、花筐、安達原、天鼓「囃子」清經、猩々「狂言」三人片輪、外仕舞

二機雁行して 一路臺灣へ

けさ海軍機、太刀洗を出發 申分ない飛行日和

【太刀洗二十一日發電】所澤、臺灣屏東間海洋航空路の新記錄を作るべく大飛行の壯途に上つた陸軍機三機(一機は豫備機)は二十日午後所澤より一氣に太刀洗に飛來同夜は當地一泊諸種の準備を進めてゐたが、二十一日は絶好の快晴に各飛行士の意氣大いに昂り午前四時起床、機體の點檢その他一切の準備を終へ六時太刀洗飛行隊員の見送裡に四十一號機は加藤大尉操縱、齋藤中尉同乘、四十號機は濱澤大尉操縱、中村中尉同乘、豫備機を殘して二機雁行一路臺灣に向つて飛翔した

赤ン坊自慢

慈愛溢るゝマヽさんて 第二回審査會賑ふ

大連市役所主催の第二回赤ん坊の審査會は廿一日午後一時より市社會館において開催、正午頃より赤ん坊自慢の若いお母さん連で氣持の好い集りを見せる「この兒こそ一等だ」口にはいはぬがどの母親も一樣に慈愛に滿ちた好いお母さん達だ、なかには夫婦揃つて出掛る熱心なのもある、廿一日の審査は豫じめ指定の如く百五十餘名、午後一時、一同は審査會場に集まり先づ古閑社會館主事の挨拶あり金子審査長立會のうへ審査員の手でひとり〳〵丁寧に體重から身長胸圍といふ工合に診察されて行く午後四時第一日の分は終了の豫定であるが引續き廿二、三日も各百五十名づゝ審査が行はれ、廿四日には昨年度の優良兒山本正夫君以下百五十名の再審査があり、最後に本年度の審査の結果が決定する筈であると、同じく市役所主催の兒童健康診斷は午後一時より常盤小學校において開催され、この方も素晴らしい景氣を呼び十五歳未滿の男女兒童の健康診斷を受ける者の數る多數に上つた

僞せ瓦斯社員橫行

最近沙河口、聖德街方面に於て滿瓦斯會社社員と詐稱し品質劣惡なる瓦斯ゴム管を賣歩く者頻出し一般は勿論瓦斯會社に於てはその信用を保つ上からも捨置き難く直ちに警察當局にこれが取締を依頼すると共に廿一日より修繕車三臺を以て各戸を訪問し破損箇所の修繕に應ぜしめてゐるが、一般市民に於てもこれ等詐稱社員出張の際は充分用心して欲しいと

日活の村田監督 撮影技師ら來連

滿鐵情報課が招聘 來る廿三日のはるびん丸で

滿鐵情報課にては今夏立花高四郎氏來滿の際同時に松竹蒲田撮影所の牛原監督及び日活撮影所の村田監督を招聘する筈であつたが、兩氏は製作の都合上來滿が延び〳〵となつてゐたところ、過般芥川光藏氏が上京の際、更に種々折衝の結果、日活にては滿蒙を背景とした大映畫を製作すべくこれが下準備として日本映畫界の名監督村田實氏を

中心に シナリオ、ライター等を渡滿せしめる事に決定したが、今回愈々村田監督及び撮影技師青島順一郎御本部員木村千疋男の三氏が來る廿三日入港のはるびん丸で來連し情報課の後援を得てロケーション、ハンテングその他の材料を蒐集する事になつた、これ等諸氏の來滿によつて我が滿洲映畫界も啓發されるところが尠くないであらうと大いに期待されてゐる

散歩中の米露人 鐵棒で毆らる

自動車で駈付けた白露人に ゆふべ紀伊町にて

二十日午後十時五分ごろ大連柳町七一東支鐵路公司員(露國人)アレキサンドル、ジューリス(二)と山縣通り一三八モデルホテル内無職米國人ジオゼフ、ヂオリック(二)はジューリスの妻と共に三人、紀伊町七十七番地先を滿鐵本社に向け歩行中、後方より「大四五二號」自動車に乘つて追尾して來た山縣通り一五八籠出かた二階フレザー商會員露國人リオワ、キリウインスキー(二)および住所不定無職(露國人)ユラ、ウエニスク(二)はか一名の露國人が自動車を下車するやと見るまに鐵棒を揮つて前記兩名を袋叩きにし顏面その他に挫傷裂傷を負はせその儘自動車で逃走した、屆出により大連署に於て捜査しキリウインスキーとウエニスクの兩名を傷害犯人として拉致し更に殘る一名の所在捜査中であるが、原因は白系露人と赤系露人の思想的確執の現れにあるらしい、なほジューリスは唐澤病院ヂオリックは滿鐵醫院に收容治療中であるが何れも全治まで一週間位は要するであらうと

「赤の馬鹿」「野郎」と怒號し

エヂソン翁の 功績を稱ふ

けふ電燈發明五十年記念祭 大連でも大いに祝福

西暦千八百七十九年初めて電燈が發明されて夜の光への欲求が貫徹され明るい世界に變えられてより丁度今度で五十年、全世界はこの偉大な發明家エヂソン翁の功績を稱えると共に今十月廿一日を電燈五十年記念祭として擧げて一樣に記念する事となり内地においても各地でそれ〳〵適宜な記念法を講じてゐるが、わが滿洲においても滿洲電氣協會が主となりパンフレットを二千部を市中や沿線の小中等學校等に配布し、夜は七時よりラヂオをもつてエヂソン翁の電燈發明に關する記念放送をなす事となつた、なほ市中においても三十餘軒の電氣商並びに滿電等がいづれも華々しくショーウインドを飾り立てこの記念日を祝福した【寫眞はエヂソン翁】

荷造包裝展けふも大賑ひ

本社後援の荷造包裝展覽會第二日目會場に當てられた青年會館は朝早くより店名入のハッピを着た小僧さんや專門家で大賑はひ錺一本針金一筋にも包裝に關する注意が熱心な態度となつて現れ一つ〳〵案内の説明で滿足しながら見て廻る、懸賞ポスターも大人氣その彩りの鮮かなのに目を見張つてゐる、なほ三階においては包裝に關する活動寫眞を映寫し本展覽會に更に花を添へた、感休員は

「幸ひ今日は暖いから初日に倍して參觀者が多いと思ひます、昨日もそう思ひましたが、支那人商人の熱心な態度に感心させられました」

軍人になれず モルヒネ自殺

市内西崗街一六一番地左官柳永利方日傭業柳運(二)は十九日午前九時ごろモルヒネ多量を嚥下し苦悶中を家人に發見され博愛病院に收容應急手當を施したが生命危篤、原因は運還は常に郷里山東に歸り軍人になるべく希望してゐたが、近親のものにそれを制止されそれを悲觀して右の始末に及んだものらしいと

黑龍江一帶 大體平靜

【ハルビン特電二十一日發】最近洮昂沿線を視察し來哈した人の談によると一帶は極めて平靜で外人旅行者に對する取締は一時やかましかつたが護照さへあれば何等問題ない、黑龍官銀號(廣信)が特産買占めで洮昂線により南下輸送を計畫してゐるが昨年よりも盛なやうである

反物を騙取 年增女捕はる

友人の結婚用に周旋すると稱し反物を騙取した大連乃木町三ノ一ノ一無職大龍タキ(二)が二十日午後零時大連署に擧げられた、同女は十八日午前十時ごろ天神町二吳服商大塚娛作かたに至り友人川上某が近く結婚するから私の宅まで持參して貰ひたいと黑絽模樣八掛付一反他十點價格四百十九圓五十錢を店員に屆けさせ之れを騙取のうへ紀伊町第五博多屋および西通り寺井質店へ入質したもので餘罪ある見込みで引續き取調中

三千圓を拐帶 人妻の家出

市内磐城町六七番地酒販賣業安達登の妻芳子(二)は去る十日午前九時ごろ店の金約三千圓を攜帶して外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので夫登より廿一日各署に捜査願があつた

阿片包を放棄逃走

廿日午後五時半ごろ市内西崗街一一三番地居住の關東廳阿片局員片岡貞治(二)が同番地先きを通行中擧動不審の支那人を發見誰何すると敷布包みをその場に放棄して逃走したので取調べたところ、阿片約三貫五百匁が現れたので小崗子署に屆出た、同署では目下犯人捜査中

運轉手の詐欺

大連若狹町花見タクシー運轉手奧田松雄(二六、七歳)は信濃町八七カフエー、パリジヤンこと曾根義晴に對し營業用の電氣看板を作製してやると欺き去る七月廿三日より八月十六日まで前後九回に亘り材料買入れのためと稱し廿七圓二十錢を詐取したので廿一日曾根から詐欺の告訴を大連署へ提出された

元ばいかる丸船長 千葉平馬氏陳謝

元ばいかる丸船長千葉平馬氏は二十日入船のばいかる丸にて來連したが、同氏は目下謹愼中であり、當時の遭難者その他の關係者に一々挨拶すべきであるが廿二日離連するので本紙を通じ當時の事件につき陳謝するところがあつた

平安異香（146）

葉多默太郎作　中一彌畫

髑髏の革袋（一〇）

ごろりと寢てゐる黒住源入郎の胸中——

勸修寺家の女房の淨海入道の手のものの隱密の諜報の陰に秘んでゐる秘密は何だらう？女を追つた野武士は、或は夢之助の一味かも知れないのだが、さうだとすればこの三者の間にどんな絡がりがあるのだらう？それから伊賀專女さまの背後の椋の幹に詰めこんだ前代未聞の屍體、これはどうだ？

清盛入道の最近益々病に人心の向背に神經を尖らせて、當代の顯官諸卿はいふまでもなく、一家一門のものにさへ隱密を附けてゐるといふから、被衣の女房は勸修寺家へ潜つてゐる清盛の隱密かも知れないのである。さうだとすれば、清盛の幕下と諜報を取交はしてゐることは容易に説明がつく。

が、怪屍體は難物だ。犯罪が古いだけに詮議がむつかしいが、事件の面白さは此方にある。鬼が出るか蛇が出るか一膠入れてみよう——

源入郎はむつくり起き上つた。

「夜はすつかり明けたやうだな勘兵衞」

「へエ、變な空模様なんでお天道さまは顔を見せねエが、もう六ツ過ぎだよ。お大將」

「狐の森へ行つてみる。太吉も一緒に供せい」

で、三人が立ちかゝつたのだが恰度その時折戸の前に一人の男が立つた。

顔見知りの、使廳の小者である。

「軍平ではないか。何か用か」

「判官様の使ひに參つたのでござりますが、あなた樣は直ぐ勸修寺邸へお出向きを願ふやうと仰有りました」

「勸修寺邸——？」

「お館の方樣のお使ひが見えましたから多分……」

「あ、さうか」

ちらと不快なものが源入郎の眼を過つたが、

「では、これから直ぐ伺ふとしよう。御申しつけしかと承つたと判官殿へ申しておけ」

氣輕く云つて使を返した。

お館の方の用向きとなら聞かでも知れてゐる。夢之助を縛つてお館の方の嘲弄の供物に供へることの出來なかつたのに業をにやして、お館の方から使廳へ詰つて行つたが使廳の判官小串九郎範行はすらりと肩を外して、

「夢之助捕り方を黒住源入郎にとお指圖あつたはそちら樣で、不肖の存じ寄では御座らぬ」と涼しい顔をして、

「源入郎直に伺はせて、仔細を申し上げさせまする」などゝ言つたものに相違ないのである。

が、勸修寺邸の北殿へ行つてみると、そこに意外なものが源入郎を待つてゐた。

前栽の冠木門を潜ると、縁に侍女の相模が立つてゐて、

「これに御方様がおゐでぢや」

といふから、履脱石へ膝をつくと、その時入手の棄踏に蹲まつた人影があつたので覗き見すると、それが鬱金頭巾に短袴、物賣り姿の女面の小太郎だつた、捕まつた覺えもなければ臣下が捕まつた樣子もなかつた小太郎である。してやられた——といふ氣持、はつとなつたが尋常に指をつくと、

「そちは源入郎、昨夜はいかい御苦勞であつたなう」

簾垂越しの聲だつた、お館の方の嘲るやうな聲である。

源入郎の眉はぴりッと動いたが膽は穩かだつた。

「不覺を仕つて汗顔の至りでござります」

「不覺——といやると、夢之助は抑へられなんだと言やるのか」

「殘念ながら」と、とり逃がしてござりまする」

「なんぢや、當代一の捕吏ぢやの奏の司馬懿ぢやのといはれたそちが、あれほどの手配りをして、それで見事夢之助に一蹴された——といやるのか。ほんに夢之助は人の噂に違はぬ大盗ぢやなう、したが、一味のものなどはそれ〴〵捕抑へたであらうなう。夢之助の他に、二人三人ゐたといふから」

と、嘲笑を泛べて見下てゐたらしい侍女相模の眼がついとそれる

映画と演藝

滿鐵音樂會　秋季演奏會　二十七日開催

滿鐵音樂會洋樂部第十五回秋季演奏會は來る二十七日午後七時半より協和會館に於て開催されるが、演奏曲目は次の如くである

第一部

一、管絃樂歌劇「ノルマ」の序曲

二、マンドリン四重奏

三、絃樂四重奏（イ）「アンダンテ・カンタビレ」（ロ）「水車」

四、次中音獨唱（イ）「エレヂイー」（ロ）「サンタ・ルチア」（伊太利民謠）（ハ）秋の日

五、管絃樂組曲「ペーア・ギント」（イ）朝（ロ）アーゼの死（ハ）アニトラの舞踏（ニ）魔王の御殿

第二部

六、マンドリン合奏幻想曲「麥祭り」（合唱付）（イ）黎明（ロ）樂しき目覺め（ハ）麥の唄（ニ）祭りの後

七、ピアノ獨唱「奏鳴曲」作品七番

八、混聲合唱「白銀の目拔きの太刀を」

九、マンドリン獨奏「第二マヅルカ幻想曲」

十、管絃樂（イ）「小夜曲」（ロ）「マイ・オールド・ケンタツキー・ホーム」幻想曲　指揮者高津敏

映畫界東西

河合プロにゐた三村伸太郎氏はマキノの脚本部に入社。

◇

淺草日本館は十七日より「摩天樓」を上映するが永井美奈子が出演して映畫小唄「摩天樓」を獨唱する

喋話

協和會館が「笑ふ男」にレコード伴奏を行ふと云ふので相當一般の期待を受けて居たが▲最初の内はともかく後半に至つては全く解説者とのキツカケが附かず悲觀させられた▲どうも大連では與太な説明を聞かされることが多い▲「笑ふ男」で正木君シエツクスピアを盛にシユツク、スピーアとやる、臺本の讀み違ひだらうが餘りに非常識なまちがひだ▲昨日のばいかる丸で東京シネマ芹川氏等が來連したが緊縮映畫「國難來」を御持參で近日中に協和會館で公開するとの事▲同じばいかる丸で演藝館の英澄さん花嫁御同伴で御目出度事の限り、▲今日社員倶樂部で「ジヤングル」の試寫がある筈▲浪速館は「入劍飛龍」を二日間日延する

滿洲日報

蔣介石氏の失脚は最早時日の問題となる
遲くも本月末迄には意外な局面の展開を見るか

【南京廿一日發電】信ずべき方面に達したる情報に據れば、最早蔣介石氏の失脚は時日の問題とされ遲くも本月末までには意外の局面の展開を見るべく、主要の理由として次の如きものが擧げられてゐる

一、[illegible]

二、更に武漢方面に劉峙、顧祝同等の直系軍隊を集中し、浦線にも兵力を割かれ居る爲南京には僅かに熊式輝の一個旅と軍官學校の生徒少數、上海方面には機關銃隊一個中隊と步兵一大隊在るのみで防備非常に手薄となり、暴動等の勃發をみるもその鎭壓困難なること

三、先日來傳へられつゝある上海方面に於ける蔣氏の軍費調達は案外に困難なるものゝ如く、一方先般の南京火藥庫の爆發、浦口軍需品倉庫の燒失等により負へる傷手により漸々狀勢不利を來しつゝあること

閻錫山氏は反蔣運動支持か
最近の態度が物語る

【北平廿一日發電】[illegible]直系の傅作義、商震氏等あり[illegible]後の兩氏を容易に上陸せしめ[illegible]點より見て、更に又閻錫山氏[illegible]系將領の討蔣通電の發表を禁じ差押へつゝあつ[illegible]以降に至り解禁せしこと等に閻氏の蔣氏に對する態度は愈々明白となり、反蔣運動を支持するに至つたものとして非常に注目されてゐる

獻穀天覽の光榮
朝鮮臺灣北海道等の

【東京廿一日發電】天皇陛下には廿一日午前八時半、賢所御[illegible]北海道[illegible]の外地ならびに全國各府縣より[illegible]獻された見事な米粟を天覽あそばされたと承はる光榮至極のことである

戰爭には參加しない
蔣馮間の調停を閻に依賴
奉天側の態度決定

【北平二十一日發電】[illegible]最後に武漢に各路軍を集中せしめんと決したと

宋哲元氏
最高軍事會議召集

【北平二十一日發電】[illegible]

韓復渠軍
新鄉に移動

【北平廿一日發電】開封にあつた馮系韓復渠軍は今回の戰爭に參加せざる目的で自發的に黃河北方の新鄉に移動を開始したが、其の態度は注目されてゐる

萬福麟氏は赴奉出來ぬ
飽まで防戰

【ハルビン特電二十一日發】對內對露問題につき最後の態度を決定するため東北主席會議を奉天で開催し萬福麟氏も出席するやうに傳へられたが氏は結氷期で邊防に忙しく一日も留守にすることが出來ぬので赴奉せず對露關係については赤軍が屢次邊境を侵し露支交涉に誠意を認めがたく黑龍江省としては重要の地位にあり飽くまで防戰する覺悟であると語り對內問題は表面、中央を擁護し不即不離で進むことに決定してゐる

對露問題で奉派の重要會議
張作相湯玉麟兩氏も出席
その成行注目される

【奉天特電二十一日發】張學良氏は東北四省各主腦者を招集し對露問題に就き重要會議を開催すべくこの程召電を發した事は既報の如くであるが、熱河主席湯玉麟氏は十八日來奉吉林主席張作相氏は二十日朝瀋海線にて來奉したので二十日朝北陵別邸に張作相、湯玉麟兩氏その他幹部連を招集し對內對露問題に關する重要會議を催したその成行きは注目されてゐる

顧維鈞氏を奉天政府が起用
對露交涉に當らしむ

【奉天特電二十一日發】支那側情報によれば奉天當局は東鐵問題に關し顧維鈞氏と意見の交換をなしつゝあつたが、今回奉天側の外交に同氏を擔任せしめることになり奉露交涉の奉天側代表として專らこれに當らしめる由である

反蔣風潮と支那革命の正流
蘭水生…(七)

[illegible]かる關係に於て、蔣は當然[illegible]犠牲に進まねばならぬ[illegible]「[illegible]」は即ち其具體策であるが固より軍閥の致命的條件であるから地方軍閥は何等かの理由にして「自己」を保存しやうとする結果、遂に廣西派の湖南[illegible]が起り、河南問題現はれ、今

又、改組派國民黨政客を中心とする南方軍閥の騷ぎが持ち上つたが之れは必ずしも蔣介石が國民政府の主班たるが故にのみ起る叛亂でなく、中央勢力の地方統一に對する反動であるから、如何なる革命と雖も當然避け得べからざる現象である、而も此反動勢力は所謂民衆的革命輿論の普及によつて、極めて緩漫とは云へ徐々に消滅し行くべき運命にあるものであることも亦自然の道理である。

併しながら此原則は直ちに軍閥としての蔣介石の運命をも保障するものではない、何故ならば蔣が現に立脚する革命の正位は民主的なものであるから其保障の範圍は蔣が民主革命の工具としての行動の範圍に限らるゝものであるからである。譬へば國民黨第三次全國代表大會の如き、其の代表選擧法に於いて、專擅を恣にした結果は直ちに、左派改組派の分裂を誘致し、黨的信任は部分的に失はれ、彼の「正位」に動搖を與へてゐる而して彼は此動搖を防がんが爲めに其分子に對して武斷的彈壓を加へること屢次なる結果軍閥的馬脚を現はすに至れば、虎視眈々たる地方的割據軍閥は直ちに「自己保存」の口實を得「反動」は「打倒反革命」に變じ、彼は此「正位」を捨て逆賊の座に直らなければならぬ。最近左派の發する反蔣通電が事實明第三次全代大會否認を其根本的罪狀に數へたのは全く此急所をねらはんとするものである。

兎もあれ、蔣介石が支那革命統率の方略は革命環境の客觀的條件を正視して、其基本的勢力を新資本家と、軍閥的武力集團に置き、左翼と斷つて農民ソウエートを見限つた點に於て、ケーレンスキーのコワリチーブ政策に比して遙かに賢明であつたことは言ふ迄もない蓋し此結果、國際共產黨の世界革命方略の根本戰術に動搖を來たし世界資本國家に一時的「安定」を與へたとは云へ、併し「國際的孤立」を犠牲にしたのでないのみならず、國內的にも、所謂中央勢力の基礎を鞏固にしたからである。而して蔣が封建的統一を夢みて袁世凱の轍を履ます、只管に資本家的中央政權に忠實なる限りには地方的反動によつて、其正位を動かさるゝ氣遣ひはないのである。此形勢は獨り蔣自ら覺悟せる許りでなく、地方的軍閥政客と雖も百も承知してゐる結果、所謂反蔣聯盟の如きも蔣の一手たる各個擊破戰術を破壞することすら困難である

雖然、彼は今や危機に臨んでゐる。それは編遣費（七、〇〇〇萬元）の捻出である、彼は各省に命じ其三分の一を集め得たとは傳ふるが事實は頗る怪しい、若し之れに失敗するか或は時機を失せば、飢に瀕する地方軍兵と共に蜂起し革命の正位は永久に彼を見捨るであらう。

軍縮會議の米國全權
首席は國務長官

【華府二十一日發電】信ずべき筋よりの確報によればロンドン會議米國全權委員首席は國務長官スチムソン氏、其他の全權は上院議員リード氏及びロビンソン氏、駐英大使ギブソン氏が任命さるゝであらうと

軍縮會議の外務省隨員
近く正式發表

【東京廿一日發電】五ケ國軍縮會議外務省側隨員は廿一日左の如く決定近く正式發表さるゝ筈

情報部長　齋藤博
歐米第二課長　山形淸
外務事務官　松隈昌隆

倫敦海軍々縮會議帝國全權隨員被仰付

尙右三氏の外英國大使館參事官堀義貴、同一等書記官中山詳一、同二等書記官武藤義雄、三等書記官石澤豐、同總領事岸克己の六氏及佛國大使館より一等書記官栗山茂、米國大使館より一等書記官加藤外松、國際聯盟帝國事務局長佐藤尙武、伊太利大使館一等書記官吉澤淸次郞の諸氏が出席する筈である

英國政府の軍事費豫算

【ロンドン廿日發】イギリス勞働黨政府は新らしき社會立法施行のため追加的經費を捻出する目的で明年度陸軍豫算、殊に海外守備隊の費用を著るしく減少すべく計畫中であると、このためジブラルタル守備隊經費は半減される模樣である、また海軍省でも同じくシンガポール軍港經費削減を研究中である、右は來るべき五國會議の結果明白となるまで決定を見ぬ筈であるが陸海軍とも航空戰は縮小せぬ模樣である

八千代問題は調印した
加藤鮮銀總裁談

【京城特電二十一日發】東上中であつた加藤鮮銀總裁は廿一日朝七時歸城したが、肩替り問題その他につき左の如く語る

今度東上の主要目的たる八千代の債務を川崎に肩替りする件はスッカリ調印をすました、八千代生命には川崎から重役もはいるだらう、將來は日華生命に合併されるかも知れない、今度の鮮銀支店長會議は形式的お祭り騷ぎでなく鮮銀將來の經營方針を指示し、實質的效果を擧げたいと思つてゐる

行政整理の反對決議
鐵道從業委員會

【東京二十一日發電】政府は減俸案を撤回することゝなつたが、其の財政々策上より將來更に行政整理等行はるものと早くも鐵道從業委員會では二十二日午後幹事會を開き左の三項を決議する筈

一、行政整理絕對反對
二、昇給賞與減額反對
三、退職金減額反對

右決議は二十三、四日の聯合委員會に附した上江木鐵相に陳情することゝなつた

大連市參事會

前吏員退職給與並に前市會正副議長に對する記念品贈呈に關する大連市參事會は廿三日に開會の筈

閣議で撤回を決定後政府の立場を聲明
財源捻出の爲めではなくて物價の低落を企圖

【東京二十一日發電】政府は二十二日の定例閣議で減俸案撤回を正式決定の後、政府の立場を聲明し特に政府が減俸を決定するに至つた趣旨を强調する右要點左の如し

官吏減俸は明年度豫算編成に當り財源捻出の爲めではなく金解禁實現に當り組閣以來說き國民に宣傳に努めてゐる消費節約と全く同趣旨に基くもので物價低落を企圖したこと以外に何もなく即ち金解禁準備の一として行つたものである

撤回と責任問題

政府側では責任を執らぬ

【東京廿一日發電】減俸案撤回の場合政府の採るべき政治的責任につき政府側は

一、減俸は金解禁政策遂行上の一手段に過ぎず手段の撤回は政策の破綻を意味せず政府の政治的責任なし
一、閣議の決定は單に政府內の申合せに過ぎず其の取消は何等責任を惹起さぬ

との意見で發案者たる井上藏相も亦責任を採らずと揚言してゐる

撤回しても責任はない
◇…井上藏相談

【東京二十一日發電】江木、小泉兩相は旅行中であつたから今朝減俸問題に關する事情を色々話した處、小泉遞相が閣議で極めた問題を止めると云ふ事は再び閣議の決定を待つのが正當であつて總理たりとも閣議前に獨斷で止める譯には行くまいと云はれたが我輩も至極同感である、此の際我輩としては之れ以上の事は何も云へない、何れ明日の閣議で決定さるゝ事と思ふがよし撤回したからと云つて責任問題など起る樣な大きな問題ではない

藏相の責任考へぬ
小泉遞相談

【東京廿一日發電】減俸問題は未だ閣議で撤回に決した譯でないか確定的の事は云へない、よし撤回に決しても藏相の面目とか內閣總辭職等とは考へられない、若し藏相が引責辭職する時は內閣總辭職だ自分としては減俸が惡いとは思はぬ世間が矢ヶ間敷く反對する以上此の上無理して騷がし度くないから已むなく撤回する譯である

責任を問ふ
交友俱樂部の申合せ

【東京二十一日發電】貴族院交友俱樂部は二十一日午前十時より溜池の事務所に定例總會を開き減俸問題につき意見交換の結果

減俸案撤回には異存はないが、政府の之に伴ふ責任を負ふべき事は勿論であらねばならぬ、然るに政府は輿論に聽從せるを口實に其の責任を負ふの要なしとする風が見えるが、輿論政治の今日拔打ち的に之を實行せんとし輿論の容れられず撤回に餘儀なきに至つたものが如何にして責任を負ふの要なしと言ひ得るか

と云ふに意見一致し今後機會在る每に政府の責任を高調するを申合せ正午散會した

井上藏相は留任すまい
平素の態度より觀て

【東京廿一日發電】減俸案撤回につき井上藏相は勿論政府は責任問題を生ずる理由なしとし政界各方面でも責任論、無責任論が相半してゐるが、井上藏相は表面無責任論をなすも心中頗る平かならざるものあり殊に氏は平素其の態度倨傲々慢なるあり今回の失態を演じたる以上恐らく留任することなくして一身の面目を飾り將來の立場を保全するものと見られてゐる

責任を負ふ程の問題でない
◇…宇垣陸相談

【東京廿一日發電】宇垣陸相は廿一日午前十一時濱口首相を訪問したが、會談後語る

今日の政治は輿論を尊重して行ふのであるから惡い點あれば改めるより外はない、政治的責任を追究する者あるが、反對黨は常に良い事をしても反對するから仕方がない、井上藏相に責任あるとも聞くが之は先日閣議で各閣僚間で決した事で若し責任を採るとならば內閣全體に在る然し政府が責任を採らねばならぬ程の問題ではない

總辭職に及ばぬ
◇…樞府方面の見解

【東京廿一日發電】政府の減俸案撤回決意につき樞府方面では左の如く語つてゐる

政府は減俸案は政策遂行の一手段であつたに過ぎず、之れを撤回するも何等政策遂行の行詰りにあらざるが故に責任問題等を生ずべしとは信じないと云つてゐるが、斯樣な無責任な事は許されぬ、減俸案が政府の重要政策なる事は濱口首相の聲明に徵しても明白であれ、今になつて手段に過ぎぬと云ふは卑怯である、濱口首相は必ずや責任を明かにするであらう、然し責任は政府にありとするも撤回した以上總辭職を以つて其の責任を採る程の事ではない、即ち當面の責任者井上藏相と部下の行動に依る渡邊法相の辭任はあるべき事と思ふ

研究會は政府の責任を問はぬ
廿一日幹部會で協議

【東京二十一日發電】貴族院研究會は二十一日幹部會を開き政府の減俸案撤回問題を協議したが撤回に關する政府の責任は敢て問はざる如くである、然し會內には井上藏相の輕率が今回の失態を招來せるものである事を指摘し金解禁斷行の重大責任を負はしむるを心細しとする意見も相當行はれてゐるから、今後の研究會の大勢は必ずしも樂觀を許されぬものがあらうと見られてゐる

政府に責任が在ると思へぬ
大平滿鐵副總裁語る

官吏減俸撤回問題に就き大平滿鐵副總裁は語る

現下の經濟界を救ふため即ち政府の大方針である緊縮政策に擧國一致して各個人生活の節約を徹底せしむるには實にいゝ方法であつたと思ふ、而して政府が減俸によつて浮んだ金を國庫支辨に充當する意思であつたか否かは知らないが、單に行詰つた今日の經濟界を打破するため消費節約の實を國民一般に徹底せしめる方針であつたとすれば、日常生活に要する必需商品の下落を誘致することゝなるから減俸そのものは何等影響なかつたらうと思はれる、即ち政治政策としてはよかつたであらうが社會政策上或は思想善導上果してどうだつたらうか、然し減俸案を撤回したからとて政治上政府に責任があるとは思はれないぢやないか

減俸案撤回問題で政友の意見交換
廿一日の定例幹部會

【東京二十一日發電】政友會定例幹部會は二十一日午後一時から本部に開會鈴木顧問以下總務幹事等出席、減俸問題に關し意見の交換を行ひ島田總務より

政府の態度を見屆けた上黨の態度を聲明せねばならぬが、官吏の減俸は之れを內奏してゐると思はれる節あり、仙石氏の談では正式上奏しないから差し間へないとの事であるが、さすれば問題は極めて愼重の注意を要し宮中方面の態度を見た上嚴肅な態度で之れを監視せねばならぬ

と述べ政府の取消聲明後緊急幹部會を開き黨の態度を聲明する事を申し合せ更に津雲代議士は

一、十九日夜中島首相秘書官が泥醉の上官邸に來り新聞記者室にて拳銃の空砲を發射し大自得を切つたに對し同夜松田拓相以下各新聞通信社を歷訪して揉み消しをなした件
一、安達內相が警視廳機密費にて自家用自動車を購入した件
一、式年遷宮祭に民政黨が有罪に決せる石塚代議士を代表者として參列せしめたる件

等の報告あり、何れも官紀振肅調査委員會に附する事とし三時散會した

米と麥粉の自給自足が肝腎
減俸は面白くない
大川平三郎氏京城で語る

【京城特電二十一日發】朝鮮鐵道株式總會出席のため來城中の大川平三郎氏は金解禁問題につき語る

金解禁の焦點は輸出入の均衡にあるが、減俸などして無理に消費を減退せしめる方法は面白くない、鐵と肥料は既に自給自足の域に達してゐるから今後は米の增產を計り、米と麥粉の二つが自給自足出來れば輸出入の均衡もとれ爲替も安定し解禁は樂に出來るのだ、藏相にも力說しておいたが緊縮と產業獎勵を並び行はなければならぬ、自分としては解禁を急ぐ必要を認めない

濱口首相と藏相協議
撤回に關して

【東京二十一日發電】井上藏相は二十一日午後一時三十分首相官邸に濱口首相を訪問し減俸案撤回問題に關する善後措置につき協議する處があつた

小泉遞相藏相と懇談

【東京廿一日發電】小泉遞相は午後零時半井上藏相を訪ひ減俸問題につき懇談した

獨逸銀行閉鎖

【ハルビン特電二十一日發】ダリバンクを引繼いだドイツ銀行は支那側の不法行爲の調査を遂げるためドイツ領事の命で閉鎖した

南行輸送打合

【ハルビン特電二十一日發】浦鹽不通、南行特產增加の爲東鐵滿鐵の輸送連絡に關し、事務的打合せを二十二日より行ふ

准職員登格試驗
二十一日六ケ所において施行
滿鐵人事課が一齊に

滿鐵人事課では廿一日午前八時より大連（中日文化協會樓上）鞍山、奉天、長春、撫順、安東の六ケ所で傭員の第一回准職員登格試驗を一齊に行つたが受驗者は甲種傭員二百九名、乙種傭員百六十五名の合計三百七十四名でうち大連は甲種七十五名（二十一名缺席）乙種六十三名（六名缺席）であつた滿鐵職員の登格試驗制度は大正十四年八月に制定されたが昨年十二月改正、准職員の制度が設けられ從つて職員登格試驗が准職員登格試驗に改正を見た譯である、なほ人事課では二十一日午前十一時より社員俱樂部に於て北平留學者（二ケ年）に對する論文試驗を施行午後引續き口頭試問を行つたが受驗者は九名であつた

大藏滿鐵理事の懇談會

田邊理事の後任として滿鐵に入社した大藏理事は地方部を擔任することゝなつたが、同理事は一時滿鐵を退いてゐた關係から地方部の係主任者やその係事務を知らない點もあるといふところから地方部の係主任以上と懇談會を催すことゝなつた、日割は左の如くで何れも午後四時退社後場所は社員俱樂部樓上となつてゐる

▲二十一日　衞生課、農務課
▲二十二日　土木建築兩課
▲二十三日　庶務課、地方課、學務課
▲二十五日　業務課

貴族院議員團

【北平廿一日發】貴族院議員一行は京漢、津浦兩線危險のため漢口視察は中止し二十三日海路上海に赴く筈

運合創立委員長

【京城特電二十一日發】運送合同會社創立委員は二十一日委員長吉田秀次郎（通運）副委員長河合治三郎（國際）を選任した

辭令

【東京二十一日發電】

航空兵中佐　若竹又男
任關東廳航空官

人事

▲吉植庄三氏（奉天勸業公司專務）二十一日夜八時半着列車にて來連遼東ホテル投宿

安樂椅子

白馬鐵鞍などは昔のこと、鞍上に人あり鞍下に厄介なやつが居ると、秋風ゆたかに馳騁もならず、さすが全滿馬術大會の連中も永濱、矢野兩中尉のやうな高等馬術は覺束なしとはいふものゝ、いづれを顧みても一騎當千の天狗ばかり、そこで會長の大平さんを中心として、一トしきり馬の話で持ち切る▲石本市長いはく、大平さん、馬はどうですか、と水を向ける、大平さん以前、北海道で馱馬に乘つたぐらゐのものですが、今日のやうな乘り手では、もつと上手な會員は居りませんか▲そこで畑將軍、石本さんは今日、乘馬服を着て來ぬやうですが、どうかしたのですか、とやると、それを聽いてゐた大平さん、石本さんも馬にお乘りですか、に石本さん、いゝ私は競馬でも乘り切りますよ、と少しく辯じやうといふ形勢、畑將軍、いや石本さん、競馬なら眼をつぶつてもやれますよ、石本さんも目をつぶつてやる組ではありませんか、何んでも四國邊では子供の騎手に目かくしをして競馬に出すといふではありませんか、に直隣にゐた誰かが、石本市長は濱口さんと同じ土佐ですよ、に一同哄笑●

本日廳報を添ふ

商場

特產
定期後場（銀建）
▲大豆（新調）
[illegible]
▲豆粕
[illegible]
▲豆油
[illegible]
▲高粱
[illegible]

現物後場（銀建）
[illegible]

錢鈔
定期後場
[illegible]
現物後場
[illegible]

後場
出來不申

神戶特產
大豆現物、豆粕現物、先物、滿洲小麥、豆油現物
[illegible]

大阪株式
銘柄：大株新、大紡新、鐘紡新、鐘東、日船、郵船、東新
[illegible]

東京株式
銘柄：東株新、東新、五品當、中、先
[illegible]

東京株式（品）
豆信當、中、先
[illegible]

大阪期米
銘柄：寄値、引値、高値、安値
[illegible]

東京期米
限月：十月、十一月、十二月
[illegible]

橫濱生糸
限月：十月、十一月、十二月、一月、二月、三月
[illegible]

満洲日報

問題は依然去らず
よし減俸案が撤回されても

濱口内閣の減俸案、世間の評判はなはだ悪い。この調子だと、結句、いさぎよく撤回するやうなことになるかも知れぬ。ところで、よし減俸案が撤回されたにしても、それは、わが國の經濟狀態が、放漫であつてよろしい、悲觀するには及ばぬ、緊縮節約の必要はないといふことにはならぬのである。濱口内閣の減俸案は、あるひは手段方法において誤つてゐたといふことも出來やう。しかし整理緊縮の精神においては、吾人の共鳴を禁じ得ぬところのものである。すなはち、濱口内閣の減俸案が間違つたとすれば、それは手段方法が悪かつたといふに過ぎぬ。その精神においては、減俸案の聲明前と今日と、何等の變化も、また相違もないのである。

◇

事の成行如何によつては、政府は減俸案を中止するか、撤回するか、あるひは大々的の骨抜きにより、形ばかりの減俸を實施して面目を保ち、不徹底裡に、問題の經過を糊塗することになるかも知れない。減俸問題の結着は、事實の進展に待つ外ない、がしかし、濱口内閣の精神とし、眼目としてゐるところの緊縮節約に對しては、吾人は將來、ます／＼その目的の達成のために努力せねばならぬと信ずるものである。よし濱口内閣が、世間の悪評に懲り／＼し、その減俸案を引き込めたにしても、それは決して經濟國難が打開されたことを意味するものではないのである。いはゆる輿論の力は、濱口内閣の減俸案に勝つことが出來るにしても、未だ以て、わが經濟國難に打ち勝つたといふことは出來ぬのである。この點、われ／＼國民は、深刻に各個人の頭腦に感銘して置かねばならぬと思ふ。

◇

われ／＼は、何が何でも、一つの是非、解決せねばならぬ問題を背負つて居る。それは外ではない金解禁である。金本位兌換制度の回復である。この問題を解決せぬうちは、わが國民經濟の國際關係は決して安定したりといふことは出來ぬ。常に海外經濟の壓迫と脅威とから解放されることはないのである。この束縛から自由となり對外爲替の壓迫と脅威とから、國民の經濟生活を獨立せしめやうとするには、何事を差し置いても、まづ金解禁の決行に邁進せねばならぬのである。濱口内閣が、官吏の減俸を斷行せんとしたのも、當面直接の目的としては、あるひは昭和五年度の豫算を、十五億臺に止めんとしたのであつたかも知れぬが、その眞目的、より以上の目的は、收支の計數上の辻褄を合せんとするよりは、むしろ國民の整理節約によつて、金解禁目的を、一日も早く實現せんとするにあつたのではあるまいか。」

◇

吾人は、かくの如く解釋し、よし濱口内閣が、世評の手前、やむことを得ずして、その手段方法たる減俸案を撤回することありとしても、濱口内閣の主眼とした、財政の立て直し、金解禁の斷行、經濟國難の打開を期せねばならぬと信ずるものである。われ／＼一般國民の生産經濟は、決して合理化せられたりといふことは出來ぬところに、われ／＼の消費經濟は、決して健全なりといふことの出來ぬものが存するのである。この生産と消費との國民生活の實情を考へるときに、吾人は非常なる緊張と覺悟とを以て、これが立て直し緊縮節約、合理化を斷行せねばならぬことを思はしめられるのである。よし濱口内閣が、減俸問題から手を引いたからとて、それにて氣を安め、些かたりとも放漫のことがあつてはならぬのである。

◇

放漫積極政策に對する攻撃と、濱口内閣の成立に當り、整理緊縮の消極政策を歡迎したことを忘れてはならぬ。外國貿易は多少、好調に向ひつゝありとするも、われ／＼の實際の消費狀況が、果して贅澤に流れて居らぬであらうか、放漫に陷つては居ぬであらうか。放漫とか、積極とかいふことは、獨り政府のみの負ふべき文句ではあるまい。減俸案なるものも、その生活最低程度を年額一千四百圓といふところに置いたのが悪かつたといふことも出來ぬ。若しそれが二千何百圓以上といふやうなことにするならば、槍玉にあがる人數は少し、相當に贊成を得たものだつたと思はれる。果して然らば減俸案だつて、必ずしも撤回するに及ばず、相當の修正を行つて實施することも出來るのではあるまいか。貴族院議員とか、または樞密顧問官などは、もと／＼無給の名譽職とすべきである。恩給だけにて充分なる老人連ばかりを列べてゐるのであるから。恩給といへば、政府は、この恩給制に對しては根本的の改革をなし、恩給亡國の源を塞がねばなるまい。」

◇

要するに、減俸案なるものは、手段方法が拙劣であつたといふことにはなるが、それがよし撤回せられたからとて、それにて整理緊縮の必要がなくなつたといふのではないのだ。經濟國難（國難と呼ぶこと、すこしく誇嬌に失するけれども）は依然として、ひし／＼とわれらの經濟生活を壓迫脅威しつゝあることを忘れてはならぬ。果して然らば、何らかの方法手段によつて、よし減俸案は撤回せられたりとするも、整理緊縮、消費節約の目的を達成し、一日も早く金本位兌換制度の回復を實現すると共に、經濟國難を打開して、われ／＼の經濟生活を海外資本力の脅威壓迫から解放せしむべく努力せねばならぬ。濱口内閣は、不評判なる減俸案なるものを引き込めるであらう、がしかし、われ／＼は殘されたる重大案件の打開解決に向つて勇往邁進するの覺悟を要することを忘れてはならぬのだ。

軍艦九隻と 飛機廿五臺來襲
陸戰一大隊と歩兵兩連全滅
同江の露支衝突報告

【吉林發】勞農側が方面をかへて吉林省の東北隅同江縣城を奇襲したとの急報に接し麾下歩兵千五百名を率ゐて富錦に急行した依蘭鎭守使李杜氏より吉林邊防副司令部宛十八日到着の戰況詳報に依れば次の如くである

歩兵第三團長張佐臣第三十五團長路永才の報告に據れば十二日午前五時敵の軍艦九隻、汽船十餘隻及び飛行機廿五臺（五臺を以て一隊となす）は突如我が

陸海軍の 陣地に向つて一齊に爆彈を雨下し軍艦亦猛烈に砲撃を加へ同時に敵は歩、騎、砲兵機關砲車（タンク）四十餘輛を上陸登岸せしめて我が陣地に突入した、此時全線に亙つて彼我激戰したが遂に我が兵艦利捷、江平、江安、江泰、東乙の五隻は敵飛行機の爲めに擊沈された一方敵艦も亦我軍に依つて大艦三隻を擊沈し小艦三隻に多大の損害を與へた、正午迄に彼我交戰四度に亙つたが、敵は其都度

增援隊を 送り騎兵八百、歩兵三千餘名、三八山砲三十門、機關砲車四十餘輛を以て我が軍の左翼に向つて猛烈に攻撃を加へた爲め我が陸戰隊一大隊と歩兵第三十五團の三四兩連は全滅し遂に左翼は陷落し次で同江縣城の守を失ひ市街大半は燒土と化した、其際我が軍の山砲三門と機關銃一架は毀損したが、幸ひに我が海軍に依つて敵の飛行機二臺を射落し、我陸軍に依つて敵兵五百餘名、馬匹百餘を射殺し尚負傷者二百餘名の

大損害を 與へた、併しながら我が軍の損失も少くはない、之を點檢するに

▲歩兵第五團第一營長孟昭林、譚第一連長同高連附近及兵七十餘名戰死韓營附以下三十二名負傷▲歩兵第三團第九連將校二名戰死、第八連兵六十餘名戰死、張連附以下四十六名負傷

▲歩兵第三十五團第一營第一連李連附以下二十餘名戰死、十八名負傷、第二連長以下三十四名戰死、二十六名負傷、第三連張連長以下八十一名戰死、十四名負傷全滅、第四連將校以下四十餘名戰死、二十一名傷、第六連特務曹長以下三十七名戰死、二十名負傷

▲山砲連趙連長呉連附負傷、兵十一名戰死、十名負傷

▲機關銃連王連附以下六名戰死十一名負傷

以上合計戰死將卒三百五十餘名、負傷百九十五名に達した

現在は 敵艦四隻、汽船五隻、歩、騎、砲兵合計一千餘名は同江に蟠踞し圖四克にも敵騎三百餘名あり故に本職（李杜）と沈鴻烈司令共力して富錦を固守し下流の江道を封鎖すべく我が軍艦江亨、利川、利綏と張團長を富錦に留め一面路永才團長等をして第三團、第五團の各一ケ營と本隊とを指揮せしめて同江縣の奪回雪辱の任に膺らしめて居る、此役に於ける敵軍總指揮は露人「スチャースク」及前敵總指揮は支那人曲振國（鐵嶺人）副指揮徐秉慶であつた

その他の事項をあげて

排日を煽 るが如き見當違ひの報告を呈出して居る、尚十八日吉林省當局は前方より同江縣城の赤軍は完全に撤退し我が軍艦江亨は同日正午頃同江に到着し軍隊も陸續到着しつゝありとの報告に接したと

蔣氏の命で 方本仁氏の赴晉
太原に閻氏を訪ふ途中 天津で時局を語る

【天津發】湖北省主席方本仁氏は蔣主席の意を銜み太原に閻錫山氏を訪問して西北問題を解決する爲十六日朝津浦線で入津し北平より山西に向つたが左の如く語つた

今回突然北上して來たのは蔣主席より閻錫山氏に宛た親書を屆けるため西北問題に對する相談は出發前北平の何成濬氏に打電し北京で一應相談する考へであつたが、河南に出發後であつた故自分は北京より轉じて赴晉の考へである、元來閻總司令は極力平和を希望し中央の意志は常に尊重して終始渝らない、西北問題に對しても中央の意志尊重して居る故蔣主席も相當に滿足してゐる、又閻氏の部下要人が在京中の工作に就て見ても中央擁護の誠意は充分察する事が出來る中央は第二集團の各軍に對しては非常な同情と好意を有し軍費其他の給與に就いても常に充分な手配して居つた、宋哲元等は始終割據爭雄を欲して編遣の實行を肯ぜず遂に今次の如く中央に反抗して統一を破壞し編遣を阻害するに至つたが全國民の同情は無い、故に李白、兪李の兩氏と同樣の運命に逢着するであらう、今次の行動の主謀は馮氏であると謂はれるが事實か何うかは判らない、中央は對戰の準備は出來た故心配はない、呉稚暉氏も北上する樣な話であつた

東行線の輸送不能で 大手筋の競爭
本年の北滿特産界

【ハルビン發】露支紛爭のために輸入商は勿論のこと輸出商も亦大部分は相當の影響を受けてゐるが東行線の輸送不能で今後は全部特産物は南行線を選げねばならぬ、其れがため歐洲方面への取引關係を有するシビリスキー、ワッサルドカバルキン等の大手筋外商と三井、三菱、日清製油等の邦商は南行線による取引に就いていづれも作戰をめぐらしてゐるが、本年度の特産界は其等大手筋の競爭で小中特産商の活躍は絶對不可能であらうと悲觀されてゐる、且つ銀行筋に於ても小中特産商に對しては、クレヂツトのない限り一切貸出を手控える意嚮であるから支那側官商と外商大手筋の商内に總ては掌握されるであらうと

哈大洋新票の 交換期を延期

【ハルビン發】ハルビン大洋票の舊紙幣は九月廿日から十二月廿日までに全部新幣と交換することになり支那側銀行では行政長官の命により毎日交換をしてゐるが、三千六百八十萬元以上の巨額の紙幣は豫定の期日内に引換へを終ることは至難であるため十二月廿日以後に於ても交換に應ずるやう延期したと

南行輸送取扱

【ハルビン發】浦鹽向け特産輸送不通のため東鐵にては南行輸送の便を一般特産商に計るため阿什河、烏吉密、一面坡、海林、穆陵等を混合保管制度聯絡取扱驛に指定した

極東銀行の 貸金回收
捗々しくない

【ハルビン發】ダリバンクの事務繼承に對する支那側官憲の干渉があつたが、整理委員として殘留した行員は全部鮮銀前に事務所を設けて回收に努めつゝあり、支那側は市政局及行政長官公署の布達は事務所を移轉してから整理委員のもとに通達された程度で官憲として最初の如く強硬の態度を稍緩和して來た傾向である、尤も貸出金約百四十餘萬元中一割乃至一割五分は整理員の手で回收されたが、支商一般事實上不況のため支拂不能のため一時ダリバンクとしても積極的に回收することをしない方針を採つてゐる、ドイツ銀行支店開設は目下の處見込なくシュルツ支配人がダリバンクの引繼事務をみてゐる程度である、因にベルフダリバンク支配人は十九日モスクワに到着したとの電報があつた

近く東北大學で 義勇軍組織
武器の發給方を申請し 國境に出動する

【奉天發】既報の如く東北大學では文理科の學生五百名を以て義勇軍を組織することゝなり劉風竹學長は張司令長官に對し衣服銃器等の發給方を申請中の處學良氏は被服、兵工兩廠に發給方を命じたので近く義勇軍を編成し國境に向ふ筈であると

南征雜錄（13）
難波勝治

モビル

土地の案内記にはモビルを頗る風景の好い所のやうに吹聽してあるが、前に述べた通り川も濁も土砂の爲に溷濁して居り、附近は一體に砂地で綠樹青草も餘り艶々しく見へぬ、併し氣候は頗る順和で水質も亦清冽である、過去五十年間の測候表によれば、一年のうち晴天二百七十日、曇天九十五日であるが、一昨年度の日照時三千八百六十五時間、一インチ乃至百インチの降雨日數九十日であつた、そのうへ温度は一年平均六十七度四分、冬期は二十三度乃至七十七度、氷點以下に降つたのは僅かに十二日だつたそうである、斯うした氣候風土は自から代々の各國植民をして、此地を開拓の中堅たらしめたのであらうが、それだけモビルは當時の遺跡と傳說とに富んで居る、最も古い家屋は一千八百四年に建られた三層のホテルで、一千八百二十五年ラフアエツト訪問の際その宿泊所に宛られたさうだが、更に創刊以來百餘年の歷史を有するモビル、レヂスターが一昨年まで其處を營業所として居たのも面白い、ローヤル街とチヤーチ街との北角にある市廳は、一千七百十一年佛國人の建築したルデ・ラ・モビル城壘の跡を利用した者で、廳舍の竣工したのは一千八百五十三年、當時米國南方諸州に於ける最美の建築物中に數へられた、感慨深く男ゆるのはスコット街附近の舊い墓地で、其處には佛國から流謫されたボナパルト黨や、革命の憂き目から逃げ出した植民たちの古墳が、累々として在りしその昔を語り顏であるが、君國の爲に植民發展論を唱へ來つた私には、殊にそれが緘黙な或る激勵を燃み込まれるやうに感ぜられた、又米國各地の都市に能く見る奴隷賣買の遺跡もあるが、首枷をはめた人間の貨物が最初モビルに輸入されたのは一千七百二十一年であつた、當時の相場は一頭百七十三弗だつたそうだが、斯うした慘虐な賣買行爲が一千八百五十九年までの百三十八年間繼續された事は、永く米國植民史上に大なる汚點を遺す者だと評し得る、この奴隷制度の存續に依つて思ひ合すのは合衆國近時の黑人問題である既に一千百萬を超過する黑人とその富力智力の進歩とは、同國白人系間に絶えず憂慮される事項の一であるが、彼等を從來の如く政治的に解放して而も社會的に彈壓する事が、果して國家永久の安全策であるかどうかは疑問である、現に米國近時に於ける繁榮は勞働者の財的位置を一般に向上せしめたが、殆んど下級勞働に限られた黑人にも餘慶を及ぼし、その智識の進歩と共に自覺心をも高め、最早無智で放縱で貯蓄心のない低級種族でなくなつた、隨つて若し白人にして依然舊時の極端な差別待遇を持續するならば、彼等の之に對する不平を一層熾烈ならしめるのみならず、益々その社交上の低級生活より生ずる財的餘力を增させる結果となる、現にこの傾向は各種の方面に現はれ、白人よりも安易な生活を營み且つ潜勢力を有する者が多い、ローマの衰運に乘じてそれに代つた勢力が、曾てローマ人が蔑視した奴隷階級であつたやうに、何れの日にか白黑その地を改める時が來ないとは誰か言ひ得やう、それかあらぬか最近年米國一般に黑人に對する態度は、緩漫ではあるが漸次改善されんとして居るやうに見える、之は獨り合衆國内の現象のみでなく、近時アフリカを視察した白人旅行者等も彼地に於ける黑人の底力ある社會狀態を見て、「アフリカは竟に黑人の天地なり」と公言するやうになつたが、之は蓋しアフリカ全土の黑人數に匹敵する大衆を包擁する米國識者の深く考慮すべき重要事件であらう

吉田野田兩巡査 遭難義捐金寄附

〇兩巡査義捐金

▲金四十四圓七十一錢大連市役所員一同▲金二十圓南滿洲工業專門學校▲金十五圓星の家從業員一同▲金九圓三十七錢大連常盤尋常小學校職員一同▲金六圓宛寺兒溝住民互助組合、寺兒溝住民互助組合長郭子珍、小島定吉、濱本商會、滿鐵消費組合元木照五郎、高山たけ、美喜助、まき子、光榮、玉勇、老虎灘會廣海捨藏、徐慶祥、譚成元▲金二圓五十錢滿鐵社員消費組合兒玉町一同▲金三圓宛道家秀雄、島崎勘一、老虎灘會周慶禮▲金二圓宛滿鐵社員消費組合今井巳代吉、深江健次、首藤孝夫、清水豐一、藤井□吉、老虎灘會周懋琳、杵屋正春、漣玉、杉原靜枝、原田政子、鈴木初江、藤田篤雄▲金一圓宛寺兒溝住民互助組合事務所員一同、元木滿鐵社員消費組合平松百治、安彥、藤田政治郎、須田茂三郎、西脇精一、滿鐵社員消費組合吉田芳之助、上廣成一、原口彌太郎、松田政教、齋藤繁、岡操、老虎灘張本善、周德海、長永和、朱洪禮、宋希富、唐立中、金志西、葛西つる子、劍持よしの、小野寺靜、池田壽ゞ子、今津多壽子、高島とし子、新高、網島、末次、東之子、岩崎まゆ子、三井ミサオ、高橋常代、大西イト、大西千鶴子、藤田純子▲金五十錢宛滿鐵社員消費組合松田直吉、深町五郎、安富圭二、久留重藏、青山金太郎、長濱貫一、宍倉良司、河本勝二、吉村敬一、永谷壽一、小黑馨、竹中太良、北川一士、足立全二、多賀思廣、中島繁一、加藤勇、平ノ井豐次、福島秀策、小久保松太郎、岩切市之助、國松榮二郎、松田重雄、鷲峰正純、下田慈一郎、吉浦明智、久野敬一、福田矢市、阿部松太郎、瀧川重幸、山本作藏、下村新一郎、富田睦雄、伊藤史春、肱岡武夫、二神武、河野德市、南城尚夫、坂野銈一、大橋正男、伊藤征一郎、澄田宇太郎、坂井貞三、圓尾垣二、松井駒藏、小西秀成、德永德次郎、岩崎盛夫、藤井茂一、老虎灘會黎栽章、大東號、湧和棧、義合順、夏毓德、黎成、孫繼倫、楊允志、陳壽松、張吉人、呂熙純、初德財、孫立功、周德治、楊忠孝、孫立業、周茂松、朱洪信、孫立榮、孫世芳、孫世魁、朱洪全、張洪云、谷鈞禮、谷振慶、崔成禮、唐瑞雲、彭玉秀、崔成仁、熊本アサ、河合ヤエ、武田光代、山本ミサオ、横山ヌイ子、西田文子▲金三十錢宛滿鐵社員消費組合藤本一義、吉野幸策、伊藤ハツ、佐藤ラク、多田爲成、稻毛藏、中村榮一、土井甚一、陶山亮一、佐藤廣一、前田秀俊、山中德一、小川五八、糸井嘉重、青木眞吉、老虎灘會谷振岳、劉思盛、唐立元、林吉蔭▲金四十錢宛周德家、唐瑞新、唐立常、唐瑞瑤、唐瑞貴、唐瑞池、渾詹德、唐立芳、唐瑞書、唐瑞文、張萬清▲金二十錢宛滿鐵社員消費組合深川勘四郎、根本得子、森東ツチエ、森永再子、原ミツエ、米滿正子、宅間友好、佐々木養助、樋口虎夫、松尾壽一郎、日塔八太郎、清水淵、大賀又左衞門、於保吉次、宮崎重藏、稻益美則、松末末次、卜部傑夫、平中友三郎、小林茂、西田義夫、鈴木光男、橋口仲馬、久保國太郎、西山茂、甲斐三男、柴田直治、老虎灘會唐瑞祥、唐瑞年、唐啓詹、孫立林、唐瑞杏、劉成德▲金十錢宛滿鐵社員消費組合井上直吉、渡邊新雄、向郁一、岡田正、青山幹、老虎灘會潘永來

日計金二百六十四圓八十八錢
累計金三千六百四十六圓九十二錢（内大洋五圓）

〇弔慰金

▲金二百圓南滿洲鐵道株式會社▲金二十圓滿洲製麻株式會社井上輝夫外一同▲金十五圓太平駒楢▲金十圓宛大藏公望、岡虎太郎、藤根壽吉、神藤常孝、齋藤良衞、小日山直登、豐年製油株式會社社宅一同▲金七圓南滿洲教育會教科書編輯部▲金五圓宛同發滿張同堂、林房吉、李松山、山葉龍五郎▲金三圓上原進

日計金三百三十五圓
累計金千四百十三圓二十五錢

〇見舞金

▲金五十圓南滿洲鐵道株式會社▲金五圓大連沙河口警察署員一同

日計金五十五圓
累計金一百十九圓
總累計金五千百七十九圓十七錢（内大洋五圓）

前回弔慰金十圓山田洋紙店大連出張所とあるは同所會の誤に付訂正

滿日地方版

撫順

永安橋の改修　鐵橋を架設
總經費十四萬五千圓を日支で折半負擔

[illegible]

社會課主催の蔬菜品評會
入賞者五十三名

[illegible]……品評會は十九……の便宜を圖り……に於て開催された……百七十點近來に……農林係主任、……嚴密なる審査……二名の入賞した……等九、三等十九……新屯伊藤正（白……人參）新屯春原……藏（キャベツ）……同增淵釜吉△……

二等賞（大根）同出口靜江（同）同松本勝三郎（白菜）同小原誠吉（同）同三根勘六（牛蒡）東鄉齋藤龜吉（同）運輸事務所官補誠二（人參）新屯大塚秀明（同）明石町齋藤要吉（ネギ）新屯森チヱ子、同三等賞（大根）新屯石田止△三根勘六、同井手ロヨシ、同森ナミ子、同出口一男、同井上滿子（白菜）大官屯山地（牛蒡）新屯井手口乙吉（同）同大塚モリ（人參）新屯松山照（同）同中村綱治（ネギ）新屯春原（同）萬達屋德永廣吉（同）新屯出口靜江（里芋）新屯井上八重子（同）同高妻龍馬（山芋）老虎臺齋藤久一（南瓜）新屯池口晉七の各氏

にして二十日午後二時より褒賞狀授與式あり一、二、三等入賞者は賞狀及獎勵金一封、四等は褒狀を授與された

馬賊團と巡警交戰
副頭目を逮捕

二十日午後三時半頃河金溝炭坑東方金溝部落に優勢なる馬賊團現はれ附近の豪農を襲ひ現大洋三千圓を要求十八歲位の娘を人質に拉去せんとする處を元撫順署巡捕現巡警何松林氏が勇敢にも是を追跡格鬪數十分の後ブローニング八連發所持の賊の副頭目張鳳山（三〇）を捕縛、他は搭連方面に向つて逃走するので多數の巡警是を追跡、龍鳳部落後方渾河との中間に追ひ込みたるも賊彈雨の如く飛來し遂に賊影を逸したが近時收穫時をつけ込みたる馬賊團の跳梁は戰慄するものであると

頻々として電線盜難
犯人一名逮捕

十九日午後九時敷島町南より古城子坑に至る間のケーブル線百五十米突時價五百圓のものを三名組の賊が切斷窃取内一名は勞務係にて逮捕亦十九日三時頃永安小學校西側の電燈用十番線三百四十米突も何者にか窃取された

後半戰に振ひ撫順軍勝つ
對教專ラ式蹴球戰

十七日午後一時より永安臺競技場に於て奉天教專對撫順のラグビー戰が行はれたが折柄の肌寒き晩秋の風に曝されつゝ肉彈相うつの白熱戰が演ぜられ教專の攻擊素晴らしく且つキックに巧に撫軍危ふしと見えたが撫軍前半ミス續出に反し後半は斷然教專を壓迫遂に六對三にて撫軍捷つ閉戰二時、兩軍のメンバー次の如し

教專

FW	島岡崎山田口沼尾田野田島田野原
HB	小山山森和江飯濱岩前古輪宮光宮
TB	村泉見木戸　田村賀崎野川葉　下
FB	々

撫順

川今人佐瀨幸山松古宮西赤稻溪山

自動車と電車衝突
大和公園前で

十七日午前八時十八分大和公園電車停留場橫踏切で市內愛輪タクシーの自動車が通行中製油工場方面から來た電車と正面衝突をやり自動車は二間程ふつ飛ばされ再び使用に耐へない位滅茶々々になつたが幸ひ怪我人はない過失は双方にあるらしく目下調査中

ハーモニカ演奏會

撫順ハーモニカ研究會のリーダー撫順醫院の五十嵐惣氏の骨折で二十二日午後七時より實業協會に安東ハーモニカ研究會と撫順同志との大演奏會が擧行される、同好者

京城

運合會社創立發起人會開催
創立委員廿名を擧げ具體的に準備をすゝめる

[illegible]……人會は既報の如……より鐵道局食堂……委員十名に依り……委員を擧げ、臨……平田明運常務……懇親會に移つたが……發起人會を開催創……運合創立の具體

挨拶を述べ直に懇親會に移つたが更に近く第二回發起人會を開催創立委員長互選及び運合創立の具體的準備を進める豫定である

△創立委員　立石、中村、河合、星野、竹幵、姜昌熙（京城）太田吉田（仁川）白垣（釜山）金晃周、房宗（平壤）友永（淸津）永井（新義州）本岡、洪鍾熙（元山）村尾（太田）松本（全州）李英煥（開城）林南臺（新北靑）甖住（東京）

哈爾賓

司法官會議へ
兩氏が出席

本月三十日から四日間旅順に於て開催される司法官會議出席のため中川司法領事、水野警部の兩氏は廿八日出發すると

松江餘滴

コスト機が奉天へ出發する其の日▲郊外の飛行場には多數の內外人が殺到した▲一婦人が寫眞器を所持して立つてゐるのを視つめた警戒の支那兵▲相手に支那語が判らぬからよいが惡口のかぎりを並べてゐる▲寫眞を撮つてはならぬと制止した支那兵に頑張つて警戒線の最前線に立つてゐるためにはら癒せの侮辱▲だが相手が解らぬだけ問題にならぬとみて今度はソロ〳〵奧の手を出し▲風の方向を見計らつて風上から痰をペッ、ペッと吐きかける▲唾氣は思ふ通り婦人の着物へ飛ぶこれを視つめてニタリ〳〵▲ロモウズも懲々參つたナと手を打つて喜んでゐる▲竹槍をかついだニーヤは佛機が何だ、一日の日給三十錢は不要だ、早く飛んで仕舞へと盛んに野次つてゐる▲これ等の人間が警戒してゐるのだから恐ろしい▲こうした大膽な侮蔑が彼等一丁字を知らない人間に喰込んでゐるのでは外人を侮辱する以外問題はない▲だがホーヂヤ、シーフユウと反對に冷笑されてもうれしさうに笑つてゐる處がニーヤ式であらう▲最近一兵卒に至るまで對外人觀念が極度に惡化してゐることだけは記憶して置くことだ

吉林

教育廳が教材蒐集
中央の命令で

吉林省政府教育廳は今回中央政府教育部から中小學校及び民衆學校に用ゆべき教科書材料の蒐集並に現在使用の中小學校、民衆學校教科書に對する意見と批判を徵求して來つたので右に關し管內各縣に通達した由

九月中吉林驛乘降旅客總數

九月中に於ける吉林驛吉長、吉敦兩鐵路乘降旅客數は次の如くである

▲吉長鐵道

乘車數	二〇、六八七人
降車數	二一、五六七人

▲吉敦鐵道

乘車數	一〇、九六六人
降車數	九、〇四九人

木材發送數量
五百二十九車

九月中に於ける吉林驛發送木材數量は左の如くである

種類	南滿連絡	吉長打切
角材	一三四車	三車
製材	五七	五
元木	一九	二三
棺材	一	六、五
楊木	一	二六
其他	五	三三
合計	二一七車	九六、五車

尙吉敦發の中繼木材數量は次の如くである

種類	連絡	打切
製材	八四車	四六車
元木	一三	七一
枕木	二八	二五五
其他	七	二五
合計	一三二車	三九七車

奉天

奉天警察署の盛大な移廳式
約六百名の多數出席
美形連の餘興が賑ふ

奉天警察署の移廳式は既報の如く廿日午前十一時半から新廳舍內庭の式場に於て擧行された出席者は關東廳から日下文書課長、和田保安課長、竹內土木課長、三浦外事課長、藤田學務課長、臼井技師、沿線から各地警察署長、その他諸名士、奉天では森島領事、太田地方事務所長、鹽尻地方委員議長、野原郵便局長、支那側から白公安管理處長その他官民約六百名に及び一同着席後立川警視の開會の辭に次で工事報告、乾署長の式辭、日下文書課長の關東長官告辭代讀あり來賓側森島總領事代理の祝辭及び太田地方事務所長、白全省公安管理處長、西尾居留民會長代理、省會公安局長、鹽尻地方委員議長、附屬地商務會長等の祝辭あり立川警視の兒玉朝鮮總督府政務總監、鳥取縣知事外卅八通に上る祝電の朗讀、乾署長の挨拶について直に宴に移つた、柳房美妓連は勿論平康里からも總出の酒間斡旋に秋を盡し一方當日を祝賀すべく日常から眞心こめて猛練習をしてゐた柳房料理店金龍館から乘合船、幹山から菊と紅葉、金龍亭から松島、柳町からつばめ會の清元老松等の催しに一層興味を添へ當日は聊か寒氣を覺えたが最後まで盛會を極め午後三時頃終了した猶新廳舍樓上には警察に關係ある參考品及び奉日社出品の新聞製作模樣その他參考品等が陳列され參觀者に多大の興味をそゝつてゐたが廿一、二の兩日は午後四時まで一般の參觀に供することゝなつてゐる

競馬會の新記錄
賣上八萬餘圓

本年掉尾の奉天競馬會は既報の如く十九日を以て終了したが今回は出馬頭數多數に上り且又六日間の最初の試みに非常な人氣を集め觀客多く從つて投票券の總賣上高實に八萬六千七百餘圓に達し競馬會開催以來の新記錄を作つた

一、臨抽優勝カップ　馬主大崎侃爾氏　馬名大行

一、新古呼特別レース　同白石和隆　同雅美

一、秋抽　同安達郁　同叶

一、古抽　同藤守次　同桂

一、古驅　同エフレモフ　同パンコウ

出口氏歡迎會

大本教主出口王仁三郎氏の歡迎晚餐會は十九日午後六時から洞庭春に於て開かれたが大本教並に世界紅卍字會東北分會員その他相會するもの百七十餘名で盛會を極めた猶同氏は豫定を變更し廿一日朝長春へ向つた

瀋陽駄話

日支三國選抜の陸上競技は廿日芽出度無事終了した▲元來この計畫は本年早々から唱へられてゐたものでその當時は果して實現するかどうかとまで怪しまれてゐた▲しかしその間幾多の紆餘曲折を經て兎に角奉天で開催された事は確に滿洲における歷史的記錄を作つた譯である▲ドイツ選手にとつてはその方法が幼稚であるかも知れぬがスポーツ熱が世界に高潮してゐる秋かゝる世界的競技を奉天で催した事は獨りドイツばかりでなく日本と密接な關係ある中國側に於てもどれだけの國際的收穫があつたかも知れぬ▲此程の日支佛競技今回の日獨支競技更に何々と今後も引續いて行はれるやうにならうが單に體育上の競技としてのみ見るよりも國際親善人類和平として觀ればその競技たるや非常に深い意義を有するものでなければならぬ▲奉天にも北陵に大運動場附屬地にも國際運動場が設置さるれば將來かうした機會は逐年增して來ることは必然的で殊に日支親善を進める意味に於ても非常に喜ばしいことである

人事

▲寺內守備隊司令官　廿日朝大連より來奉同日公主嶺へ

▲村田步兵第三十三聯隊長　廿日四平街へ

▲日下關東廳文書課長　二十日來奉同日歸連

▲和田同保安課長　同上

▲三浦外事課長　十九日來奉ヤマトホテル

▲齋藤滿鐵理事　十九日長春へ

▲淸水齊々哈爾領事夫妻　十九日長春より來奉

▲ローワエル氏（カナダ代表）二十日急行にて京城へ

▲フリワツ氏（米國鐵道協會書記長）二十日撫順往復同夜赴連

▲チエンバーレン氏（米國代表）二十日大連より過奉京城へ

▲周四洮鐵路局長　十九日四平街より來奉

▲太原本社營業局長　二十日奉天往復

▲草場本社安東支局長　二十日朝長春より來奉同日歸安

開原

童話講演會

兒童慰問のため滿鐵の招聘せる童話界に名聲高き水谷まさる氏は來る二十九日十一時五十四分特急にて來開し午後一時より小學校に於て兒童のため童話あり午後六時半よりは公會堂に於て一般の爲めに講演をなすと

ハーモニカ演奏會

兒童デーハーモニカ演奏會は社會係主催にて來る二十六日午後六時より開原小學校講堂に於て開催し奉天教專ハーモニカ團の出演あり舞踊等も上演すると

遼陽

酒井家不幸

當小學校訓導酒井佐市氏は嚴父危篤の報に接し去る十二日出發歸郷したが遂に藥石効を奏せず十八日午前十時福井市老松町の自宅に於て永眠した葬儀は二十一日營む旨の電報が有つたと

九月中の金融狀況
閑散裡に越月

時節柄産物は農家が秋作收穫の繁忙期なれば新穀の市場に出廻り來るもの極めて僅少にして其の大部分を占め居る高粱も漸く當地消費額を滿たすに過ぎず何れも品薄の爲め相場は産地高にて大連方面との取引行はれざるを以て市場は未だ活氣を呈するに至らず商況極めて閑散であつた

綿糸布は本月は農繁期にて田舍の出市するもの少なく綿布は時に賣行不良を極めたる爲め城內家庭工業の一たる小規模機房の休業者を出すに至り他面銀、三品等の材料連日不味を辿りたるを以て商況一層不振を極め閑散裡に越月した

錢鈔は奉票現物相場は前月末六八九〇元を唱へたるが九日には六四二〇元迄昂騰したり然るに何等持續力なく直に反落を辿り廿一日には遂に七、〇八〇元となり其の後は餘り變動なく月末七、〇四〇元を唱へ越月した

一般市況は叙上の如く商勢不振なりしを以て資金の需要勘く輸入高燒酎製造業者間に於て多少資金需要ありたるが如きも金融界は依然閑散であつた

貔子窩

軍司令官巡視

畑軍司令官は十九日午後一時普蘭店經由來貔鹽紙會社武田農園城子疃等を視察常盤旅館に一泊二十日午前八時貔子窩發列車にて歸途についた

庭球納會開催

愈々訪れる北風に終りを告げんとする當地庭球界も二十日の日曜日を期し納會を公園コートに於て催した

上地氏講演會

滿洲修養團聯合支部の招聘に依り來滿せる上地氏は十九日十二時着列車にて來貔同日午後より公會堂に於て修養に關する講演をなした

中日懇談會

貔山驛では恒例に依り來る十一月一日正午より附近部落の各村長其他有志を招待し中華飯店に於て中日懇談會を開催し列車運轉、貨物盜難の事故防止等鐵道に關する智識の普及に努めると

鞍山

祭日を期し國旗揭揚を督勵
實業靑年團の活動

益々結束を堅くし凡ゆる方面に奉仕的事業の進展を見んとして居る鞍山實業靑年團では去る十二日の定例役員會に於て各祭日に國旗揭揚者の勝きを遺憾とし之れが國旗觀念の涵養と揭揚方獎勵に關する件を決議し其の第一回を神嘗祭當日の十七日に實行した、先づ團の幹部は早朝から起き出で六時から七時までの間に於て「今日は神嘗祭忘れず國旗を樹てませう」の刷物を軒別に配布し猶夫れ以後の未揭揚者を發見した場合には更に注意を促す等徹底的獎勵に努めた結果町民をして大いに感動せしめ未だ國旗を備へて居ない者で當日購入した者も尠くなく雜貨店では旗竿や金玉が不足で註文に應じ切れなかつたとの事であるが當日町側の國旗揭揚は非常に多く見受けられたが猶靑年團に於ては今後引續き是が獎勵に努力し且つ今回の好成績に鑑みて滿鐵の社宅方面へも同樣獎勵する筈であると

神社祭典に參拜者少し
敬神觀念に乏し

鞍山神社では各祭日每に各方面へ禮し式に參列方を案內狀を發して居るが何時も參列者は極めて少數で如何に敬神の觀念に乏しきかを如實に物語り日本國民として實に寒かはしい次第であるが十七日執行せられた神嘗祭の遙拜式當日は神社では勿論實業靑年團に於ても各戶に刷物を配布して參拜方を慫慂したが參列者は僅かに井上郵便局長、石川地方委員副議長、伊藤地方係長、中木保安係主任、矢澤小學校長、堀區長、石礙事務課長植田靑年團長同團員四名、外二名等の十四名に過ぎなかつたが參列の某氏は語る

各祭日の式典及遙拜式に參列者の影の薄ひとは常に痛嘆して居る處で市民民子の冷淡さ加減には只呆然たるの外はない、勿論事故其他の事情によつて參拜されざる場合もある事だらうが月に一度あるかないかの祭事であれば萬障を繰合してゞも參拜するのが神國を以つて誇る日本國民の務めではあるまいか、此處に贅言の要はないが祭日には有志「言はずもがな一般氏子多數の參列を欲すると共に吾等在住民の守護神である鞍山神社に今少し敬神觀念の涵養に努められん事を熱望する者である

小學校創立記念祝賀
明治節に擧行

鞍山小學校の創立十周年記念祝賀會は來る十一月三日の明治節を卜して盛大に擧行さるべく既に各委員も決定して夫れ〳〵準備中であるが當日の主なる催しは左の如くである

△記念式　午前十時半から講堂に於て擧行、日向校長の訓話、勅語捧讀、來賓祝辭、校歌合唱

△祝菓子頒布　父兄會から全校兒童約八百名に分與

△職員表彰式　表彰者は同校開設以來十年間教育に精勵した梶川訓導一名

△兒童作品展覽會　全校兒童の作品及各國兒童の作品を一般の展覽に供す

△バザー　家政女生及高等科女生の手藝品を陳列して一般に卽賣する

△祝賀宴　官民有志數十名を招待

△音樂會　三日夜兒童の記念音樂會を催し一般に開放

猶右の外に種々な催しが計畫されて居る由であれば當日は定めし盛況を呈するであらう

防火演習繰上
本日擧行する

既報二十三日の防火宣傳は二十二日に繰上げられ午後一時から行はれる事となつたが、市中一巡の後消防隊別室に於て慰勞の宴を催すと猶當日は模擬火災演習もある筈

池坊生花大會

華道家元池坊では今回鞍山に福會支部を新設する事となり二十二日午前十一時から實業會堂に於て發會式を兼ね生花大會を開催する由で當日は目下來滿中の家元宗匠代理塚本松溪氏も臨場すると猶支部長には矢野さい氏が推薦された

市井雜俎

十七日千山探勝團を主催して成功して製鐵所鐵魂では來る二十七日の日曜を利用し鳳凰山の紅葉狩りを催す事となつたが出發は二十六日午後六時半歸着は二十七日午

◇

山陽時報社主催の滿鮮視察團の一行は近く來鞍製鐵所を視察する豫定

◇

梅田氏は二十一日正午から製鐵所講堂に於て從事員の爲め獨逸見聞講話をなした

◇

鞍山園藝會では近く菊花展覽會を催すべく計畫中であると

鐵都夜譚

近頃局の延達が不親切だとの聲を此處彼處で聞く十九日の宵永樂町に強盜被害事件が突發した際某が警察に急報すべく馬賊々々と言つて呼出し方を求めたが唯話中とのみで接續せなかつたとの事非常時に於てすら斯くの如きで實に困つたものだと當局では憤慨して居た▲昨今鐵西市場內の支那旅館で賣淫をする不義の日本人が居るとか何んでも女は滿鐵病院の附添婦だとのこと

瓦房店

荷馬車道指定さる

從來瓦房店市街道路は荷馬牛馬車の通行を制限せなかつたが、近來田舍より搬出する穀類其他物資は著るしく多くなり隨つて道路を破壞するので地方事務所にては警察と協議の上衞生作業又は轉宅の場合に使用する牛馬車の外承認を受くるにあらざれば左記道路以外は通行を禁ずる事となつた

一、石丸果樹園附近より商業街を經て東、西復州大街に至る間

一、同く機關區南方より公學堂裏を經て財神街に出て復州大街廣場と屠獸場に至る間

一、驛前より火葬場に至る間及金關店より東復州大街に出づる間と同じく學校前に出て敷島街に至る間

露店營業所

附屬地衞生取締上の必要より地方事務所にては中和街と線總街の一部道路の兩側を露店營業所に指定し相當料金を徵する事となつたが十一月一日より實施すると

安東

新義州で大電球を點燈する

新義州電氣株式會社ではトーマスエヂソンが一八七九年十月二十一日白熱電球を完成してより本年が丁度五十年目に相當するを以て此の記念日の催しとして今度アメリカから日本にタッタ五十個輸入して來た素晴らしく大きな一萬燭光と言ふ電球を購入して府內消燈通京屋旅館の四つ角に特に塔を建て點火する事に決定し當日點火したが此の大電球は朝鮮に於て京城と新義州のみであると

浮浪鮮人救濟

安東朝鮮人會では在留朝鮮人の醜勞の美風を涵養するのと浮浪中の朝鮮人に正業を授ける爲め六道溝にある六萬坪の滿鐵所有空地の貸下を領事館を通じ地方事務所に願出た地方事務所に於ても朝鮮人會の趣旨に賛成し調査を進めてゐるので近く實現する事とならう此の實現の曉には六道溝一帶に蔬菜耕作地が出來安東市民の生活上にも利益を齎すであらうと期待されてゐる

營口

營日醫院の落成披露
廿日盛大に

建築費三十六萬圓を投じたる營口醫院新築落成披露宴は二十日午前十二時から開會されたるが多數の來會者は開宴前醫員及事務員に案內されて院內の各室及設備等につき一々詳細なる說明を得、設計其他が何れも最新式の樣式に依て構造されて居るので完全無缺且つ至便で寧ろホテルにしたきほどの整備である一同食卓に着くや前田院長は營口醫院の前身たる同仁醫院を引繼ぎたる歷史及新醫院の設計設備及特色等につき詳細なる說明をなし挨拶にかへ之に對する荒川領事の謝辭あり宴中はたへず看護婦諸姉の親切なる歡待あり更に三階の模擬店に入りて各自思ひ思ひに好むところに投じて歡をつくした、來賓は日支人及婦人連約四百名全院を擧げての歡待に何れも大滿足の意を表し散會したのは午後二時頃であつた

憲兵隊の檢閱

二宮關東憲兵隊長は營口憲兵分隊所定期檢閱の爲二十一日午前九時四十五分來營午後三時二十五分に大連へ歸任した

蛙鳴集

奉天醫大助教授　辻　忠治

三、予は李逵を愛す

溫厚にして義氣に富た鄆城の押司及時雨宋江が愛妾閻婆惜の愛想盡かしに怒つて、之を斬つてから一時田舍に隱れて居たが、飽くまで親孝行な宋江は國に殘した父親の老後が思ひやられ丁度當朝の御不例であつて減刑の恩命に浴したのを幸ひ、家に歸つて自首し出で遂に江州城に遠流されることになつた。途中あらゆる苦勞して江州に着し、牢內で知合になつたのが水滸傳中の花形戴宗と云ふ長距離の選手である。李逵は當時無類の徒で酒と賭博にのみ耽つて居たのが、戴宗の心盡しにより宋江に會つてから、初めて主要な人物として傳中に現はれるやうになる。

李逵は自ら鐵牛と稱し常に裸體で居たと云ふから、全身肉と脂肪とで埋まるやうな男であつたに相違ない。好んで双斧を持つて戰つたとあるから、三國誌の典韋とでも云つた風な男であつたらう。

戴宗曰く

這廝本事自有、只是心麤膽大、不好在江州牢裏、但吃醉了時却不奇何罪人、只要打一般强的牢子、我也被他連累得苦、專一路見不平好打强漢、以此江州滿城人都怕他

と人と爲りが想像出來る。抑々其活躍は潯陽江中に於ける張順との一騎打ちに始まる。

或日宋江は戴宗、李逵の二人を連れ江畔の料亭に杯を擧げた。無作法な李逵は箸も使はず、兩手で大きな肉を割いて食つた。其中宋江が潯陽の魚を食つて見たいと言ひ出したので、李逵はよしとばかり跳出す。江岸に繫いであつた漁船を片端からあさつて、宋江のため大きなのを持ち歸らうとするが根が智慧のない李逵、いけすの口を開けて魚を皆逃がしてしまう。承知出來ないのは船頭達、各々櫂を取つて鬪ふも到底李逵の敵ならず。丁度其時張順と云ふもの、上手からやつて來て李逵を誘ひ出し船を覆へして水中で戰ふ。陸ならばこそ李逵は雙斧の達人であるが好漢水に熟せず、浮んでは沈み、沈んでは浮み、カッパのやうな張順のため散々な目に遭はされる。傳記語つて

李逵被那人在水裏揪批、浸得眼白、又提起來又納下去、老大吃虧。

と。牛のやうな男がアップ〳〵水を呑んで苦む樣を船頭等は氣持よく眺めたことであらう。其中に宋江戴宗が追つかけて來て仲直りをさせる。間もなく宋江が潯陽樓の壁に、反詩を書いて捕はれの身となり、知府蔡九の命により、市曹に斬られんとした時、茶店の二階から跳び下りて來て、一番に劊手の首を刎ね、之を助けたのは此李逵であつた。此時蔡九の追手を引受け、雙斧を振つて敵を斬ること數知れず、黑旋風の面目躍如たり。

斯くて李逵は何時の戰にも、步軍の先鋒として武名を轟かしたが其反面又涙ぽい、やさしい點を忘れることは出來ない。或日公孫勝一淸先生が山を辭して故鄉に老母を省みることになり、宋江以下の見送りを受け金沙灘に下つた。此時急に泣き出したものがあるので驚いて見るとそれは李逵であつた何事かと思ふと、

這個也去取爺、那個也去望娘、偏鐵牛是土掘坑裏鑽出來的、我只有一個老娘在家裏、我的哥々又在別人家做長工、如何養得我娘快樂、我要去取他來這這里、快樂幾時也好。

と言ふではないか。是かあの亂暴な鐵牛の口から出た言葉であるかと一層嬉しい。

漸くにして宋江の許しを得、歸省の途に上り、故鄉沂州界に達した頃、大勢の人が切りと路傍の制札を見て居る。目に一丁字なき彼其處に立つてボンヤリ眺め入つて居る。札に曰く

第一名正賊宋江係鄆城縣人、第二名從賊戴宗係江州兩院押獄、第三名從賊李逵係沂州水縣人。

と、危ういかな、幸ひ同志の朱貴のために助けられるが此處にも彼の無智が窺はれる。斯くて行く程に、松並樹の蔭から兩手に斧を持つて、顏に墨した大の男が現れ出で、我こそ天下の黑旋風なり、命が惜くば金を置いて行けと言ふ。怒り心頭に發して直に此賊を斬る。抑ても李逵家に歸り、目の見えない母を、かつ淩ふやうにして背に乘せ、夜道を急ぐ程に、とある嶺の上で母のために水を求めんと、山峪を下る間に不幸母は虎に食はれる。年とつた母を梁山泊に連れて行き、折角樂しい思ひをさせようと、此處まで努力したのも水の泡、恨み骨髓に達して母子の虎を退治する。虎の穴に隱れて居て、それとも知らず尻込み這入る此虎の尻に、柄も通れと山刀を刺通し之を殺す。黑旋風としてありさうなことである。

數年後宋江が公孫勝先生を迎へるため、戴宗を薊州に派する時、李逵は其隨行を志願した。一體戴宗は神行法を能くし甲馬を足に着けると日に八百里を行くとあり。元來此神行法は葷菜を禁ずるのである李逵の同行を難つたのであるが、たつての願に遂に之を許すことになつた。最初の間は李逵も神妙にして居たが、二三日經つともう我慢が出來ず、戴宗に隱れて肉を食つた。戴宗之を知つて一つ戒めてやらんと終日甲馬を解かず、ひた走りに走る。李逵頗が減つても飯やに跳び込むことが出來ない。飯屋の看板が目の前に幾つも〳〵飛んで行く。其中足が痺れて棒のやうになる。さしもの黑旋風へト〳〵になつてひた謝りに謝る。

希々且住一住、看々走到紅日平西、肚裏又饑又渴、越不能殼住脚、驚得一身臭汗、氣喘做一團好希々救一救、饒一饒。

は大笑ひ。何處までも罪のない男。

扨公孫勝先生を尋ね當てたが、其師羅眞人が如何しても公孫勝を手放さないので、李逵頗の虫が承知せず、夜深松鶴軒に忍び込み羅眞人を刺さんとして、却つて道人のため法を以て戒められ、雲上より知縣衙門の庭に投出される。役人共氣違ひと思ひ做し糞尿をあびせかける。斯うなつては黑旋風も散々の體。

最後に梁山泊忠義堂大祝宴の席上、李逵が宋江を大宋皇帝に戴き呉學究を軍師とし、自分が大將となつて中國を料理せんと大言し、宋江に叱られる處があるが、何と云ふても李逵は水滸傳になくてならぬ役者、余はその天眞爛漫を愛す。

第四回滿日勝繼碁戰（湯淺氏一回　第二回目）

先相先先番　宮武喜三太氏

湯淺唯二氏

[Go board diagram]

●六一チの七	○六二への八	粘ぐ
●六三チの十	○六四トの九	
●六五トの十	○六六トの八	
●六七リの十二	○六八ルの十二	
●六九チの十四	○七〇ヌの十四	
●七一トの十四	○七二への十七	
●七三リの十四	○七四への十六	
●七五ホの十五	○七六ヌの十三	
●七七への十四	○七八チの十二	
●七九リの十三	○八〇ホの十四	

▲國崎四段講評　黑五一以下六七まで損失多大にして局勢忽ち白に歸せり白七〇大に惡し七一に切斷して黑の大石を烈しく攻め立つれば易々勝勢白に確定しならん白七四亦惡し無論（い）に連絡を絕たざる可らず

コドモページ

童話 樂園の破壞者（中）

近藤義長

それは鳩達のいふ「惡い人」が現はれたのでした。確にこれは强敵です。而も突然だつたので鳩達の驚きはそれは〳〵大變なものでした。

「鳩の肉は本當においしい、今日は一つ鳩狩りをやるのだよ」

さう云つて一人の若い會社員風の人が空氣銃を下げて、面白さうに飛交ふ鳩達を眺めてゐました。

「でも君こんな可愛い鳩を殺すのは何だか可哀さうぢやないか」

と一緒について來た人はさう云ひながら空氣銃と鳩を見較べると相手は「フ、ン」と鼻の先きで笑つて答へるのでした。

「何君、こんな奴には生も死もないのさ、生きてゐる間はそりや面白さうにも見えるがさて死んだとて何でもないのだ。こんな奴が可哀さうで銃は持てないよハヽヽ」

「でも生きてゐる以上、鳩だつて出來るだけ生き度いと云ふ氣持のあるとは人間と同じことさ、君だつてさう云ふ考へはあるだらう」

「何に云つてゐるのさ、人間とこんな奴と一緒にされてたまるものかネ」

「いや何も一緒にするのではないよ、たゞその氣持ちを云ふのさ」

「大丈夫、鳩なんかにどんな氣持ちがあつたつてかまふものか、でも肉のうまい事は有難いネ」

その人は鳩達にとつては心强い味方でした。でも相手の人は一向それに耳を傾けもしません。此處で銃を放つてはいけないと云ふ規則もない以上その人もこれ以上は停めることもできませんでした。

相手の人はその人の言葉をうるさいとでも云ふ樣な顏をして空氣銃に彈をつめるのです。今遊びつかれて歸つて來たばかりの一羽の鳩その鳩は自分に恐ろしい運命の巡つて來てゐるのを知る由もありませんでした。ぴつたりとねらひはその首筋に當てられました。「パッツ……」と云ふその音と共に其の鳩はパタ〳〵と苦んで飛び上つたのでしたが間もなく此の高い屋上から眞さかさまに下へ落ちて仕舞ひました。銃を持つた人は急いでそれを拾ひに行くのです。もう一人の人は見てゐられないと云ふ風に顏をそむけるとそのまゝ何處へか行つて仕舞ひました。やがて落ちた鳩を拾つて來た人はその冷たくなつた鳩を其處へ放り出すと銃を片手に、さも誇らしげにあたりを見廻しながら口笛を吹くのでした。

斯うして間もなく五六羽の鳩は同じ樣に冷たくなつてその人の足許に轉がりました。

「もう居ないのかしら」

さう云つてゐる處へ又何も知らない鳩が今度は二羽、きつと身內のものでせう、仲よく手をつないで歸つて來ました。

「あゝ、くたびれた〳〵」

二羽の鳩は恐ろしい死の手が身邊に迫つてゐるのを知らず、さう云つて軒にとまりました

ニドメノ 大チャンノタンケン〈124〉

ハルミチ作　ジラウ書

ヤガテ オソロシイ シマノヨルハ シヅカニ アケハナレマシタ。オヂサンノ コヤハ キユウニ カゾクガ フエテ タイヘン ニギヤカニナリマシタ。ダラスハ キヅノ イタイノモ ワスレテ クダモノヲ トツテキタリ ミヅヲ ハコンダリシテ マメマメシク ハタラキマシタ。ソノヒハ ソラガ アヤシククモツテヰマシタ。オヂサンハ シキリニ ソトニデテ「カミナリガナルトイイガナア」ト ソラバカリ ナガメテヰマス。

學校と家庭 教育の本當の姿

熊岳城小學校訓導 柴田亮一

優賞の榮譽は我校に！

各學校がさうした期待をかけてゐる全滿小學校對抗の陸上競技は秋陽うらゝかな奉天のグラウンドで花々しく開かれてゐた。必勝を期するこうした奮戰を想像しながら快報を待つて居る私たちは氣が氣でなかつた。

「どうです、何か知らせがありましたか」

「いゝえ今頃まで何の知らせもない所を見ると駄目だつたのでせう。しかし下手な負け方はせぬ筈ですが……」

私はこんな會話を町の人々と風呂の中で交しながら、社宅の前まで來た時、自轉車に乘つた支那人の郵便配達が家の前に佇んで居るではないか。私は思はずハッとした。

「五時過に郵便を自轉車で配達して來る筈はない、電報かも知れぬ優勝したのじやないかしら……」

「ニーヤ電報？」

「電報！」

「やつぱり電報だ、若や優勝？」胸がドキドキする。引つたくるやうにして受取つてみると部厚な電報である、一枚じやないらしい。押し開く。

「ユウショウ……」

「優勝だ、優勝だ」

私はそのまゝ家の中にかけこんだ上り口の六疊の部屋でもう一度電報を見る、

「ユウショウ……」

優勝だ、ほんたうに優勝したのだ

その中私はやつと氣がついた。先づ同僚の宮本君に知らさねばならぬ。選手の父兄、町の方々にも知らさねばならぬ。さう思ひ直してやつと文意を判ずることが出來た。

併し妙に心がわく〳〵して其の後が讀めない。何度繰返しても始めのユウショウの五字だけで讀み切れない。黑い字が點々と眼に映るだけである。

「優勝、しかも四十一點といふ、大點校よりも十七點も飛躍した優勝振りで明日の十二時半に歸校する」

それから家を飛出して宮本君の家に走つた。郵信紙を振り〳〵道で逢ふ人毎に

「優勝しました。うちの學校が」

と叫んで走つた。

宮本君は丁度夕飯の最中であつた。

「オイ、優勝々々」外からどなり込んだ。

「本當かい……」

と大きく叫んで食ひさしの茶碗を投げ出した。

「ウ、、、ンやつたな……」

宮本君は何も言はないで電報を握つたまゝにらんでゐる。感極まつて何も云へないのである。

「おい通知をださう」

二人は外に飛び出した。二人は優勝した、優勝したと叫びながら町を駆けて行く、出あふ人毎に呼びかける。

二人はそれから電話をかけたり通知を出したりして十時過ぎに夕食のテーブルに向つたが、何だか腹が一杯で何も食ひたくない。

しかしそれにつけても忘られないのは、その日の父兄の方々の心からの歡迎である。お目出度く〳〵と心から喜んで下さることは勿論、

それ國旗を作りませう、御輿をかついで迎へに出ませう（丁度祭禮）爆竹をやりませう。花輪を贈つたらよい。途中まで出迎へに行きませう。……等の心盡しに感謝せずには居られない。

優勝旗を中心として學校に寄せていただいた父兄の方々の熱誠こめた喜び程力强く意義の深いものはなかつた。

あのユニホームで優勝旗を先頭に雄々しく選手の一行が汽車から降りてきた時、全町擧つて出迎へて居た。熊岳城の人といふ人は感激の極泣いてゐた。

私は此處に教育の本當の姿を見た。父兄と教師と兒童とが一つの心で固く握りあつたこの緊縮こそ眞の教育の姿である。こんな意氣込みで一つに力が集つたならどんなことでも出來るだらうと思つた

宿舍

大廣場小學校尋二 柴田正一

大通の町には
宿舍がおほい
赤いレンガの
宿舍やら
クリーム色やら
水色や
ねずみ色やら
いろ〳〵の
西洋かんの
宿舍です
ふとい四かくい
えんとつが
どのお家にも
ついてます
僕のせいほどの
青い木の
かきねがたいてい
できてます

兒童の作品 こうへいちやん

松林小學校二年 森本阿久利

うちのこうへいちやんはかはいゝです、いつでもいつでも、かはいゝこえでものをいひます。私はこうへいちやんがだいすきです。私がかくからうからかへつたらニコニコわらひます

國際ジャンボリー寫眞だより（その四）

大連少年團主事 阿左見生

人氣の集る日本のテント

場所のよかつた關係もありますが、日本人の食事は餘程珍しく感じたと見えて何時も澤山押寄せて大困りをしました。何でも食卓を始め種々の置物などに竹細工が多かつた事と、時々箸をつかつて見せたので一層珍しく思ひ、態々腰を下して茶をのんで行くと云ふ人々もありました

教科書全般に亘り根本的大改正 目下準備中

教科書の內容改善に關しては從來教科書調査會或は國語調査會に於て愼重審議の上毎年修正を加へてゐるが、近く教科書全般に亘り根本的大改正をなすことに決定した然し從來の教科書修正の方針は課目全體を通じて一學年一課目修正主義を採用して居り本年修正準備をなしてゐる主なる課目及學年は

課目	學年
國語讀本	高等三年
修身	同
算術	同
地理	尋常六年
歷史	高等三年
理科	尋常五年

であつて、今直ちに全課目の大改正をなすことは從來の方針と新方針と混同矛盾を生ずるので、從來の方針で全課目の修正終了をまつて始めて精神教育の擴充國民思想の啓導を期する新方針の下に昭和七年度全課目に亘り一齊に大修正を行ふことになり目下その準備中である

本島臺灣間を陸軍機無事に翔破
二機相前後して
昨朝太刀洗を出發午後屏東に到着

【佐世保廿一日發電】佐世保鎭守府着電に依れば本日午前六時太刀洗飛行場出發屏東に向つた陸軍機二機は、午後三時半無事屏東に到着せりと

【立川二十一日發電】所澤航空隊の所澤臺灣屏東間大飛行に參加した加藤機は午後二時四十分花澤機は二時五十分無事第二コース太刀洗屏東間を翔破して屏東飛行場に到着したと所澤航空隊に報告があつた

觀菊御會へ參列の光榮に
村井大連商議會頭が
滿洲の帶勳無資格者を代表

新宿御苑に於ける觀菊御會は十一月十二三日ごろ執り行はせらるゝと洩れ承るが、滿洲よりも例年の如く有位帶勳の有資格者の上京を見る筈である、しかるに傳へられるところによると本年は滿洲より帶勳者中拜觀の資格なきものゝうちより一名のみ特に拜觀を許さるゝ事となり種々人選の結果、村井商工會議所會頭がこの名譽を擔ふことゝなり同氏は來る廿四、五日ごろ朝鮮經由上京榮ある觀菊會に參列する事となつた、右につき當の村井啓太郎氏は語る

とにかく名譽な事です、滿洲から私一人の樣です、私は勳六等を頂いてゐるんですから本當は拜觀の資格はないのですが、資格のない方々中からまあ選ばれた形です、朝鮮の方に所用がありますから二十四、五日頃こちらを出發しようと思つてゐます

コスト機 上海に向ふ

【奉天特電二十一日發】奉天に滯在中であつた佛機コスト號は、二十一日午前九時奉天を出發し上海に向つた

虎の面目躍如
病床に苦闘するクレマンソー氏

【パリー二十一日發電】昨夜急に心臟發作を起したクレマンソー氏はロープリー博士の駈付け方がもう少し遲かつたら命を落したかも知れぬ程であつたが、博士の手當を受けてから氏は博士に「まだ〳〵今度もやられはせぬよ」と低聲で平素の面目を發揮し、終ひには無理に起ると言出して昔軍隊で使つた鼠色手袋をはめケーピと云ふ軍帽を冠り呼吸に苦み乍らも椅子に掛けて虎（氏の綽名）の最後の苦闘を續けてゐる

言葉のあやが誤解のもと
優勝カップ問題で
岡部平太氏語る

【奉天特電二十一日發】日獨支陸上競技は既報の如く二十日を以て無事終了したが、同競技において人見孃に授與さるべき林總領事の優勝カップが高目孃に授與されたのは岡部監督の獨斷で、無論人見孃はこれを

辭退しては ゐないといふので係員の聲明不行屆きから飛んだ不祥事が突發し、スポーツ界は勿論各方面を騷がしてゐるが、之につき岡部氏は左の如く語つた

人見孃の來奉は聞いてゐたが正式の申込は受けなかつたので、もし競技に參加するやうなことがあれば參加の出來るやうに支那側委員と協定の上でエキセプト人見としておき、且つ今回の女子競技は最初から內地選手を入れないことにしておいたのである、故に賞品授與にあたつて勿論人見孃を除くことにしてあつたのであるが、賞品授與にあたり人見孃の

名譽を尊重 して「人見さんの御辭退により」と言葉を良く言ひ過ぎたため一般の誤解を受けたものと思はれる

◇…見事な發育ぶり　昨日の赤ン坊審査會

◇…胡藤の下葉が散初めて鳥が色づく頃となると大連では渡り鳥の眞盛りである、神は空飛ぶ小鳥にも生きんがためのいみじくも尊い本能的習性を與へたまふ、シベリア、北滿、南滿と冬季不可抗の寒風が北から北からと漸次暴威を逞しうして地にも空にも胃腑を滿たすべき餌がなくなると寒さと饑とに追はれるいろ〳〵な小鳥共は群をなして南下し、遼東半島――殊に旅順、大連邊の一角をそれ〳〵最後の羽休め場所として……山東苦力が長途の旅行するやうに……降りたち長い苦い空中旅行の翅休める暇もなく、また朝まだきよりねぐらを飛出して渤海の

◇…**波路** 遙かに南をさして海を渡る、その可憐な旅行者の朝戸出に、霞網を張つて待つ小鳥とりがナンと大連に數を增したことか、十數年前には今の石本老市長その他三、四名ぐらゐに過ぎず、それも釣魚、銃獵などゝ等しく趣味なる趣味に過ぎなかつたのが、この頃では毎年讚家屯附近一帶の山の峰つゞき、松山臺、中央公園、櫻花臺、南山、寺兒溝等にかけ卅餘名、多い時には四五十名も未明の四時頃から出かけて網を張る、然し獲物は何れも小鳥屋、市場等に卸したり小賣りしたりで商賣にする本職が多い、渡鳥の種類は頗る多いが右の人々が狙ふ獲物は大抵はツグミである

◇…**時期** は九月の末頃から十一月の末頃まで、十月廿四日頃から十一月三日頃までが例年一番多く渡る、この時期には一と朝に一人で少くも百羽位、多きは四五百羽の獲物を各自が毎朝せしめる、値段は捕獲の數量に反比例するが昨今では卸値一羽六、七錢で小賣値十錢內外といふところ、ツグミ捕は網の張り方の巧拙よりは場所の適否よりは、寧ろ全く囮の良し惡しである、從つて良い囮は一羽百圓、二百圓など一寸想像も及ばぬ高價を稱へられるが、霞網黨は各自

◇…**自慢** の囮を持つてゐて値段の如何によらず容易に之を手放さうとはせぬ、良い囮が遙か遠くの大空を渡る同族の大群の聲を人間より早く敏感に聞きつけてまだ明けやらぬ東方の空に向つての ども裂けよと高音を張つて呼び續ける聲は可憐と云ふには餘りに悲壯である、その憐れな囚はれの同族の高音を聞きつけて呼び寄せられた渡り鳥の大群が急轉直下網の東襲の空から一齊に舞ひ下る羽音の凄じさに、弱い囮は威壓されて鳴く音をやめてしまひ、折角呼寄せた大群を網の外に逸するさうである

大連で有名な霞網黨は石本老市長戸田寛治郎氏等を初めとし芝崎、泉の諸氏その他いづれ劣らぬ熱心家多くそれ〴〵自慢の囮と獵場を持つてゐる、この

◇…**獵場** の繩張りは却々やかましく、別に許可を受けてゐる譯でもないが、大業に云ふと歷史的先取特權を固く持して動かない、春日町の首藤俊雄君の如きはツグミ以外の小鳥專門として十年一日の如く射的場上方の峰を繩張りに網を張り、昨今毎日八反の網で目白、頬白、ヒワ、かしらなど種々な小鳥を二、三百羽づゝ捕獲してゐるさうである

怖るべき大陰謀
女も交りて

【廣島二十一日發電】縣特高課及西警察署以下縣下各警察署活動の結果檢擧された廣島縣稻荷町須磨秀男（二三）左官町末本玄練（二五）等一味十六名の取調は二十一日終了同日地方裁判所檢事局に送られたが右は極端なる主義を社會科學研究の名の下に宣傳し恐るべき大陰謀を計畫してゐたもので、中には十八九歲より二十二三歲の妙齡の女數名あり、罪名は治安警察法出版法郵便法違反である

學校軍事教練査閲始まる
廿一日工大を皮切に

本年度の學校軍事訓練の査閲は廿一日關東軍より參謀長三宅少將、關東廳より藤田學務課長臨席の上工大を皮切りに開始されたが、今廿二日は高木中佐臨席にて鞍山中學、廿三日三宅少將臨席にて滿洲醫大と夫々施行の筈で其他の査閲日割並に査閲官は左の通り

△廿四日滿洲教育專門學校三宅少將、長春商業學校三浦中佐△廿六日旅順一中高野中佐、工業專門學校板垣大佐△廿八日大連一中高野中佐△廿九日大連二中同上△十一月一日奉天中學板垣大佐△二日撫順中學同上、青島中學高野中佐、安東中學山口中佐△六日大連商業板垣大佐

青年訓練所の査閲日割

關東軍司令部では左記日割を以て本年度青年訓練所の査閲を行ふことゝなつた

△廿五日長春平川少佐△廿七日沙河口同△廿八日旅順同△卅日育成同△卅一日常盤同△一日大廣場森本少佐、△二日遼陽遠藤少佐△五日鞍山同△七日撫順內田少佐△八日奉天同

秋野孝道師
總持寺後任貫主

【東京二十一日發電】曹洞宗本山總持寺貫主杉本師の遷化に伴ひ後任貫主選擧は十一月二十日に行はるゝが、昨二十日夜同寺顧問會は杉本前貫主の遺書に依り秋野孝道師を滿場一致で推戴する事に決定した

佐藤代議士は罰金三百圓
金澤市議疑獄

【名古屋二十一日發電】石川縣選出代議士佐藤實氏外二名に關する能登產業銀行を金澤市金庫たらしめ樣と金澤市會議員に贈賄したる瀆職疑獄事件は、二十一日名古屋控訴院にて判決が行はれ佐藤代議士は罰金三百圓に處せられた

慶大軍勝つ
五A對零で　對明大一回戰

【東京二十一日發電】慶明野球第一回戰は二十一日午後二時半から神宮球場に於て淺沼、池田兩審判の下に明大先攻にて開戰、左の如く五A對〇にて慶應軍の勝利に歸した

バッテリー
明大　鬼嶋、井ノ川
慶大　宮武、川瀨

スコアー

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慶應	1	0	0	0	0	1	0	3	A	5A

食糧問題に光明を與ふ歐洲の大豆研究
◇―滿鐵臨時經濟調査所でも資料につき調査を

食糧問題でやかましい歐洲に於て最近代用食として大豆が大いに注目さるゝに至つたが、ドイツ等では特に科學的に研究され大戰當時砂糖大根、馬鈴薯の研究が食糧窮乏のドイツを非常に助くるところがあつた如く、今後大豆の研究は歐洲現下窮迫せる食糧問題に一光明を與ふるところあらんとまでいはれてゐる、右に就いて埠頭ビルにある滿鐵臨時經濟調査所高森氏は語る

目下歐洲 で問題となつてゐるのは大豆を粉末としたソーヨルクといふもので、ウイーン大學教授ベチエラー氏の創製により既にロンドンには工場があり製造されてゐる、このソーヨルクは言はゞキナ粉で大豆の蛋白質は動物質蛋白質と營養價値に於て殆んど同樣である事が判明し、且また非常に安價であるので佛國軍需局では戰時用食糧として肉粉の代りに之を用ひ英國海軍々需局にてもソーヨルクを入れてプデイング固麵麭を製造してゐる

保存に便 で暑熱に當つても腐敗の憂が無く戰時食物としては恰好な物であるが、當所にもその資料及び見本を送つて來たので見本は目下中央試驗所に託し分析中でコチラでは資料に就いて調査して居る、併し從來豆類を餘り食べ無かつた歐米でこそ珍しく論ぜられるが、古來豆類を主要な副食物としてとつてゐる我國ではソーヨルクといへ要するにキナ粉であるから寧ろこちらの方が先鞭をつけてゐるわけである、事實從來肉食を摂らぬ

日本人も 豆から充分蛋白質をとつてゐたのである、その他家畜の飼料として豆粕と同巧異曲のソイミン等製造されてゐるが、未だこれ等が將來大豆の需要に革命的な變化を齎すには至らない

不具の元船乘り
大連警察署へ泣き込む

原籍石川縣金澤市古道町一〇二前平定雄（三〇）は郷里に親兄弟もなく家もなく又使つて呉れる親戚もないので北海道、カムチヤツカと內地間の就航貨物船吉田丸に貨物人夫として約二ケ年ばかり乘組、約一ケ月前當大連へ來航したが、從來の不具者とて充分に人夫としての働きも出來ないところから給料の支給も受けない狀態とて何か糊口を凌ぐ職にありつきたいと下船し、爾來惠比須町智光院に止宿し

就職口 を物色してゐたが不具者とて使つて呉れる人もない上に所持金も餘す處なくなつたのでこの上は東京深川に女髮用の貴金屬細工を營んでゐる知人成田林治を頼つて上京するの外ないと二十一日大連署へ旅費の心配かたを泣き込んだので、大連署でも同情し救濟金の中から金二十圓の旅費を支給し二十二日出帆の定期船で歸還せしめる事にした

星ケ浦に辻强盜
支那人追剝がる

二十一日午後八時半頃星ケ浦臨海浴場入口門前附近を星ケ浦公園內居住の支那人路何清（二〇）通行中、三人組の支那人辻强盜（內一名は支那刀所持）現はれ路を脅迫して同人の所持金小洋五十三圓二十八錢を强奪し附近山中に逃走した、屆出により沙河口署では直に非常線を張り犯人搜査に着手したが本稿締切りまでには捕縛に至らなかつた

全滿卓球大會
來る廿七日擧行

體育堂主催の全滿アマチユアーピンポン大會はいよ〳〵廿七日午前八時三十分より市內敷島町基督教青年會館にて擧行するに決定したが、參加申込期日は廿六日迄である、なほ參加規定は複雜だから申込み希望者は一應體育堂に問合はされたいと

尺八と舞踊の演奏會

大連觀風會では滿鐵音樂會講師草崎主山總指揮の下に來る二十五日午後六時から滿鐵協和會館で都山流尺八大演奏會を開催するが當日は舞踊もある筈、尺八と舞踊と一緒にやるのは大連で始めての試みである、なほプログラムは左の通りである

一、若葉、二、三の景色、三、秋の調、四、磯千鳥、五、谷間の水車、六、御山獅子、七、楓の花、八、鶴の巣籠、九、秋の曲、十、六段の調、十一（イ）草のはつぱ、（ロ）珠と鈴、十二、改訂越後獅子、十三、比良、十四、龍口入道、番外大西名曲「アスネーの悲歌」

けふのラヂオ

昭和四年十月廿二日（火曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、支那語講座「第三十課實用支那語會話」滿鐵學務課秩父固太郎
三、新內「朗顏日記」（彈語り）田中しげ
四、筑前琵琶合奏「國の華」琴法祭山大賀旭栄本紘法悔山兒玉旭靜
五、支那劇「廣華山」連東倶樂部部員
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

故副島市議の葬儀

前市會議員故副島善文氏の葬儀は廿一日午後四時より常安寺で執行されたが近來にない盛儀であつた

獨語講習會

市內敷島町基督教青年會館では二十日より當地ドイツ領事館譯生萩栄氏を聘しドイツ語の講習會を開始してゐるが毎週二回にて六ケ月卒業だと

野間助教授講演

滿鐵社會課および農務課の主催で廿三日午後四時廿分から滿鐵第二集會室に於て東京帝大助教授野間海造氏の「米穀政策に就いて」と題する講演がある筈で一般の來聽を歡迎すると

瓦斯移動實演會

南滿瓦斯會社では最に華人適用瓦斯移動實演會を千代田町に於て開催、瓦斯使用の方法並にこれが利便に就いて宣傳したところ、六日の期間に約一萬六千餘人の參觀者あり、多數の申込みがあつて頗る好成績を擧げたので更に沙河口方面に於て開催すべく準備中である

日滿聯絡上り機

二十一日の旅客機は午前八時周水子發十二時京城へ着陸した、乘客は平壤まで永井辰之助氏及同夫人きく子二人であつた

日本空輸大連支所營業主任着任

日本航空輸送株式會社大連支所營業所主任は從來麥田支社長が兼務中の處今回辻五郎氏が同營業所主任として就任した

彌生高女生
歸連の途に

【天津二十一日發電】茶谷教諭引率の大連彌生高女旅行團一行十五名は六日間に亘る天津、北平の見學を終へ一同元氣旺盛にて今朝六時出帆の濟通丸に乘船歸連の途についた二十二日正午大連着の豫定である

長男幸作儀豫而病氣の處養生不相叶二十一日午後一時三十五分死去仕候間御通知申上候
追而葬儀は二十二日午後三時三十分自宅出棺天神町常安寺に於て執行仕候
昭和四年十月二十二日
父　小喜多鐵雄
親戚一同
友人一同

愛欲の窓（135）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

謎（七）

黒田と源公の生活のなかに入つて來たことは、美知子に取つては確にいゝことだつた。彼女は、そこにはじめて生活を見たやうな氣がしてきた。生活の意義を知つたやうに思つた。彼等は、一介の勞働者でしかなかつた。だから彼等は貧乏であつた。にもかゝはらず彼等の生活は明るかつた。張り切つてゐた。仲間が、同志が、始終やつて來た。誰も彼も、元氣であつた。彼等は必ずしも健康さうではなかつたが、それは彼等が病弱だからではない。彼等の生活が、活字をいぢりインクに塗れ、輪轉機に取つ着いてゐる彼等の生活が彼等の顏色を惡くさせてゐるのである。

――生活は鬪ひだ！
――誰のための？
――プロレタリアの解放のための！
――だから我々は戰場の勇士でなければならぬ！
――然り！戰線へ！

まだ新しい襖や壁に、そんなスローガンが書きなぐつてあつた。

美知子には、しかし彼等が折々集つて論じ合つてゐることはわからない。みんな菜葉服を着た勞働者でありながら、彼等の論じ合つてゐる命題はむづかしく、私立女學校中途退學者の美知子には難解だつた。それに黒田の書架にびつちりつまつてゐる書物の數の驚だしいことは、怠惰な大學生を赤面させるに足るであらう！

――みんな貧乏だわ！でもみんな元氣だわ！そしてみんな素晴しい勉强家だわ！

美知子は心から黒田をはじめ彼等の仲間の生活に感じ入つた。何か知らそこには力强さが感じられるではないか？何か知らそこには未來の希望の育まれつゝあることが感じられるではないか？

小森製版の爭議は、爭議の母體たる日本印刷工聯盟の内部に分裂騷ぎが生じたり、社長小森英太があくまで頑迷な態度で突ッ張り通したりしたゝめに、職工側の慘敗に歸したけれども、どうやら爭議の犧牲者だけは出さない程度に喰ひ止めたので、彼等は再擧を謀るために、機の熟するを待つてゐるらしかつた。美知子には、一緒に住んでゐても、深い事情はわからなかつたが、しかし彼女は、別な意味で、小森英輔を憎んでゐるのだつた。小森父子が關係してゐる會社では、かうして幾千幾萬の人々が苦められてゐるのだ。今に見るがいゝ！彼女は私憤を公憤に移してゆくやうであつた。この氣持の變化は、彼女に取つては明らかに一種の救ひであつた。彼女はおぼろげながら生きてゆく上の方向を知つたやうに思つた。彼女は二度と再び自殺などを思ふまい。

その日も、彼女は黒田や源公と一緒に朝早く巣鴨の住居を出て、裁判所へ出掛けて行つたのである。もとより彼女は久彦の冤罪を信じてゐるので、その日の公判には明るい希望を持つてゐた。あの人が恥べき殺人の罪を犯す？斷じて間違ひだわ！

彼女の祈りどほり、久彦は法廷で神崎の供述を飜へし犯行を否認したので、傍聽席の片隅で、彼女はほつと胸を撫おろしたが、しかし氣にかゝるのは次回の公判であつた。

――參考人としてあの小森英輔が出廷する！あの卑屈な男が、草野さんのために果して有利な證言をするだらうか？

美知子にはそれがひどく不安に感じられてならなかつた。

裁判所から戻つて來ると、その夜、美知子は貧しくともうまい夕飯の膳を黒田や源公と圍みながら公判の模樣を報告した。

「……へーえ、小森の伜が參考人として召喚されるのか？」

と、黒田も飯を頰張りながら、太い眉をひそめてみせた。

「あん畜生、何をいふか知れやあしないぞ心配だな。然し大抵大丈夫だらう。是非この次の公判にも君は傍聽に行くんだね」

「えゝ、行つてみますわ！だつてわたし心配なんですもの……」

美知子も眉をひそめながらうなづいた。

滿日文藝

雜吟　月南整理

「顏役」　大連　溪驛
顏役の名を借りに來る顏ひ下げ
顏役は足に餘つた下駄をはき
顏役の唯だ一言で堯がつき
　萬家嶺　一柳坊
町内の祭り顏役四五度寄り
　大連　若葉冠
顏役が揃ふと上座口を切り
平服に替へて爭議を考へる
顏役でとき〴〵遲い飯にする
　大連　農夫
双方を滿足させる鮮かさ
嚴式な髭が威嚴をそへてゐる
　旅順　葩水
顏役が見えて一座があらたまり
威してはすかし顏役手を打たせ
賴まれた顏役どうせ損する氣
　旅順　桂花庵
顏役の顏へあつまる靜かな目
默々として顏役よくさばき
顏役の席をあけてる厚布團

「看板」　大連　宵海
看板が蟬に見えてるビルデング
看板屋小供のほめる繪が出來る
看板へ錠前がいる支那の町
　大連　若葉冠
おでんやへ看板娘一人居り
看板を塗り替へてゐる讓り店
美しく汚れて通す看板屋
看板へ夕陽が落ちる向側
看板で包まれてゐる二階借り
　海龍縣　杢堂
時代相新看板へ足が寄り
店仕舞へ金看板を持てあまし
看板にざれて娘は年をとり
新開地看板重たさうに見え
　朝鮮　爲樣
看板屋その看板のみそぼらし
思想團つまり看板だけのこと
　大連　水母
盛裝を看板にする美容院
三代目大看板の根がゆるみ
　大連　溪驛
貞操を看板にして流行妓
看板へ子守の一人よく話し
トランプの看板端町から覗き
　三十里堡　吾川
落選者立看板は立て放し
　大連　素寢坊
理髮屋の鏡に映る左文字
看板を流し眼に見る同業者
看板へ夜逃げの愚痴をあびせかけ
　大連　すみ子
秋風に色あせてゐる大看板
　大連　立ん坊
文明から遲れて見える老茶店
　鞍山　入雲
明盲人質屋の看板だけは讀め
　奉天　白雲
開業の看板當分二割引
看板と別な噂の審るそば屋
看板が路次口にある紺暖簾
　撫順　靖郎
文なしは看板だけを見て歸り

夕刊 滿洲日報
十月廿一日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

鐵相と懇談の結果 正式撤回に同意

【東京特電廿一日發】井上藏相は午前十一時江木鐵相と懇談の結果、正式に減俸案の撤回に同意した

金解禁を斷行し 來議會は解散に決す

【東京特電至急報二十一日發】政府は昨日來愼重協議の結果、減俸問題に關しては政府は多くの先例に省みて引責等のことには觸れず單に財政缺陷の補ひは別に考慮することにするとの理由を以て、あつさり減俸案を撤回することに決定した、而して政府はその後反對黨の攻撃には耳を藉さず一氣に豫算を編成、一路金解禁斷行の準備を進め來議會に對する政府の陣容を固めて解散するとに決定

撤回と政府部內の意見 全く政策の破產ではないから 責任問題は起らぬ

【東京廿一日發電】減俸案撤回によつて起る政治的責任問題等につき政府部內では左の如き意見が多い

一、政府は來年度豫算編成上また金解禁のため整理緊縮政策遂行上、減俸案を斷行したのであるが興論がこれを不可とする以上、政府はこれを無視するを得ぬ、政府は結果に對する觀測を過つた責任はあるも、それは政策そのものの破產ではなく、その遂行の手段を過つたに過ぎないから他にとるべき途を選んで、その政策を遂行せばよい、この政策は現政府を措いて他に遂行するものはない

一、閣議の決定は閣僚間の內部的問題で撤回は幾多の前例を有す例へば田中內閣は裁判所改正法を樞府に御諮詢後、撤回した、しかも現政府は未だ公式手續をとらず興論に傾聽して撤回するので輔弼の責任を顧みぬとはいはれぬ

一、一旦聲明したことを飜したるも興論を尊重する政府の卒直なる態度は國民これを諒とせん

一、義務教育費增額と減俸とは關係なきも減俸撤回の結果、豫算に多少の影響あるも義務教育費には充分の考慮を注ぐ積りである

減俸案は撤回しても 責任問題は起らぬ 窮屈な財政が一層窮屈になる ◇—井上藏相かたる

【東京廿一日發電】官吏減俸案撤回問題は各閣僚の歸京を待つて二十三日の定例閣議に濱口總理より提示、各閣僚の同意を求める段取となる模樣で、これに對して井上藏相が容易に贊意を表明するであらうか、藏相の今日までの本問題に關する言明よりするも、官吏の減俸案が

金解禁 を目標として鋭意緊縮豫算編成の上にやむを得ざるものとして世間の反對論を豫期して立案せるものであるだけに井上藏相は一應は强硬なる反對意見を述べたる後、計畫遂行を不能ならしむる虞ある政治的事情を豫想して同意するに至るであらうと見られてゐる、右に關し井上藏相は、この問題をどう考へてゐるか、二十日午後六時、麻布三河臺の邸にて左の如く語る

濱口總理がどんな考へを持つてゐるか知らぬが、若し撤回を決意するならその前に先づ各閣僚に相談されるのが當然で、未だ

撤回 すると決めてしまつた譯でもあるまい、何事に限らず一旦こうと決めたことは餘程重大なることがない限り、これを止めるといふことを考へるだけでも弱いのだ、我輩は減俸問題に對し、こんなにまで世間の反對があり、こんな成行にならうとは豫想しなかつた、何も殊さら事情はない全く始めから技術や方法の點で考へが足りなかつたのだ、併し今だつて我輩は減俸そのものを決して惡いとは思つて居らぬ、世間も決して

反對論者 ばかりではない

毎日驚くほど贊成や激勵の手紙が未知の人から來てゐるくらゐだ、撤回反對意見は恐らく他の閣僚よりも我輩が一番强硬だらう、それは豫算を弄つて見たもののみが持つ意見なのだ、明年度豫算なんか三度やり直して見て、その結果どうしてもあそこ(減俸)まで行かなければならなかつた、ずつと以前に減俸問題もあつたが、あの當時は幾億圓といふ

剩餘金 があつて年々自然增收もあり、財政には充分の餘裕があつたから今日とは全く事情が異つてゐる、若し減俸を止めれば、たゞでさへ窮屈な財政が一層窮屈となるだけで明年度豫算編成に支障を來すやうなことは絕對にない、內閣の生命を賭してまで是非とも實行しなければならぬといふ程の問題じやないよ、如何に正しいことでも成し遂げることの出來なくなるような事情があれば、これを無視する譯には行かないよ、この問題がどう轉んでも責任問題の起りやうはないじやないか

首相と懇談 法相、鐵相が

【東京廿一日發電】渡邊法相は二十一日午前九時、江木鐵相は同九時半官邸に濱口總理を訪問、減俸案撤回について懇談した、次で松[illegible]男も首相を訪問して貴族院

老虎クレマンソー翁 危篤狀態に陷る

【パリー廿一日發電】フランス政界の元勳クレマンソー氏は昨夜九時、激しき心臟病の發作に襲はれ五回に亘り酸素注射および酸素吸入を受けたが恢復の模樣なく午前一時極めて危篤狀態に陷つた

側の情勢につき報告するところあつた

大事な時だ

【東京卅一日發電】減俸反對運動の火蓋を切つて總辭職の悲壯なる覺悟までしてゐた檢事連は減俸案撤回と聞いて何れも快哉を叫び思ひ〳〵に祝杯を擧げたが代表者の一人なる松坂地方次席檢事は語る

結構なことだ、われ〳〵の正しき希望が完全に通つた譯で實に嬉しい今日からは心を新たにして働く何しろ今は一番、忙しい大きな事件を手に掛けてゐる大事なときだから

撤回の結果 政治上の觀測諸相

【東京特電二十一日發】政府が減俸案を撤回する場合は政府の責任問題その他、種々なる結果が豫想される、即ち

一、責任ある內閣が、その重要政策遂行のためにとるべき途なく止むを得ざるに出でたる手段なりと稱し多數者の生活に直接犧牲を要求するが如く閣議で決定し堂々、聲明した後、反對の聲に脅かされ、これを撤回するが如きは政策本位を看板とし責任政治を高唱せる現內閣として、その政治的責任を免れぬを得ない。かゝる豹變が頻々と行はれるに至らば遂ひに責任政治の根本は破壞されるに至るであらう

一、閣議の決定は政府最終の意思決定であり、その發表は責任內閣の國民に對する重大なる公表である。然るに一旦、反對に遭つて忽ち屈して撤回するは無定見極まる、又かくの如き重大なる社會問題を惹起すべきことを豫見するの明を缺き陛下の大權に屬する官吏の俸給につき減額を天下に言明しながら正式手續をとらざる故を以て輕卒に撤回するは政治を弄び補弼の重任を全うせざるものなり

一、政府は歲入の減退を補ひ消費節約を徹底せしむるため止むを得ず減俸を斷行すると稱しながら、これを撤回するは政府の財政計畫および整理緊縮政策、金解禁實行上の缺陷および無爲無能を暴露するものである

一、政府の威信を傷け農村における不人氣を招來し政友會に好個の武器を與へるものである

一、義務教育費國庫負擔增額の財源捻出策として行はんとした減俸案の撤回により負擔增額案の實現至難となり總選擧對策上與黨を不利ならしめる等の結果である

が豫想されるが、政府が、これらの非難に對し如何なる態度をとるかは頗る注目されるところである

手段が惡い、

【東京廿一日發電】公正會黑田長和男語る=減俸案はその趣旨は認め得ても全く過つた手段であると思ふから區々たる面目に捉はれず卒直に撤回することは政府として賢明であり國家のためにも結構なことゝ信ずる、現內閣の政策施設はまだ國民の興論を失つてゐないが減俸案は過ちに違ひないがこれを改めれば政府の責任論は有力になるとは信ぜられない、この點惡政を重ねた政府の失策と同一視する譯には行かぬ

俸給生活者の組合が

【東京廿一日發電】秋山豫審部長判事は語る=愉快だかくあるべきが當然だが過れるを知つてあつさり撤回した濱口氏は偉い、判事連も既に昨日肚を決して大部分のものは撤回されずんば辭職する積りでゐたのだ、この度の各方面の動きが刺戟となつて今後、俸給生活者の組合が生るゝとになるであらう

これからは大馬力で

【東京二十一日發電】鹽野檢事正談=とう〳〵撤回されたが、これで檢事も辭職せずに濟んだ、實は一兩日中に撤回になつて呉れゝばよいが二、三日と經過するうちには若い連中は痺れを切らして大變なことになりはせぬかと心配してゐた今日から陣容を立直して疑獄事件其他に大馬力をかける積りである

何の面目ありて 國民に見ゆる 藏相は當然辭職せよ ◇—政友會評

【東京廿一日發電】政府が官吏減俸案を撤回することに決定したとの報に接し政友會では政府の朝令暮改的態度に全く啞然たる態であるがこれに對する批評は大體左の如くである

閣議において全閣僚一致の意見により既に總理の說明書まで發表して天下に公約した官吏減俸案を今日、直ちに興論が反對するの故を以て、これを撤回せんとするは國政を弄ぶの甚だしきものである、而して內閣の威信はいづれにありやといひたい、閣議の決定事項は內閣全體の連帶責任である天下に公約せる政策を忽ち撤回して何の面目ありて政府は國民に見えんとするものであるか生產方面の活動をなさず、ただ節約緊縮を一枚看板とせる現內閣は減俸案撤回によりその節約緊縮政策も抛棄せるものと斷ずべく現內閣存立の意義は、ここに全く失はれたものである要するに政府の威信は全く失墜し減俸案撤回の結果は井上藏相は當然、辭職すべく引いては內閣瓦解の端を發するものである

猛省すべし 森政友幹事長談

【東京廿一日發電】我々も減俸案を速かに撤回するがよいと思ふ、ただ撤回により我々が痛感するは一、民政黨の政策遂行に當る決心が當てにならぬものたること、二、國民の中堅に脅威を與へまた勞働者階級に波及する影響を恐れしめ且つ國務の澁滯、購買力の低下により國民的萎微を惹起し、しかも內奏までして天下に聲明した政策を撤回するに政府は如何なる責任を取らんとするか

三、勞働團體の團結權すら否認してゐる政府はこの官吏の團結に對し事實上、降參したことになり政治上、重大なる禍根を貽すものである

要するに、減俸問題により國民は濱口內閣が實行力を有せず、また國民生活の實際を破壞せざることを知つたのである政友會としては靜かに事件の推移を監視する積りである政府はこの不祥な禍根を貽したことに對し猛省すべきである

藏相も釋然と 撤回に同意した ◇—江木鐵相談

【東京廿一日發電】江木鐵相は二十一日朝關西より急遽歸京して濱口首相と會見した後さらに午前十一時、井上藏相を官邸に訪ひ減俸案撤回問題につき懇談、同三十分辭去した、鐵相は語る

減俸案はいよ〳〵無條件で撤回するに決した乃ちこの種の案を他日再び提議するようなことはない、絕對的無條件撤回である、これに關聯して井上藏相の面目とか引責辭職とかのようなことも傳へるものがあるけれども、この點について總理ならびに自分からも腹藏なく藏相に打明け充分意見を交換した結果、藏相も至極釋然として撤回に同意した、また政府の責任論についてもこの問題はまだ立案の過程にあつたもので上奏の手續をとらざるは勿論、原案すら未定項であるから一切起る譯はない

撤回は賢明な處置 富田民政幹事長談

【東京廿一日發電】減俸案撤回に決せるについては與黨としては、これを是認し飽くまで政府を支持し時局に善處せしむべきである、これが政策問題なら兎もかくただ金解禁の準備行動の一部に過ぎないのであるから、これを撤回したからとて別に責任問題など起らぬと信ずる一旦、閣議で決めたものであつても重要な政策問題でもないし、この際興論に聽從して撤回せんとするに至つたことは興論を尊重する所以であり賢明なる處置であると思ふ

荻川放談（109） 自給自足

一家でも、一國でも、自給自足が出來ねば、世界に對し、世間に對し、立派なことは云へぬ、米國が近時の活躍も、國內豐富の資源を消化して餘りあるからで、然り自給自足は、一家、一國の獨立を保つべき最低の限度たり、それ以上に世間世界へ頭を出さうとするには、自給自足を越えての過剩がなければならぬ、併しどの家も、どの國も、皆自給自足とゆく譯でない、そうしたものに之を强ゆれば、反つてそこに破綻を生ずる、寧ろ足らぬを他に探り、內から生ずるによつて之を償ひ、償ふて尚餘りあらしむべきで、而してそれこれも亦自給自足と云ふを得ん。

◇

斯ふしたことから、關東州及び在滿邦人を觀る、果して其自給自足を全ふしあるか、遺憾ながら未だしである、曾て此處にも黃金時代が驅れたが、其の場合に邦人は自給自足の策を樹てなかつた、それで今日は多く人任せである、國よ、個人なり團體が、事毎に他力本願を發揮する醜さを、恰も之をして習ひ性たらしめた感がする、若し一國一家に自給自足を必要とするなら、目的を等しうする關東州及在滿邦人の一團に、どうしてそれが必要と云ひ得べき、時代は緊縮である、此機會に於て關東州及在滿邦人は、須らく自給自足に入るべし。

◇

此自給自足に入らんとせば、關東州及在滿邦人は、其一團に於て、國家を本位とする外貨抵制の外に、其範圍內だけの外貨抵制をもやるべし、之で生產を興して失業を防ぎ、これとともに消費節約を實行して、國家の財政緊縮に共鳴し、以て我經濟國難を打破するのである、斯くすれば國難を打破し得るのみか、自己の獨立をも購ひ得て、滿洲に活躍するの素地を作る譯となる然らば關東州及び在滿邦人の其範圍內に於ける外貨抵制とは何ぞや、必要以外に內地の物貨を欲しがらぬことなり、一片の贅身でさへ、內地ならではとの贅澤を取去ることなり。

◇

そうすると內地生產を阻まざるかと、云ふ勿れ、內地の生產は共喰第一主義に立つべきでない況んや微々たる關東州及び在滿邦人の需要をやで、而も此一團の自給自足こそは、國家富强の基をなすべきもの、一家の獨立あつて一國の獨立あり、關東州及在滿邦人の一團が經濟的に獨立せんか、國家經濟の上に裨益するところ、蓋し莫大なるならんや、若し夫之で支那人を肥やすとの憂ひあらんか、そこに交易の方法あり、內地、關東州及び在滿邦人によつての生產で其回收を圖るがよい、何でもよし、今少しく關東州及在滿邦人間に生產が興らねばならぬ。

樂觀は許さぬ 責任にはならぬが 藏相の輕率が問題 ◇—政治的に

【東京廿一日發電】減俸案撤回內定に對し事態重大化を憂慮して來た貴族院は大體好感を以て迎へ殊に反對の急先鋒と見られた公正會は政府の率直なる撤回に贊意を表する形勢に一轉して來たほどであるが政府の責任論については今、直ちに起らずとするも今回の失態によつて政府の威信傷き今後、重要政策の遂行上、種々支障を來すべく殊に藏相、今回の淺慮輕率は早晩、貴族院においても問題となるべく井上藏相を以て金解禁斷行の重責を良く全うし得るや疑惑を抱くものすらあり研究會、交友俱樂部方面の反政府系ではこの氣運に乘ぜば今日の貴族院の大勢は平穩に歸しても將來の對政府關係は相當多事なるものあるべく決して政府の樂觀を許さぬだらうと稱してゐる

貴院議員入津

【天津二十日發電】內田嘉吉氏を團長とする貴族院議員十二名の一行は十九日朝東站に到着し常盤ホテルに少憩、岡本總領事の案內で陸宗輿舊邸內の宣統帝を訪ね各國租界を視察し正午、官民有志の歡迎午餐を日本俱樂部に受け午後三時五十分發列車で北平に向つた

官地分割拂下 泰山街、王陽街方面の

大連民政署では泰山街、王陽街方面の官有地拂下希望者が非常に多いので愈々來月四日午前九時より午後四時まで（入札未了の場合は翌日も入札をなす）民政署において競爭入札に附し翌日午前九時開票することになつた

入札土地は王陽街三六三番地外十九筆、泰山街一一番地外三十五筆、總坪數二千四百五十九坪であるが何れも三十坪乃至七十坪の小分割地で入札方針は一人一筆主義をとるが特別の事情あるものに限り接壤地二筆の入札を許すと

豫算の查定は終つた 大問題は總裁着後 請負制度も總裁の考へ一ツ 大平滿鐵副總裁談

昭和五年度の經費豫算查定も本日午前を以て大體、一通りは終了して來る廿六日、着任を見る仙石總裁に供覽決裁を仰ぐだけになつた併し事業費も、經費豫算もこのまゝ決裁を得るか否かは總裁供覽後でないと何んともいへない

昭和製鋼所 問題は總裁着任の日までに餘日があれば委員會を招集するかも知れぬが同問題は總裁自身も大問題としてゐられるし、また社會的にも國家的にも大問題であるだけ委員會での研究結果を詳細に總裁へ見て貰つて總裁は更に上京後、各方面の人を加へた委員會に諮つて最後の決定を下されることにならう自分の今日の立場としては、これ以上同問題についてのお話は出來ない旅順市長および市會議長の訪問を受け製鋼所の旅順建設方も聽いたけれども關稅問題である關係上

建設地など は未だ何ら考へてゐない前總裁の請負制度これは山本君が最もよい方法としてやつたことで實際上よい成績を擧げたけれどこの制度は山本君も永續せしむる方針であつたか否かは知らないが一つの興奮劑としてはいゝ方法であらう併し今日ではその藥もきゝ過ぎてゐないかとも思はれる滿鐵は一つの大きなシステムだから鐵道なり礦山なりの一部に請負制度を採用してこの組織を破壞するようでは困るから自分としてはシステムを破壞せずやつて行きたいと思つてゐる、何れの會社にせよ

請負制度と いつた方法を講ずれば必らず幾らかの利益は現はれるが會社そのもののシステムを破壞されるのを虞れるからやらないだけの話だ、併し僕は同制度をやめるといふ譯でない總裁の着任後總裁が果してどうお考へになるかは知らない

中央市場の改善と 教育費の改善を 市會に提案すべく 委員會に諮問の模樣

大連市營中央市場の改善は既に市場規則改正案が成り着々準備が進んだので今週中、社會常置委員會を開き種々改善案を附議諮問する筈であるが委員會の意向によつては新に擴大した委員會を開きたるのち市會に提案することゝなるであらう、次に市教育の[illegible]

經費上の問題についても今週中に教育常置委員會を開く筈であるが提案事項中、彌生高女および商工學校に關するものは既報の通りで外に市が負擔する各小學校の物費（備品費及消耗品費等）は經費を除いて生徒一人當り年額約十圓の多額に上るが內地にては[illegible]程度に於いてさへ四圓を平均とし最多のところで七圓に滿たない狀況にあるので、これが改善案を諮問する模樣である

公私經濟緊縮 第二回總會

滿洲公私經濟緊縮委員會第二回總會は二十四日、大連市會議場で開會されることゝなつた

池田代議士 二十一日死去

【東京廿一日發電】秋田縣選出政友會代議士池田[illegible]氏は二十一日胃潰瘍で死去した

糞尿の搬出 香爐礁送りか

大連農會が大連市より購入してゐる糞尿は農會の西山會および香爐礁糞池渡しの契約であるが市では經費の關係上近距離の西山會糞池に專ら供給してゐる、然るに昨今糞尿需要閑散期に當るため西山會糞池では假糞池を造り目下急造中の第二の假糞池をも充たし日ならずして充滿する豫想で、かつ衛生上も面白からぬことがあるので市當局では經費を惜まず香爐礁糞池に輸送すべく目下、吉野民政署地方課長と杉山市衛生係主任との間に打合中である

はるびん丸乘客

二十三日入港のはるびん丸主なる乘客左の如し

難波議雄、山下汽船社員內田敬三、阪神築港會社員三好貞七、國際運輸會社員河野九郎、內外棉花會社員石川作太郎の諸氏

人事

▲最所文二氏（日本航空會社常務） 廿一日二十時半京城より來連

▲德留清一郎氏（同京城出張所長） 同上

▲三木遞信局貯金課長 二十日夜歸任

▲田中千吉氏（大連民政署長） 廿一日旅順任復

▲松尾屢氏（前大連商議囑託） 廿三日午前九時發列車で離連

大觀小觀

減俸案、とう〳〵幽靈のやうに姿を消すことになつた。

◇

しかし、金解禁はせねばならぬ無い袖で明年度の窮屈な豫算を編成せねばならぬとあつては、幽靈の正體を、何らかの形で現はすことであらう。

◇

國民としては、減俸案を引き込ましめた責任を負つて、節約緊縮の目的達成に努力せねばなるまい

◇

檢事の辭職云々などいさゝか世間を知らぬ不謹愼の言動と申すべきか。

◇

たゞ問題は、國民一般が緊縮一番、整理緊縮の國難匡救に邁進し猪突することが肝要である。

◇

輕率なりといふ政府の責任はあらんも、責任を問ふのみにては、問題の打開は覺束なし、そこに積極的の緊張がなくてはならぬ。

天氣豫報

廿一日 南西の風晴れ一時曇

日出 六、〇九	日沒 五、〇七	
滿潮 前 ―	後 〇、一五	
干潮 前 六、三〇	後 六、一〇	

ボンヤリ歩くな 大事な命が危ない

交通地獄時代大連に再現す タッタ二日間で六件

交通受難の時代は再來した、自動車、電車、馬車、人力車自轉車總に衝突する、十九日と二十日の二日間でもザッと六件、重傷、輕傷、破損、修理――血腥さい事件と破壞的な鉢合せは市民を極度の不安に陷らしめた

引倒されたら車輪の下敷 自轉車乘り重傷を負ふ

十九日午前十時ごろ大連監部通四十二番地先に於て旅順水師營西南街德盛運自動車公司かた運轉手王安邦(二七)の貨物自動車と山縣通り二一三德昌公司店員段利侯(二七)の乘る自轉車と衝突し、段は自轉車と共に倒れたところを更に車輪にかけられ左右膝關節その他數ヶ所に全治まで四十日を要する重傷を負はされ、そのうへ自轉車に約十圓の損害をうけた

驀進自動車 無燈自轉車を刎ね飛し 更に電柱と衝突す

同日午後五時四十分には春日町二二大連タクシー運轉手澤田甚一(二一)が若松町へ乘客を迎へに行く途中櫻花臺二十二番地先きに差し蒐つた時、荷馬車數臺が行列して同方面へ進行してゐるので規定以上の速力を出して之れを追ひ越した刹那、越後町二三硝子商天和盛店員張鎰公(二一)が無燈の自轉車を飛ばして疾走し來たのに激突し張を電車線路內に刎飛ばしたうへ約十米突先の電柱に衝突し張を一時人事不省に陷らしめ全治五日の擦過傷を與へたが、自動車も車體を破損し三十圓の損害を蒙つた

曳馬狂奔 電車と衝突

同日午後三時二十分ごろ一號系統電車が深水千城(二三)運轉の許に寺兒溝に向け進行の途明治町二番地先に差し蒐つた時、折柄撒水中の市役所撒水夫潘壽昌(二四)の撒水車曳馬が電車の警笛に驚いて狂奔し電車軌道內に飛び込んだ爲め相互衝突した

自動車と人力 車側面衝突

同日午後十一時三十分には愛宕町十番地先路上に於て春日町四五平和タクシー運轉手山崎遂三(二七)の自動車と八幡町車夫合宿所內車夫張培勵(二一)の人力車と側面衝突し人力車は顛覆されたうへ車の心棒を折り曲げられ一圓八十錢の損害を受けた

滿電バス トラクターと激突す

廿日午後八時三十分には大山通りと吉野町の十字路に於て滿電バス運轉手湯田平泰藏(三七)の操縱する滿電バスと小崗子永樂街一二義昌公司運轉手劉學雲(三五)のトラクターと激突しバスは三十圓、トラクターは約三圓の損害を負ふた

無許可の運轉手 人力車を監部通りで引ッ懸ける

二十日午後三時には監部通り七十四番地前路上に於て浪速町五三櫨吉五郎かた店員河口桂太郎(二三)は運轉手の許可なく三櫨かたの自動車を操縱し八幡町車夫收容所內車夫譚立孟(三七)の人力車と衝突し人力車を顛覆し車體を破損せしめ十九圓の損害を與へた

國際競技 寫眞ニュース

【上】は劉風竹東北大學副校長夫人から賞品を受ける南部忠平選手【下】は日獨支競技中の呼びもの八百米突リレーの盛觀

顛覆刑事 遂に死亡

廿日午後三時ごろ犯人護送のもとに犯跡捜査を終へサイドカーにて南關嶺より歸署の途中、金州道路において奇禍にあつた小崗子署刑事風呂田藏三氏はその後大連醫院において加療中であつたが、廿一日午前十時五分遂に死去した、風呂田刑事は廣島縣賀茂郡上黑瀨村生れで大正十三年十二月關東廳巡査を拜命、爾來小崗子署勤務昭和三年六月刑事係を命ぜられたもので極めて剛膽な半面に溫情に富み內外共に氣受けよく、今回同刑事の死は惜まれてゐる、なほ家族は妻女マツ子(二九)さんのほか當年二歳になる長女があると

旅大選手 けさ歸連 國際競技出場の

奉天の日獨支競技で健鬪した大連旅順の滿洲代表選手は男女子とも元氣旺盛に二十一日八時着の列車で歸連したが、驛頭には彌生高女生徒を始め多數の各關係者の出迎へあり大いに賑はつた

大連觀世協會 創立發會の謠會

當市在住の觀世流師範泉泰一朗、堀田勇、渡邊與十郎、高橋忠次良の諸氏發起となり今回觀世流の合同會を創立、會長には大連市長を推し、相談役として若干知名の士を擧げ師範連は理事として斯道發展向上のために努力し、來る廿七日午後一時から市の社會館でその發會を催す由、番組は左の如くで多數の來會を望むと

「素謠」三輪、鉢木、井筒、松風、花筐、安達原、天鼓「囃子」清經、猩々「狂言」三人片輪、外仕舞

二機雁行して一路臺灣へ けさ海軍機、太刀洗を出發 申分ない飛行日和

【太刀洗二十一日發電】所澤、臺灣屏東間海洋航空路の新記錄を作るべく大飛行の壯途に上つた陸軍機三機(一機は豫備機)は二十日午後所澤より一氣に太刀洗に飛來し同夜は當地一泊諸種の準備を進めてゐたが、二十一日は絕好の快晴に各飛行士の意氣大いに昂り午前四時起床、機體の點檢その他一切の準備を終へ六時太刀洗飛行聯隊員の見送裡に四十一號機は加藤大尉操縱、齋藤中尉同乘、四十號機は濱澤大尉操縱、中村中尉同乘、豫備機を殘して二機雁行一路臺灣に向つて飛翔した

赤ン坊自慢 慈愛溢るゝマ、さんて 第二回審査會賑ふ

大連市役所主催の第二回赤ん坊の審査會は廿一日午後一時より市社會館において開催、正午頃より赤ん坊自慢の若いお母さん連で氣持の好い集りを見せる「この兒こそ一等だ」口にはいはぬがどの母親も一樣に慈愛に滿ちた好いお母さん達だ、なかには夫婦揃つて出掛る熱心なのもある、廿一日の審査は豫じめ指定の如く百五十餘名、午後一時、一同は審査會場に集まり先づ古閑社會館主事の挨拶あり金子審査長立會のうへ審査員の手でひとり／＼丁寧に體重から身長胸圍といふ工合に診察されて行く午後四時第一日の分は終了の豫定であるが引續き廿二、三日も各百六七十名づゝ審査が行はれ、廿四日には昨年度の優良兒山本正夫君以下百五十名の再審査があり、最後に本年度の審査の結果が決定する筈であると、同じく市役所主催の兒童健康診斷は午後一時より常盤小學校において開催され、この方も素晴らしい景氣を呼び十五歳未滿の男女兒童の健康診斷を受けるもの頗る多數に上つた

僞せ瓦斯社員橫行

最近沙河口、聖德街方面に於て南滿瓦斯會社社員と詐稱し品質劣惡なる瓦斯ゴム管を賣歩く者頻出し一般は勿論瓦斯會社に於てはその信用を保つ上からも捨置き難く直ちに警察當局にこれが取締を依賴すると共に廿一日より修繕車三臺を以て各戶を訪問し破損箇所の修繕に應ぜしめてゐるが、一般市民に於てもこれ等詐稱社員出張の際は充分用心して欲しいと

日活の村田監督撮影技師ら來連 滿鐵情報課が招聘 來る廿三日のはるびん丸で

滿鐵情報課にては今夏立花高四郎氏來滿の際同時に松竹蒲田撮影所の牛原監督及び日活撮影所の村田監督を招聘する筈であつたが、兩氏は製作の都合上來滿が延び／＼となつてゐたところ、過般芥川光藏氏が上京の際、更に種々折衝の結果、日活にては滿蒙を背景とした大映畫を製作すべくこれが下準備として日本映畫界の名監督村田實氏を中心にシナリオ、ライター等を渡滿せしめる事に決定したが、今回愈々村田監督及び撮影技師青島順一郎脚本部員木村千疋男の三氏が來る廿三日入港のはるびん丸で來連し情報課の後援を得てロケーション、ハンテングその他の材料を蒐集する事になつた、これ等諸氏の來滿によつて我が滿洲映畫界も啓蒙されるところが尠くないであらうと大いに期待されてゐる

荷造包裝展けふも大賑ひ

本社後援の荷造包裝展覽會第二日目會場に當てられた青年會館は朝早くより店名入のハッピを着た小僧さんや專門家で大賑はひ鉛一本針金一筋にも包裝に關する注意が熱心な態度となつて現れ一つ／＼案內の說明で滿足しながら見て廻る、懸賞ポスターも大人氣その彩りの鮮かなのに目を見張つてゐる、なほ三階においては包裝に關する活動寫眞を映寫し本展覽會に更に花を添へた、係員は「幸ひ今日は暖いから初日に倍して參觀者が多いと思ひます、昨日もそう思ひましたが、支那人商人の熱心な態度に感心させられました」

軍人になれずモルヒネ自殺

市內西崗子街一六一番地左官柳永桐方日傭業柳運還(二〇)は十九日午前九時ごろモルヒネ多量を嚥下し苦悶中を家人に發見され博愛病院に收容應急手當を施したが生命危篤、原因は運還は常に鄕里山東に歸り軍人になるべく希望してゐたが、近親のものにそれを制止されそれを悲觀して右の始末に及んだものらしいと

エヂソン翁の功績を稱ふ けふ電燈發明五十年記念祭 大連でも大いに祝福

西曆千八百七十九年初めて電燈が發明されて夜の光への欲求が貫徹され明るい世界に變へられてより丁度今度で五十年、全世界はこの偉大な發明家エヂソン翁の功績を稱へると共に今十月廿一日を電燈五十年記念祭として擧げて一樣に記念する事となり內地においても各地でそれ／＼適宜な記念法を講じてゐるが、わが滿洲においても滿洲電氣協會が主となりパンフレツトを二千部を市中や沿線の小中等學校等に配布し、夜は七時よりラヂオをもつてエヂソン翁の電燈發明に關する記念放送をなす事となつた、なほ市中においても三十餘軒の電氣商並びに滿電がいづれも華々しくショーウインドを飾り立てこの記念日を祝福した【寫眞はエヂソン翁】

散歩中の米露人鐵棒で毆らる 自動車で馳付けた白露人に ゆふべ紀伊町にて

二十日午後十時五分ごろ大連柳町七一東支鐵路公司員(露國人)アレキサンドル、ジューリス(三三)と山縣通り一三八モデルホテル內無職米國人ジオゼフ、チオリック(二九)はジューリスの妻と共に三人、紀伊町七十七番地先を滿鐵本社に向け歩行中、後方より「大四五二號」自動車に乘つて追尾して來た山縣通り一五八番地かた二階ブレザー商會員露國人リオワ、キリウインスキー(三三)および住所不定無職(露國人)ユラ、ウエニスク(二□)ほか一名の露國人が自動車を下車するやと見るまに鐵棒を振つて「赤の馬鹿野郎」と怒號し前記兩名を袋叩きにし顏面その他に挫傷裂傷を負はせその儘自動車で逃走した、屆出により大連署に於て捜査しキリウインスキーとウエニスクの兩名を傷害犯人として引致し更に殘る一名の所在捜査中であるが、原因は白系露人と赤系露人の思想的確執の現れにあるらしい、なほジューリスは唐澤病院チオリックは滿鐵醫院に收容治療中であるが何れも全治まで一週間位は要するであらうと

黑龍江一帶大體平靜

【ハルビン特電二十一日發】最近洮昂沿線を視察し來哈した人の談によると一帶は極めて平靜で外人旅行者に對する取締は一時やかましかつたが護照さへあれば何等問題ない、黑龍官銀號(廣信)が特產買占めで洮昂線により南下輸送を計畫してゐるが昨年よりも盛なやうである

反物を騙取 年增女捕はる

友人の結婚用に周旋すると稱し反物を騙取した大連乃木町三ノ一ノ一無職大龍タキ(四〇)が二十日午後零時大連署に擧げられた、同女は十八日午前十時ごろ天神町二呉服商大塚娛作かたに至り友人川上某が近く結婚するから私の宅まで持參して貰ひたいと黑縮緬八掛付一反他十點價格四百十九圓五十錢を店員に屆けさせ之れを騙取のうへ紀伊町第五博多屋および西通り寺井質店へ入質したもので餘罪ある見込みで引續き取調中

三千圓を拐帶 人妻の家出

市內磐城町六七番地酒販賣業安達登の妻芳子(二七)は去る十日午前九時ごろ店の金約三千圓を攜帶して外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので夫登より廿一日各署に捜査願があつた

阿片包を放棄逃走

廿日午後五時半ごろ市內西崗街一一三番地居住の關東廳阿片局員片岡貞治(四□)が同番地先きを通行中擧動不審の支那人を發見誰何すると數布包みをその場に放棄して逃走したので取調べたところ、阿片約三貫五百匁が現れたので小崗子署に屆出た、同署では目下犯人捜査中

運轉手の詐欺

大連若狹町花見タクシー運轉手奧田松雄(二六、七歳)は信濃町八七カフエー、パリジヤンこと曾根義晴に對し營業用の電氣看板を作製してやると欺き去る七月廿三日より八月十六日まで前後九回に亘り材料買入れのためと稱し廿七圓二十錢を詐取したので廿一日曾根から詐欺の告訴を大連署へ提出された

元ばいかる丸船長 千葉平馬氏陳謝

元ばいかる丸船長千葉平馬氏は二十日入船のばいかる丸にて來連したが、同氏は目下謹愼中であり、當時の遭難者その他の關係者に一々挨拶すべきであるが廿二日離連するので本紙を通じ當時の事件につき陳謝するところがあつた

水產會社買收 正式に決定

けふ水產會總會て

資金は鮮銀より借入れる

滿洲水產會社の買收案其の他を附議すべき關東州水產會の臨時總代會は二十一日午前十時から關東廳會議室に於て神田、小川、正副會長以下日支評議員總代出席者二十二人を以て開會、劈頭水產會社事務引繼の件並びに同會社讓り受けの件、權利消滅に關する保證費等の件、權利消滅に關する保證費等買收費全額五十萬四千圓を議題として附議に入つたが、小川氏の說明後二三の質問あつたのみにて異議なく滿場一致を以て原案通り買收する事に可決、續いて買收資金借入假契約締結、水產會規則の改正、本年度豫算の變更等諸件を上程し、審議する所あつたが、何れも原案通可決した、尙買收資金は約三十八萬圓で朝鮮銀行より年九分の利率にて借入れる事となつたが、既に銀行とは內交涉ずみとなつて居るので今後は直ちに會社と假契約をなしかくて實際上の買收を實現する事となつた

水產會社の製氷部を 大連製氷買收か

兩者間に內交涉進む

大連製氷の獨專に反對論出づ

別項の如く水產會が五十萬四千圓で買收するに決定した滿洲水產會社では魚市場に供給する冷卻用の氷の爲め一日生產能力十五噸を有する製氷部を經營してゐたが水產會では水產會社を買收すると同時に、製氷部を直ちに大連製氷會社に讓渡するに內定、目下兩者の間に交涉中であるが賣買價額は祕密に附せられてゐる、而して大連製氷會社が、水產會附屬の製氷部を買收した曉は、關東州に於ける製氷事業は大連製氷の獨專事業となり一番需要の多い漁業者に取つては重大問題とされ、漁業組合中には早くも反對の氣勢が揚がつてゐる、卽ち魚類冷卻用の氷は從來水產會社附屬の製氷部の氷と大連製氷の氷とを使つてゐたが、大連製氷の獨專事業となれば値段の點に於て相當問題が起きるものと見られ成行きは注目されてゐるが、結局は値段協定問題などが起るであらうと見られてゐる

鮮支國境 密輸問題

解決策協議

鴨綠江を境として日支國境に於ける脫稅行爲は最近頻々として行はれ、しかも白晝大量の脫稅を公然と行ひつゝあり遂に日支間の紛糾をすら生じてゐるが、之を解決するには單なる抗議位では效力なく根絕を期するには武力に依るの外

運合發起人會

創立委員を選定す

十九日京城て開催

【京城二十日發電】運合發起人會は十九日定刻より二時間遲れ午後四時鐵道局食堂に於いて發起人百二十八名の中百十六名出席、中野平田兩氏は勿論鐵道局より戶田理事、諸富貨物主任臨席、座長席に着いて一場の挨拶を述べたる後參加店一千百店のうちまだ百店程差益調查未了のものある爲め本日の發起人會は正規の手續上顏合會として創立準備の協議を進めて行き度い、と滿場に諮り正規の發起人會は調查完了の上再開することにして座長より議事錄署名者として中村芳松（京城）姜昌熙（京城）太田忍（仁川）の三氏を指名し、參加店其他の說明を爲して創立委員の選定に入り、入江氏（木浦）外二、三氏の發言で滿場一致銓衡委員一任となり座長は十名の銓衡委員を選定し、直に別室にて銓衡委員會を開き其の結果を座長より本會議席上左の如く報告す（系統別に示す）

△通運系　吉田秀次郞、竹井三郞、光永喜七、村尾伊勢松、豐住輝日出

△運輸系　河合治三郞、太田忍、星野榮五郞、白垣善四郞、房宗銘五郞

△中立內地人側　立石幹、中村芳松、永井寬龍、本岡卯之吉、松本福市

△中立鮮人側　姜昌熙、金堯周、洪鍾胤、李英煥、朴南允

滿銀の開銀買收 圓滿調印を終る

本年末までに開店

滿洲銀行の關係銀行買收問題は最近に至つて漸く兩者の諒解成り圓滿調印を見るに至つた、卽ち開銀の貸出額約七萬圓と預金約三萬圓を滿銀に於て引受け暖簾代として六、七千圓を滿銀から讓出した模樣である、而して滿銀では十一月二十五日頃臨時總會を開催し定款の變更を行つたうへ開原支店開設の運びとなるのであるが、遲くとも本年末までに開店すべく準備を急いでゐる

創立委員の顏合會

尙創立に關する一切の準備行爲並に業績調查、營業開始時期の選定は創立委員一任と決定し豫定の筋書通り議事を終り五時半閉會した、因に前記特委員の任務は左の如くである

（一）支店開設準備（二）業績調查（三）中部驛の合同促進

運合創立委員は發起人會終了後鐵道局に居殘り委員會開催期日、委員長問題等に就いて打合せを行つた

滿鐵々道部 營業收支豫算

收入一億三千四百萬圓 支出は四千四百萬圓

明年度滿鐵々道部營業收支豫算は豫定の如く廿一日午前九時より本社總裁室に於て査定され正午迄に全部を終了したが明年度鐵道收支內譯左の如し

總收入額	一三四、六七萬圓
總支出額	四四、〇〇萬圓
差引益金	九〇、六七萬圓

△收入內譯

客車收入	一九、六二萬圓
貨車收入	一一一、四七萬圓
其他	三、五八萬圓

△支出內譯

事務費	二、一三萬圓
運轉費	一三、〇〇萬圓
車輛費	一一、三〇萬圓
運輸費	六、八〇萬圓
附屬港灣費	五八萬圓
技術研究費	四二萬圓
保存費	六、三〇萬圓
其他	三、四七萬圓

市中よりも 二、三割安

破格卽賣會

來る廿五日から卅一日まで大連商議に於て開催する市中商人の破格卽賣會に關する打合會は二十日總入組合で行はれたが出品範圍は高貴品、流行品、ストック品等を網羅し、卽賣値は普通店舖で賣る値段より二、三割、物によつては半額程度で卽賣することを申合せたなほ出品者は申込み殺到してゐるが、陳列場の都合で三十名に制定した

經濟往來

◇なしとまで云はれ、事態容易ならざるものがあるので、大連商工會議所では之を經濟的に見るも日支貿易を阻害すること重大であるとなし、數日前鑑崎書記長を安東に派遣し、國境脫稅に關する諸種の調査をなさしめたが、豫想以上の重大なる事態にあるので、廿一日午後三時から商議貿易部委員會を開催し鑑崎書記長の調査報告に基き之が根本的解決策に就き協議する筈である

◇モガに罪あり　斷髮せねばモガぢやない……と云ふ譯で斷髮大流行之れで櫛の賣行がパタリ止つた製造元では職工に賃銀値下げを提議した、斯くて御定りの勞働爭議へ……但し之はイギリスの話

◇園公の態度　東海道沿線の絕景清見寺下の海を埋立てゝは困ると地元の住民が當局に反對陳情書に調印を取纏め中たが地元の一人に別莊を持つて居る西園寺公が居るので公がどうするか敵も味方も注目

◇鵜の鳥りや稼ぐ　岐阜の鵜飼本年の收入は二萬九千五百圓で去年よりも千六百圓の增收、これはグロスター公の台覽と國使節の遊覽で一躍世界的になつた結果だと大喜び

◇學用品消費組合　鹿兒島縣學務課では中等學生の學費節減の爲め縣下七十四の中等學校を打つて一丸と學用品の消費組合を設立することゝなり來年一月から開始の運びとなつたが斯る組合の設立は同縣を以て嚆矢とす……とて鼻息頗る荒い

一人一言

錢鈔取引人　柄澤幸男

我が國貿易は大正八年以來入超で同年入超七千四百五十八萬七千圓を小額な記錄として昨年末迄總額三十二億七千百五十五萬九千圓の入超額である、此の十ケ年間貿易外の受取勘定一ケ年間一億萬圓として十億萬圓を差引いても二十二億七千餘萬圓と云ふ巨額の金を海外に支拂ふた勘定だ、此の狀態で進んだならば國家は破產である

東新株が千圓となり東京目拔きの土地が一坪一萬圓となつてもそれは國家の富ではない、國の富といふものはどうしても貿易に依り受取勘定でなくてはならぬ、お互は最も肝要の事である、生活上必要品以外の贅澤品にして外國製品は可るべく買はぬ事だ、現內閣が官吏の俸給を一割減に斷行する旨發表したが民間に於ても生活費の一割減を實行したいものだ

現內閣の緊縮政策も此の數字を見ても國民は贊意を表せねばならぬ　▽……△

黃塵

◇……政府も減俸案で味噌をつけ緊縮節約もまづお膝元から行詰つた譯だ。

◇……一體物價が下つたと言つても生活費が俸給減を行ひ得る程に下がつてゐるかどうかは疑問である

◇……內地においても中產階級以下が依然として生活難に苦むは諸物價に比し家賃が下らない事が最大原因とされてゐる。

◇……その點においては殊に大連などは家賃高の弊既甚大なるものがある。

◇……市內某所には八軒長屋に對し便所一ケ所、而も疊一枚につき二圓五十錢に當る家賃をとられてゐる店子もあるさうだ。

◇……大連での緊縮節約は先づ家賃高の忍苦と小住宅難から一般を解放すべき方策を講ずることが急務であらう。

經濟雜叢

最近喧しい 放行單問題

支那側は瞭かに條約違反

◇奉天に於て目下論議されるものに放行單問題がある、放行單とは一言にして云へば海關にて發行する貨物檢査證である、但しその性質上から論ずれば所定の稅金を支拂つたといふ受取書でもなければ證明書でもない、通關手續を終へたるものなるを以て茲に檢査證を發給する、だから此の檢査證と照符して關還ひなくば、直ちに通過を許すべきものであると云ふ奧地稅局に對する命令書乃至は通知狀ではあるが又事實上に於ては海關に於て通關手續を終へ所定の稅金を支拂つたといふ實證であるゝとに間違ひはない

◇だが茲に問題となるのは譬へば百個一纏めの品物に對して一枚の放行單を發給する、而して奉天に送り城內に於て之を甲に二十箇乙に三十箇、丙に五十箇と分配する際に際して甲は放行單を有するが故に稅局員は課稅せぬが乙と丙は放行單を有せぬが故に課稅せらるゝのである、彼等の口實は放行單なきものは密輸品と認むると云ふにある、然らば放行單を貨物一個々々に就いて發給すれば此の課稅から免れ得る筈であるが實際として不可能事である、何んとなれば發給の手續の繁忙は別問題とするも荷造を別々にせねばならない、又これが爲め一車扱も不可能となり荷造費の膨脹を來すものでその負擔には到底堪へ得ざるものである、斯くのごとき事業の下に二重課稅を強られて居る、從つて城內の商人は放行單なき分配された貨物の受け取りを拒む、之れによつて商取引は圓滑を缺ぐに至るのである

◇恰も一ケ月前全市ボイコットを敢行して大騷ぎを演出した芝罘の貨物稅に對する運單の發行と同一性質のものだ、重稅廢止を目的として發行した運單が矢張りその一枚しか與れない爲めに奧地の分局を通過する毎に同一の稅率を課せられ、二重にも三重にも課稅で折角の重稅廢止の目論見は何等の用をなさないのみか、吾等同邦の生活を脅威する惡稅だとの標語を立てて芝罘市民は一齊に立つて之が撤廢を叫んだものである◇

◇要するにこの二重課稅は明らかに條約違反である、假令放行單を所有せずとも奧地の稅局が新に課稅すべきものでは斷じてない卽ち輸入貨物の徵稅は開港場にて行ふことは條約上の規定である、從つて若しかゝる二重課稅を徵收せんとする際には條約違反として嚴重に抗議すればよい譯である、支那商人の場合に於ても邦商との取引に關することだから、その不都合なることに於て何等變る所はない

◇かゝる問題の惹起することあるは日本官吏の誠意なきと且つは事情に迂遠なるが爲めだと見る向きがあるそして放行單は一枚でも海關では稅金を拂つた證明として洋貨免重徵事照、卽ち免稅證書を希望によつて幾枚でも發行する筈だから此の間の事情を承知してこれが免稅證書の交付を受けておけば前記のような不當課稅の徵收は受けない筈である、所が實際に於てそう旨く行かないのは前述の通り

に、各箇別にする荷造の煩雜とこれに要する費用の負擔に耐えざること更に取引先が通關の當初より明白に判つてゐないために問題は愈々複雜化してきてゐる、邦商との直接關係あるにあらざること、並に徵稅强行が城內に於て行はるゝが爲めに、たとへ條約違反だとなす領事の抗議も何等の效果を奏することなく、依然として二重課稅の徵收行はれ、取引關係の不圓滑を招來して、とう〳〵日本商議の問題とまでなるに至つた、そして奉天商議野添書記長は安東、大連兩海關、關東廳當局を訪ひ之が前後策を講ずる筈だといふが、之が前途の豫測は容易につくべくもない、但し奉天稅捐局としては、安東大連兩海關からの依賴に依るとの口實によつて二重課稅を徵收してゐると言はれるか大連海關では既にかゝる依賴をなした覺えなしとの照會を發した模樣だが奉天稅捐局が今後の態度をどうするかは問題の推移を眺める外はない

大連關稅行單
DAIREN CUSTOMS PERMIT TO IMPORT

市況

特產

出廻り增加で 高粱軟調

差したる新材料もなく一般に平凡であつたが、高粱近物は出廻り增加で五錢方の低落、現物成約は興毛東、日淸、瓜谷で四十輛坊二十車、日淸、三井、廣泰、裕發祥で四十手合せ今日の油坊生產高三千枚、操業工場十六軒

◇定期前場（銀建）

◇現物前場（銀建）

◇定期喰合高（十九日）

錢鈔

材料區々で 鈔票保合

今朝の海外材料としての銀塊倫敦は廿二片十六分の十五と八分の一安、先物は廿三片十六分の五と八分の三安、紐育は四十二留比八分の三と十六分の一安、滙兌は七十兩〇五、十二兩六七五、大洋は九十錢日米は十七弗十六分の三と十六分の一安、米日は四分の三と十六分の一安、上海標金は三兩一と寄り廿二兩二の銀價は弱保合を呈した

◇定期取引（單位）

◇現物取引（單位）

商品

前場

麻袋　期近高は休會前に比し昨十六分同事爲替四分の一安と弱じ當市又銀票引締りと玉屋の埋めもありて一二厘

市場電報

銀塊及爲替

棉花

株

日曜明けの大阪株式は…

株式

內地高午ら 地場保合

日曜明けの北濱株は小鞘り東京期の新東二圓揃の昂騰を報じた當市は氣配變らず五品新豆保合錢鈔のみ三四十錢高に引締つ現物の大新は保合新東二圓二三錢高鐘新五十錢高定期二百六十現物二千五十枚

◇定期　前場

◇現物（甲部）

◇現物（乙部）

◇爲替々受渡日步

後場（保合）

◇定期

◇現物（甲部）

◇現物（乙部）

株式出來高（廿一日）

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戶豆粕

橫濱生糸

印度棉花

爲替相場

正金

鮮銀

手形交換高（廿一日）

上海爲替情報

【上海二十一日發電】中央軍の鄭州放棄により戰局不利と減俸案の撤回に加へ神戶安に人氣惡しく大連筋元安、普昌永賣り正金、マカリ銀行ボント十二月三片八分三、一月三片二分一よく賣り突き込みたるも商工銀行ボンド十萬、三井三菱圓及びボンドを利喰ひよく買ひ匯豐銀行は圓を買ひボンドを賣る、あと銀行筋賣見送りと日米高に戻せしも、戻りは賣氣多し、その後中央銀行取付け大したことなし

上海標金

寄値	四二二兩九
高値	四二三兩五
安値	四二〇兩七

奧地市況（廿一日）

特產

錢鈔

平安異香（146）

葉多默太郎作
中一彌畫

骷髏の革袋（一〇）

ごろりと寢てゐる黒住源八郎の胸中――

勸修寺家の女房の浮海入道の手のものの隱密の諜報の陰に秘んでゐる秘密は何だらう？女を追つた野武士は、或は夢之助の一味かも知れないのだが、さうだとすればこの三者の間にどんな絡がりがあるのだらう？それから伊賀專女さまの背後の椋の幹に詰めこんだ前代未聞の屍體、これはどうだ？

清盛入道の最近格別に人心の向背に神經を尖らせて、當代の驕官諸卿はいふまでもなく、一家一門のものにさへ隱密を附けてゐるといふから、被衣の女房は勸修寺家へ潜つてゐる清盛の隱密かも知れないのである。さうだとすれば、清盛の幕下と諜報を取交はしてゐることは容易に說明がつく。

が、怪屍體は難物だ。犯跡が古いだけに詮議がむつかしいが、事件の面白さは此方にある。鬼が出るか蛇が出るか一膝入れてみよう――

源八郎はむつくり起き上つた。

「夜はすつかり明けたやうだな勘兵衛」

「へエ、變な空模樣なんでお天道さまは顏を見せねエが、もう六ツ過ぎだよ。お大將」

「糺の森へ行つてみる。太吉も一緒に供せい」

で、三人が立ちかゝつたのだが恰度その時折戸の前に一人の男が立つた。

顏見知りの、使廳の小者である。

「重平ではないか。何か用か」

「判官樣の使ひに參つたのでございますが、あなた樣は直ぐ勸修寺邸へお出向きを願ふやうと仰有りました」

「勸修寺邸――？」

「お館の方樣のお使ひが見えましたから多分……」

「あ、さうか」

ちらと不快なものが源八郎の眼を過つたが、

「では、これから直ぐ伺ふとしよう。御申しつけ忝かと承つたと判官殿へ申しておけ」

氣輕く云つて使を返した。

お館の方の用向きとなら聞かでも知れてゐる。夢之助を縛つてお館の方の嘲弄の供物に供へることの出來なかつたのに業をにやして、お館の方から使廳へ謡つて行つたが使廳の判官小串九郎範行はすらりと肩を外して、

「夢之助捕り方を黒住源八郎にとお指圖あつたはそちら樣で、不肖の存じ寄では御座らぬ」と涼しい顏をして、

「源八郎直に伺はせて、仔細を申し上げさせまする」などゝ言つたものに相違ないのである。

が、勸修寺邸の北殿へ行つてみると、そこに意外なものが源八郎を待つてゐた。

前栽の冠木門を潜ると、縁に侍女の相模が立つてゐて、

「これに御方樣がおゐでぢや」

といふから、履脱石へ膝をつくと、その時入手の築山に蹲まつた人影があつたので覗き見すると、それが鬱金頭巾に短袴、物覺り姿の女面の小太郎だつた、捕まつた覺えもなければ配下が捕まつた樣子もなかつた小太郎である。して

やられた――といふ氣持、はつとなつたが尋常に指をつくと、

「そちは源八郎、昨夜はいかい御苦勞であつたなう」

簾垂越しの聲だつた、お館の方の嘲るやうな聲である。

源八郎の眉はびりッと顫いた。が聲は穩かだつた。

「不覺を仕つて汗顏の至りでござります」

「不覺――といやると、夢之助は捕へられなんだと言やるのか」

「殘念ながら、とり逃がしてござりまする」

「なんぢや、當代一の捕吏ぢやの秦の司馬陵ぢやのといはれたそちが、あれほどの手配りをして、それで見事夢之助に一蹴された――といやるのか。ほんに夢之助は人の噂に違はぬ大盗ぢやなう、したが、一味のものなどはそれぐ捕へたであらうなう。夢之助の他に、二人三人ゐたといふから」

と、嘲笑を泛べて見下してゐたら源八郎はじつと顏を擧げた。

しい侍女相模の眼がついとそれる

映畫と演藝

滿鐵音樂會 秋季演奏會 二十七日開催

滿鐵音樂會洋樂部第十五回秋季演奏會は來る二十七日午後七時半より協和會館に於て開催されるが、演奏曲目は次の如くである

第一部

一、管絃樂歌劇「ノルマ」の序曲
二、マンドリン四重奏
三、絃樂四重奏(イ)「アンダンテ・カンタビレ」(ロ)「水車」
四、次中音獨唱(イ)「エレヂィー」(ロ)「サンタ・ルチア」(伊太利民謠)(ハ)秋の日
五、管絃樂組曲「ペーア・ギント」(イ)朝(ロ)アーゼの死(ハ)アニトラの舞踏(ニ)魔王の御殿
六、マンドリン合奏幻想曲「麥祭り」(合唱付)(イ)黎明(ロ)樂しき目覺め(ハ)麥の唄(ニ)祭りの後

第二部

七、ピアノ獨唱「奏鳴曲」作品七番
八、混聲合唱「白銀の目拔きの太刀を」
九、マンドリン獨奏「第二マヅルカ幻想曲」
十、管絃樂(イ)「小夜曲」(ロ)「マイ・オールド・ケンタツキー・ホーム」幻想曲　指揮者高津敏

映畫界東西

河合プロにゐた三村伸太郎氏はマキノの脚本部に入社。

◇

淺草日本館は十七日より「摩天樓」を上映するが永井美奈子が出演して映畫小唄「摩天樓」を獨唱する

喋話

協和會館が「笑ふ男」にレコード伴奏を行ふと云ふので相當一般の期待を受けて居たが▲最初の内はともかく後半に至つては全く解說者とのキッカケが附かず悲觀させられた▲どうも大連では與太な說明を聞かされることが多い▲「笑ふ男」で正木君シエックスピアを盛にシュック、スピーアとやる、臺本の讀み違ひだらうが餘りに非常識なまちがひだ▲昨日のばいかる丸で東京シネマ芹川氏等が來連したが緊縮映畫「國難來」を御持參で近日中に協和會館で公開するとの事▲同じばいかる丸で演藝館の英澄さん花嫁御同伴で御目出度事の限り、▲今日社員俱樂部で「ジャングル」の試寫がある筈▲浪速館は「入鋤飛龍」を二日間日延する

映画案内

十八日より大公開

マキノキネマ特作品
並木鏡太郎第一回監督
撮影……石野誠三

夜討曾我

澤田敬之助
河津精三郎　主演

帝國キネマ特作品
原作脚色……松尾邦弘
監督……矢内政治

南蠻鑄物師

實川延松・片岡童十郎
都さくら・鈴木信子　主演

原作……川浪良太
脚色……瀨川與志
監督……三上良二

銀座王

東郷久義・飯田英二
星英府・新見映郎
砂田駒子・多見一枝　共演

マキノキネマ特作品

演藝館

二十一日公開

慶修月に曇る三條磧！正劍風に躍る大乘院！幕末の熱血見

月形半平太

林長二郎主演
高尾光子、若水絹子
若月孔雀、浦波須磨子

映畫レヴュー

柳咲子舞踊集

浦島俄獅子、櫻狩浪花小唄

醫案の特作品
野村芳亭監督

三人善

岩田祐吉、押本映治
小林十九二、筑波雪子

帝國館

十八日より奉仕週間

東亞……草間實主演

肥後の駒下駄

貳拾錢券

大阪……怪童……里見明主演

近代行進曲（喜多村・緑郎）

ニーアモーとナンセンスのシンフォニー

河合特作　原作八尋不二

山形屋藤藏

永井柳太郎
千代田綾子　主演

國際館

廿一日、廿二日兩日限り日延べ、ひのべ

新館上棟式は皆樣の御聲援に依り盛大に擧行され工事も進み愈々拾一月上旬開館に決定致しました。其の記念と謝恩のため特に兩日を日のべ致しまして階下席を開放し皆樣を御優待致す事にしました。本券を切り拔き御持參下さい混雜しますからお早くお越し下さい。

謝恩　**二十錢券**　奉仕

好評大好評の澤田清主演

八劍飛龍　全十二卷

浪速館

滿洲日報

問題は依然去らず よし減俸案が撤回されても

滿洲日報

濱口內閣の減俸案、世間の評判はなはだ惡い。この調子だと、結句、いさぎよく撤回するやうなことになるかも知れぬ。ところで、よし減俸案が撤回されたにしても、それは、わが國の經濟狀態が、放漫であつてよろしい、悲觀するには及ばぬ、緊縮節約の必要はないといふことにはならぬのである。濱口內閣の減俸案は、あるひは手段方法において誤つてゐたといふことも出來やう。しかし整理緊縮の精神においては、吾人の共鳴を禁じ得ぬところのものである。すなはち、濱口內閣の減俸案が間違つたとすれば、それは手段方法が惡かつたといふに過ぎぬ。その精神においては、減俸案の聲明前と今日と、何等の變化も、また相違もないのである。

◇

事の成行如何によつては、政府は減俸案を中止するか、撤回するか、あるひは大々的の骨拔きにより、形ばかりの減俸を實施して面目を保ち、不徹底裡に、問題の經過を糊塗することになるかも知れない。減俸問題の結着は、事實の進展に待つ外ない、がしかし、濱口內閣の精神とし、眼目としてゐるところの緊縮節約に對しては、吾人は將來、ます／＼その目的の達成のために努力せねばならぬと信ずるものである。よし濱口內閣が、世間の惡評に懲り／＼し、その減俸案を引き込めたにしても、それは決して經濟國難が打開されたことを意味するものではないのである。いはゆる輿論の力は、濱口內閣の減俸案に勝つことが出來るにしても、未だ以て、わが經濟國難に打ち勝つたといふことは出來ぬのである。この點、われ／＼國民は、深刻に各個人の頭腦に感銘して置かねばならぬと思ふ。

◇

われ／＼は、何が何でも、一ツの是非、解決せねばならぬ問題を背負つて居る。それは外ではない金解禁である。金本位兌換制度の回復である。この問題を解決せぬうちは、わが國民經濟の國際關係は決して安定したりといふことは出來ぬ。常に海外經濟の壓迫と脅威とから解放されることはないのである。この束縛から自由となり對外信譽の壓迫と脅威とから、國民の經濟生活を獨立せしめやうとするには、何事を差し置いても、まづ金解禁の決行に邁進せねばならぬのである。濱口內閣が、官吏の減俸を斷行せんとしたのも、當面直接の目的としては、あるひは昭和五年度の豫算を、十五億臺に止めんとしたのであつたかも知れぬが、その眞目的、より以上の目的は、收支の計數上の辻褄を合せんとするよりは、むしろ國民の整理節約によつて、金解禁目的を、一日も早く實現せんとするにあつたのではあるまいか。」

◇

吾人は、かくの如く解釋し、よし濱口內閣が、世評の手前、やむことを得ずして、その手段方法たる減俸案を撤回することありとしても、濱口內閣の主眼とした、財政の立て直し、金解禁の斷行、經濟國難の打開を期せねばならぬと信ずるものである。われ／＼一般國民の生產經濟は、決して合理化せられたりといふことは出來ぬところに、われ／＼の消費經濟は、決して健全なりといふことの出來ぬものが存するのである。この生產と消費との國民生活の實情を考へるときに、吾人は非常なる緊張と覺悟とを以て、これが立て直し緊縮節約、合理化を斷行せねばならぬことを思はしめられるのである。よし濱口內閣が、減俸問題から手を引いたからとて、それにて氣を安め、些かたりとも放漫のことがあつてはならぬのである。」

◇

放漫積極政策に對する攻擊と、濱口內閣の成立に當り、整理緊縮の消極政策を歡迎したことを忘れてはならぬ。外國貿易は多少、好調に向ひつゝありとするも、われ／＼の實際の消費狀況が、果して贅澤に流れて居らぬであらうか、放漫に陷つては居ぬであらうか。放漫とか、積極とかいふことは、獨り政府のみの負ふべき文句ではあるまい。減俸案なるものも、その生活最低程度を年額一千四百圓といふところに置いたのが惡かつたといふことも出來ぬ。若しそれが二千何百圓以上といふやうなことにするならば、槍玉にあがる人數は少し、相當に贊成を得たものだつたと思はれる。果して然らば減俸案だつて、必ずしも撤回するに及ばず、相當の修正を行つて實施することも出來るのではあるまいか。貴族院議員とか、または樞密顧問官などは、もと／＼無給の名譽職とすべきである。恩給だけにて充分なる老人連ばかりを列べてゐるのであるから。恩給といへば、政府は、この恩給制に對して根本的の改革をなし、恩給亡國の源を塞がねばなるまい。」

◇

要するに、減俸案なるものは、手段方法が拙劣であつたといふことにはなるが、それがよし撤回せられたからとて、それにて整理緊縮の必要がなくなつたといふのではないのだ。經濟國難（國難と呼ぶこと、すこしく誇張に失するけれども）は依然として、ひし／＼とわれらの經濟生活を壓迫脅威しつつあることを忘れてはならぬ。果して然らば、何らかの方法手段によつて、よし減俸案は撤回せられたりとするも、整理緊縮、消費節約の目的を達成し、一日も早く金本位兌換制度の回復を實現すると共に、經濟國難を打開して、われ／＼の經濟生活を海外資本力の脅威壓迫から解放せしむべく努力せねばならぬ。濱口內閣は、不評判なる減俸案なるものを引き込めるであらう、がしかし、われ／＼は殘されたる重大案件の打開解決に向つて勇往邁進するの覺悟を要することを忘れてはならぬのだ。

軍艦九隻と飛機廿五臺來襲 陸戰一大隊と步兵兩連全滅

同江の露支衝突報告

【吉林發】勞農側が方面をかへて吉林省の東北隅同江縣城を奇襲したとの急報に接し麾下步兵千五百名を率ゐて富錦に急行した依蘭鎭守使李杜氏より吉林邊防副司令部宛十八日到着の戰況詳報に依れば次の如くである

步兵第三團長張佐臣第三十五團長路永才の報告に據れば十二日午前五時敵の軍艦九隻、汽船十餘隻及び飛行機廿五臺（五臺を以て一隊となす）は突如我が

陸海軍の 陣地に向つて一齊に爆彈を雨下し軍艦亦猛烈に砲擊を加へ同時に敵は步、騎、砲兵機關砲車（タンク）四十餘輛を上陸登岸せしめて我が陣地に突入した、此時全線に亙つて彼我激戰したが遂に我が兵艦利捷、江平、江安、江泰、東乙の五隻は敵飛行機の爲めに擊沈された一方敵艦も亦我軍に依つて大艦三隻を擊沈し小艦三隻に多大の損害を與へた、正午迄に彼我交戰四度に亙つたが、敵は其都度

增援隊を 送り騎兵八百、步兵三千餘名、三八山砲三十門、機關砲車四十餘輛を以て我が軍の左翼に向つて猛烈に攻擊を加へた爲め我が陸戰隊一大隊と步兵第三十五團の三四兩連は全滅し遂に左翼は陷落し次で同江縣城の守を失ひ市街大半は焦土と化した、其際我が軍の山砲三門と機關銃一架は毀損したが、幸ひに我が海軍に依つて敵の飛行機二臺を射落し、我陸軍に依つて敵兵五百餘名、馬匹百餘を射殺し尚負傷者二百餘名の

大損害を 與へた、併しながら我が軍の損失も少くはない、之を點檢するに

▲步兵第五團第一營長孟昭林、諜第一連長同高連附近及兵七十餘名戰死韓營附以下三十二名負傷▲步兵第三團第九連將校二名戰死、第八連兵六十餘名戰死、張連附以下四十六名負傷▲步兵第三十五團第一營第一連李連附以下二十餘名戰死、十八名負傷、第二連長以下三十四名戰死、二十六名負傷、第三連張連長以下八十一名戰死、十四名負傷全滅、第四連將校以下四十餘名戰死、二十一名傷、第六連時署曹長以下三十七名戰死、二十名負傷
▲山砲連趙連長吳連附負傷、兵十一名戰死、十名負傷
▲機關銃連王連附以下六名戰死十一名負傷

以上合計戰死將卒三百五十餘名、負傷百九十五名に達した

現在は 敵艦四隻、汽船五隻、步、騎、砲兵合計一千餘名は同江に蟠踞し圖四克にも敵騎三百餘名あり故に本職（李杜）と沈鴻烈司令共力して富錦を固守し下流の江道を封鎖すべく我が軍艦江亨、利川、利綏ヶ張團長を富錦に留め一面路永才團長等をして第三團、第五團の各一ヶ營と本隊とを指揮せしめて同江縣の奪回雪辱の任に膺らしめて居る、此役に於ける敵軍總指揮は露人「ステヤースク」及前敵總指揮は支那人曲振國（鐵嶺人）副指揮徐秉鈞であつた

その他の事項をあげて

排日を煽 るが如き見當違ひの報告を呈出して居る、尚十八日吉林省當局は前方より同江縣城の赤軍は完全に撤退し我が軍艦江亨は同日正午頃同江に到着し陸軍も陸續到着しつゝありとの報告に接したと

蔣氏の命で方本仁氏の赴晋 太原に閻氏を訪ふ途中 天津で時局を語る

【天津發】湖北省主席方本仁氏は蔣主席の意を銜み太原に閻錫山氏を訪問して西北問題を解決する爲十六日朝津浦線で入津し北平より山西に向つたが左の如く語つた

今回突然北上して來たのは蔣主席より閻錫山氏に宛た親書を屆けるためで西北問題に對する相談は出發前北平の何成濬氏に打電し北京で一應相談する考へであつたが、河南に出發後であつた故自分は北京より轉じて赴晋の考へである、元來閻總司令は極力平和を希望し中央の意志は常に尊重して終始渝らない、西北問題に對しても中央の意志を尊重して居る故蔣主席も相當に滿足してゐる、又閻氏の部下要人が在京中の工作に就て見ても中央擁護の誠意は充分察する事が出來る中央は第二集團の各軍に對しては非常な同情と好意を有し軍費其他の給與に就いても常に充分な手配して居つた、宋哲元等は始終割據爭雄を欲して編遣の實行を肯ぜず遂に今次の如く中央に反抗して統一を破壞し編遣を阻害するに至つたが全國民の同情は無い、故に李白、馮李の兩氏と同樣の運命に逢着するであらう、今次の行動の主謀は馮氏であると謂はれるが事實か何うかは判らない、中央は對戰の準備は出來た故心配はない、吳稚暉氏も北上する樣な話であるが未だ何時來るか決定を見ない

極東銀行の貸金回收 捗々しくない

【ハルビン發】ダリバンクの事務繼承に對する支那側官憲の干渉があつたが、整理委員として殘留した行員は全部事變前に事務所を設けて回收に努めつゝあり、支那側市政局及行政長官公署の布達は事務所を移轉してから整理委員のもとに通達された程度で官憲として最初の如く强硬の態度を稍緩和して來た傾向である、尤も貸出金約百四十餘萬元中一割乃至一割五分は整理員の手で回收されたが、支商一般事實上不況のため支拂不能のため一時ダリバンクとしても積極的に回收することをしない方針を採つてゐる、ドイツ銀行支店開設は目下の處見込なくシユルツ支配人がダリバンクの引繼事務をみてゐる程度である、因にベルフダリバンク支配人は十九日モスクワに到着したとの電報があつた

南行輸送取扱

【ハルビン發】浦鹽向け特產輸送不通のため東鐵にては南行輸送の便を一般特產商に計るため阿什河、烏吉密、一面坡、海林、穆陵等を混合保管制度聯絡取扱驛に指定した

東行線の輸送不能で大手筋の競爭 本年の北滿特產界

【ハルビン發】露支紛爭のために輸入商は勿論のこと輸出商も亦大部分は相當の影響を受けてゐるが東行線の輸送不能で今後は全部特產物は南行線を選ばねばならぬ、其れがため歐洲方面への取引關係を有するシビリスキー、ワツサルドカパルキン等の大手筋外商と三井、三菱、日淸製油等の邦商は南行線による取引に就いていづれも作戰をめぐらしてゐるが、本年度の特產界は其等大手筋の競爭で小中特產商の活躍は絕對不可能であらうと悲觀されてゐる、且つ銀行筋に於ても小中特產商に對しては手控へる意嚮であるから支那側官商と外商大手筋の商內に總ては掌握されるであらうと

近く東北大學で義勇軍組織 武器の發給方を申請し 國境に出動する

【奉天發】既報の如く東北大學では文理科の學生五百名を以て義勇軍を組織することゝなり劉風竹教授は張司令長官に對し衣服銃器等の發給方を申請中の處學良氏は被服、兵工兩廠に發給方を命じたので近く義勇軍を編成し國境に向ふ筈であると

哈大洋新票の交換期を延期

【ハルビン發】ハルビン大洋票の舊紙幣は九月廿日から十二月廿日までに全部新幣と交換することゝなり支那側銀行では行員により每日交換をして一千六百八十萬元以上の舊紙幣は豫定の期日內に引換へることは至難であるため十[illegible]後に於ても交換に應づることゝしたと

吉田野田兩巡查遭難義捐金

○兩巡查官義捐金 [illegible]

南征雜錄（13）

難波勝治

モビル

土地の案內記にはモビルを頗る風景の好い所のやうに吹聽してあるが、前に述べた通り川も濁も土砂の爲に濁濁して居り、附近は一體に砂地で綠樹青草も餘り鬱々しく見へぬ、併し氣候は頗る緩和で水質も亦清冽である、過去五十年間の測候表によれば、一年のうち晴天二百七十日、曇天九十五日であるが、一昨年度の日照時二千八百六十五時間、一インチ乃至百インチの降雨日數九十日であつた、そうへ溫度は一年平均六十七度四分、冬期は二十三度乃至七十七度、氷點以下に降つたのは僅かに十二日だつたそうである、斯うした氣候風土は自から代々の各國植民をして、此地を開拓の中心たらしめたのであらうが、それだけモビルは當時の遺跡と傳說とに富んで居る、最も古い家屋は一千八百四年に建られた三階のホテルで、一千八百二十五年ラファエット訪問の際その宿泊所に宛られたそうだが、更に創設以來百餘年の歷史を有するモビル、レヂスターが一昨年まで其處を營業所として居たのも面白い、ローヤル街とチャーチ街との北角にある市廳は、一千七百十一年佛國人の建築したルイデ・ラ・モビル城砦の跡を利用した者で、廳舍の竣工したのは一千八百五十三年、當時米國南方諸州に於ける最美の建築物中に數へられた、感慨深く覺ゆるのはスコット街附近の舊い墓地で、其處には佛國から漂流されたボナパルト黨や、革命の憂き目から逃げ出した植民たちの古塚が、累々として在りその昔を語り顏であるが、君國の爲に植民發展論を唱へ來つた私には、殊にそれが感慨な或る敎訓を摘み込まれるやうに感ぜられた、又米國各地の都市に能く見る奴隸賣買の遺趾もあるが、首枷をはめた人間の貨物が最初モビルに輸入されたのは一千七百二十一年であつた、當時の相場は一頭百七十三弗だつたそうだが、斯うした慘虐な賣買行爲が一千八百五十九年まで百三十八年間繼續された事は、永く米國植民史上に大なる汚點を遺す者だと評し得る、この奴隸制度の存在に依つて思ひ合すのは合衆國近時の黑人問題である、既に一千百萬を超過する黑人とその富力智力の進步とは、同國白人の間に絕えず憂慮される事項の一であるが、彼等を從來の如く政治的に繫縛して而も社會的に蔑視する事が、果して國家永久の安全策であるかどうかは疑問である、現に米國近時に於ける繁榮は勞働者の財的位置を一般に向上せしめたが、幾んど下級勞働に限られた黑人にも餘澤を及ぼし、その智識進步と共に自覺心をも高め、最早無智で放縱で貯蓄心のない低級種族でなくなつた、隨つて若し白人にして依然當時の極端な差別待遇を持續するならば、彼等の之に對する不平を一層熾烈ならしめるのみならず、益々その社交上の低級生活より生ずる財的餘力を增させる結果となる、現にこの傾向は各種の方面に現はれ、白人よりも安易な生活を營み且つ潛勢力を有する者が多い、ローマの衰運に乘じてそれに代つた勢力が、曾て人が蔑視した奴隸階級であつたやうに、何れの日にか白黑の位置を改める時が來ないとは誰が得やう、それかあらぬか最近の米國一般に黑人に對する態度は漸次改善されてはあるが[illegible]て居るやうに見える、之は合衆國內の現象のみでなく、アフリカを視察した白人旅行者が彼地に於ける黑人の底力ある狀態を見て、「アフリカは黑人の天地なり」と公言するやうになつたが、之は蓋しアフリカの黑人數に匹敵する大衆たる米國識者の深く考慮すべき事件であらう

滿日地方版

撫順

永安橋の改修 鐵橋を架設
總經費十四萬五千圓を日支で折半負擔

撫順驛とその背後地たる前甸、章黨、營盤及び興京、通化、桓仁各縣との唯一の通路たる永安橋改修は日支兩住民の多年の熱望であつたが中國當局と滿鐵との誠意ある諒解なり同橋九連三百米突總經費十四萬五千圓を投じて日華双方經費を折半し改修愈々なり本年末か、明春早々現在の木橋に替ふるに一大鐵橋が架設され事に決定した（同時將來は十九萬圓を投じて理想的にする）同橋は廣漠たる背後地年額〻萬噸の特産を撫順驛へ搬出する上に於て且つ奥地中國住民に日常必需品を供給する上に於て尚又中國官憲の行政上の諸問題を圓滑ならしむる上に於ても緊要改修を要する重要な橋であるが數年前より腐朽甚だしき上昨年北岸の橋桁濫落後本年亦過般の洪水の爲兩岸及中央部の橋桁流失し人馬共に全く交通不能に陷り現在は僅に下流の舟便に依る外なき狀態で日支通行者の困難はその極に達してゐる尚出廻りの車馬は下流淺瀬を選び渡渉しつゝあるも出水の時は全然車馬杜絶するのみならず旱天續きの時さへ水深車軸を沒し積載貨物は浸水の危險あり是亦危險狀態にある、一面撫順より撫順城、濫海線等に到る中國人は一日平均三千人以上に達し撫順經由滿鐵線を利用する中國大衆の不便は甚しく大なるものがある、是を三年度の統計の示す處に依ると撫順下車同橋下流渉便に依り背後地へ移動せる中國勞働者のみ三萬〇二百四十九名の多數に達し現在の如きは僅か距離の渡船片道金票十錢を要し中國大衆の受くる打擊一年間を通ず……

官民一致遼寧省當局を動かし日支提攜同橋改修問題の促進を計れに は近來の英斷で滿鐵亦是と協力撫順縣下の多年の重大懸案の事實上解決の機運に向ひたるは日支親善のよりよき楔となるものと撫順縣下は勿論奥地多數の日支兩住民は歡喜してゐる

社會課主催の 蔬菜品評會
入賞者五十三名

滿鐵社會課主催蔬菜品評會は十九二十日の兩日出品者の便宜を圖り特に新屯俱樂部に於て開催されたが、出品十七種二百七十點近來にない多數に上り柳町農林係主任、飯島氏外係員數氏の嚴密なる審査の結果一等六、二等九、三等十九四等十九、計五十三名の入賞した△一等賞（大根）新屯伊藤正（白菜）同中野たけ（人參）新屯春原廣二（同）同湯下留藏（キヤベツ）莊野卯三郎（ネギ）同増淵釜吉△……

……池口晉七の各氏にして二十日午後二時より褒賞授與式あり一、二、三等入賞者は賞狀及獎勵金一封、四等は褒狀を授與された

馬賊團と巡警交戰
副頭目を逮捕

二十日午後三時半頃河金溝炭坑東方金溝部落に優勢なる馬賊團現は……

頻々として電線盗難
犯人一名逮捕

十九日午後九時……何者にか竊取された……

後半戰に振ひ撫順軍勝つ
對教專ラ式蹴球戰

十七日午後一時より永安臺蹴球場に於て奉天教專對撫順のラグビー戰が行はれたが折柄の肌寒き晩秋の風に曝されつゝ肉彈相うつの白熱戰が演ぜられ教專の攻擊素晴らしく且つキツクに巧に撫軍危ふしと見えたが撫軍前半ミス續出に反し後半は斷然教專を壓迫遂に六對三にて撫軍捷つ閉戰二時、兩軍のメンバー次の如し

教專　島岡崎山田口沼尾田野田島田野原　小山山森和江飯廣岩前古輪宮光宮

FW　HB　TB　FB

村泉見木戶　田村賀崎野川葉下　川今人佐瀨幸山松古宮西赤稻溪山

撫順

自動車と電車衝突
大和公園前で

十七日午前八時十八分大和公園電車停留場橫踏切で市內愛輪タクシーの自動車が通行中製油工場方面から來た電車と正面衝突をやり自動車は二間程ぶつ飛ばされ再び使用に耐へない位滅茶々々になつたが幸ひ怪我人はない過失は双方にあるらしく目下調査中

ハーモニカ演奏會

撫順ハーモニカ研究會のリーダー撫順醫院の五十嵐稔氏の骨折で二十二日午後七時より實業協會に安東ハーモニカ研究會と撫順同志との大演奏會が擧行される、同好者……

京城

運合會社創立發起人會開催
創立委員廿名を擧げ具體的に準備をすゝめる

運合會社創立發起人會は既報の如く十九日午後四時より鐵道局食堂に於て開催、銓衡委員十名に依り左記二十名の創立委員を擧げ、臨席の中野通運社長、平出國運常務挨拶を述べ直に懇親會に移つたが的準備を進める豫定である

△創立委員　立石、中村、河合、星野、竹井、姜昌熙（京城）太田吉田（仁川）白垣（釜山）金晃周、房宗（平壤）友永（清津）永井（新義州）本岡、洪鍾熙（元山）村尾（太田）松本（全州）李英煥（開城）林南豪（新北青）照住（東京）

哈爾賓

司法官會議へ
兩氏が出席

……

吉林

九月中吉林驛乘降旅客總數

九月中に於ける吉林驛吉長、吉敦兩鐵路乘降旅客數は次の如くである

▲吉長鐵道	
乘車數	二〇、六八七人
降車數	二一、五六七人
▲吉敦鐵道	
乘車數	一〇、九六六人
降車數	九、〇四九人

木材發送數量
五百二十九車

九月中に於ける吉林驛發送木材數量は左の如くである

種類	南滿連絡	吉長打切
角材	一三四車	三車
製材	五七	五
元木	一九	一三
楊木	一	六、五
棺材	一	二六
其他	五	三三
合計	二一七車	九六、五車

尚吉敦發の中繼木材數量は次の如くである

種類	連絡	打切
製材	八四車	四六車
元木	一三	七一
枕木	二八	二五五
其他	七	二五
合計	一三二車	三九七車

教育廳が教材蒐集
中央の命令で

吉林省政府教育廳は今回中央政府教育部から中小學校及び民衆學校に用ゆべき教科書材料の蒐集並に現在使用の中小學校、民衆學校教科書に對する意見と批判を徵求し來つたので右に關し管內各縣に通達した由

奉天

奉天警察署の盛大な移廳式
約六百名の多數出席 美形連の餘興が賑ふ

奉天警察署の移廳式は既報の如く廿日午前十一時半から新廳舍內庭の式場に於て擧行された出席者は關東廳から日下文書課長、和田保安課長、竹內土木課長、三浦外事課長、藤田學務課長、臼井技師、沿線から各地警察署長、その他諸名士、奉天では森島領事、太田地方事務所長、鹽尻地方委員議長、野原郵便局長、支那側から白公安管理處長その他官民約六百名に及び一同着席後立川警視の開會の辭に次で工事報告、乾署長の式辭、日下文書課長の關東長官告辭代讀あり來賓側森島總領事代理の祝辭及び太田地方事務所長、白全省公安管理處長、西尾居留民會長代理、省會公安局長、鹽尻地方委員議長、附屬地商務會長等の祝辭あり立川警視の兒玉朝鮮總督府政務總監、鳥取縣知事外卅八通に上る祝電の朗讀、乾署長の挨拶について直に宴に移つた、柳房美妓連は勿論平康里からも總出の酒間斡旋に歡を盡し一方當日を祝賀すべく日常から眞心こめて猛練習をしてゐた柳房料理店金龍館から乘合船、梓山から菊と紅葉、金龍亭から松島、柳町からつばめ會の清元老松等の催しに一層興味を添へ當日は聊か寒氣を覺えたが最後まで盛會を極め午後三時頃終了した猶新廳舍樓上には警察に關係ある參考品及び奉日社出品の新聞製作模樣その他參考品等が陳列され參觀者に多大の興味をそゝつてゐたが廿一、二の兩日は午後四時まで一般の參觀に供することゝなつてゐる

競馬會の新記錄
賣上八萬餘圓

本年掉尾の奉天競馬會は既報の如く十九日を以て終了したが今回は出馬頭數多數に上り且又六日間の最初の試みに非常な人氣を集め觀客多く從つて投票券の總賣上高實に八萬六千七百餘圓に達し競馬會開催以來の新記錄を作つた

一、臨抽優勝カップ　馬主大崎侃爾氏　馬名大行
一、新古呼特別レース　同白石和隆　同雅美
一、秋抽　同安達郁　同叶
一、古抽　同藤守次　同桂
一、古驅　同エフレモフ　同パンコウ

出口氏歡迎會

大本教主出口王仁三郎氏の歡迎晚餐會は十九日午後六時から洞庭春に於て開かれたが大本教並に世界紅卍字會東北分會員その他相會する者百七十餘名で盛會を極めた猶同氏は豫定を變更し廿一日朝長春へ向つた

瀋陽駄話

日獨支三國選手の陸上競技は廿日芽出度無事終了した▲元來〻この計畫は本年早々から唱へられてゐたものでその當時は果して實現するかどうかとまで怪しまれてゐた▲しかしその間幾多の紆餘曲折を經て兎に角奉天で開催された事は確に滿洲における歷史的記錄を作つた譯である▲ドイツ選手にとつてはその方法が幼稚であるかも知れぬがスポーツ熱が世界に高潮してゐる秋かゝる世界的競技を奉天で催した事は獨り獨逸ばかりでなく日本と密接な關係ある中國側に於てもどれだけの國際的收穫があつたかも知れぬ▲此程の日支佛競技今回の日獨支競技更に何々と今後も引續いて行はれるやうにならうが單に體育上の競技としてのみ見るよりも國際親善人類和平として觀ればその競技たるや非常に深刻な意義を有するものでなければならぬ▲奉天にも北陵に大運動場附屬地にも國際運動場が設置さるれば將來かうした機會は逐年增して來ることは必然的で殊に日支親善を進める意味に於ても非常に喜ばしいことである

人事

▲寺內守備隊司令官　廿日朝大連より來奉同日公主嶺へ
▲村田步兵第三十三聯隊長　廿日四平街へ
▲日下關東廳文書課長　二十日來奉同日歸連
▲和田同保安課長　同上
▲齋藤滿鐵理事　十九日長春へ
▲三浦外事課長　十九日來奉ヤマトホテル
▲清水齊々哈爾領事夫妻　十九日長春より來奉
▲ローワエル氏（カナダ代表）二十日急行にて京城へ
▲フリワツ氏（米國鐵道協會書記長）二十日撫順往復同夜赴連
▲チエンバーレン氏（米國代表）二十日大連より過奉京城へ
▲周四洮鐵路局長　十九日四平街より來奉
▲太原本社營業局長　二十日奉天往復
▲草場本社安東支局長　二十日朝長春より來奉同日歸安

開原

童話講演會

兒童慰問のため滿鐵の招聘せる童話界に名聲高き水谷まさる氏は來る二十九日十一時五十四分特急にて來開し午後一時より小學校に於て兒童のため童話あり午後六時半よりは公會堂に於て一般の爲めに講演をなすと

ハーモニカ演奏會

兒童デーハーモニカ演奏會は社會係主催にて來る二十六日午後六時より開原小學校講堂に於て開催し奉天教專ハーモニカ團の出演あり舞踊等も上演すると

貔子窩

軍司令官巡視

畑軍司令官は十九日午後一時普蘭店經由來貔製紙會社武田農園城子疃等を視察常盤旅館に一泊二十日午前八時貔子窩發列車にて歸途についた

庭球納會開催

愈々訪れる北風に終りを告げんとする當地庭球界も二十日の日曜日を卜し納會を公園コートに於て催した

上地氏講演會

滿洲修養團聯合支部の招聘に依り來滿せる上地氏は十九日十二時着列車にて來貔同日午後より公會堂に於て修養に關する講演をなした

遼陽

酒井家不幸

當小學校訓導酒井佐市氏は嚴父危篤の報に接し去る十二日出發歸國したが遂に藥石効を奏せず十八日午前十時福井市老松町の自宅に於て永眠した葬儀は二十一日營む旨の電報が有つたと

九月中の金融狀況
閑散裡に越月

特產物は農家が秋作收穫の繁忙期なれば新穀の市場に出廻り來るもの極めて僅少にして其の大部分を占め居る高粱も漸く當地消費額を滿たすに過ぎず何れも品薄の爲め相場は產地高にて大連方面との取引行はれざるを以て市場は未だ活氣を呈するに至らず商況極めて閑散であつた

綿絲布は本月は農繁期にて田舍の出市するもの少なく綿布は特に賣行不良を極めたる爲め城內家庭工業の一たる小規模機房の休業者を出すに至り他面銀、三品等の材料連日不味を辿りたるを以て商況一層不振を極め閑散裡に越月した

錢鈔は奉票現物相場は前月末六八九〇元を唱へたるが九日には六四二〇元迄昂騰したり然るに何等持續力なく直に反落を辿り廿一日には遂に七、〇八〇元となり其の後は餘り變動なく月末七、〇四〇元を唱へ越月した

一般市況は叙上の如く商勢不振なりしを以て資金の需要尠く輸入高燒酎製造業者間に於て多少資金需要ありたるが如きも金融界は依然閑散であつた

鞍山

祭日を期し國旗掲揚を督勵
實業青年團の活動

益々結束を堅くし凡ゆる方面に奉仕的事業の進展を見んとして居る鞍山實業青年團では去る十二日の定例役員會に於て各祭日に國旗掲揚者の尠きを遺憾とし之れが國旗觀念の涵養と掲揚方獎勵に關する件を決議し其の第一回を神嘗祭當日の十七日に實行した、先づ團の幹部は早朝から起き出で六時から七時までの間に於て「今日は神嘗祭忘れず國旗を樹てませう」の刷物を軒別に配布し猶夫れ以後の未掲揚者を發見した場合には更に注意を促す等徹底的獎勵に努めた結果町民をして大いに感動せしめ未だ國旗を備へて居ない者で當日購入した者も尠くなく雜貨店では旗竿や金玉が不足で註文に應じ切れなかつたとの事であるが當日町側の國旗掲揚は非常に多く見受けられたが猶青年團に於ては今後引續き是が獎勵に努力し且つ今回の好成績に鑑みて滿鐵の社宅方面へも同樣獎勵する筈であると

神社祭典に參拜者少し
敬神觀念に乏し

鞍山神社では各祭日毎に各方面へ對し式に參列方を案內狀を發して居るが何時も參列者は極めて少數で如何に敬神の觀念に乏しきかを如實に物語り日本國民として實に嘆かはしい次第であるが十七日執行せられた神嘗祭の遙拜式當日は神社では勿論實業青年團に於ても各戶に刷物を配布して參拜方を慫慂したが參列者は僅かに井上郵便局長、石川地方委員副議長、伊藤地方係長、中木保安係主任、矢澤中學校長、堀區長、石櫃庶務課長稻田青年團長同團員四名、外二名等の十四名に過ぎなかつたが參列の某氏は語る

各祭日の式典及遙拜式に參列者の影の薄ひとは常に痛嘆して居る處で市民民子の冷淡さ加減には只呆然たるの外はない、勿論事故其他の事情によつて參拜されざる場合もある事だらうが月に一度あるかないかの祭事であれば萬障を繰合してゞも參拜するのが神國を以つて誇る日本國民の務めではあるまいか、此處に贅言の要はないが祭日には有志は言はずもがな一般氏子多數の參列を欲すると共に吾等在住民の守護神である鞍山神社に今少し敬神觀念の涵養に努められん事を熱望する者である

小學校創立記念祝賀
明治節に擧行

鞍山小學校の創立十周年記念祝賀會は來る十一月三日の明治節を卜して盛大に擧行さるべく既に各委員も決定して夫れ〴〵準備中であるが當日の重なる催しは左の如くである

△記念式　午前十時半から講堂に於て擧行、日向校長の訓話、勅語捧讀、來賓祝辭、校歌合唱
△祝菓子頒布　父兄會から全校兒童約八百名に分與
△職員表彰式　表彰者は同校開設以來十年間教育に精勵した梶川訓導一名
△兒童作品展覽會　全校兒童の作品及各國兒童の作品を一般の展覽に供す
△バザー　家政女生及高等科女生の手藝品を陳列して一般に即賣
△祝賀宴　官民有志數十名を招待する
△音樂會　三日夜兒童の記念音樂會を催し一般に開放

猶右の外に種々な催しが計畫されて居る由であれば當日は定めし盛況を呈するであらう

中日懇談會

鞍山驛では恒例に依り來る十一月一日正午より附近部落の各村長其他有志を招待し中華飯店に於て中日懇談會を開催し列車運轉、貨物盜難の事故防止等鐵道に關する智識の普及に努めると

防火演習繰上
本日擧行する

既報二十三日の防火宣傳は二十二日に繰上げられ午後一時から行はれる事となつたが、市中一巡の後消防隊別室に於て慰勞の宴を催すと猶當日は模擬火災演習もある筈

池坊生花大會

華道家元池坊では今回鞍山に橘會支部を新設する事となり二十二日午前十一時から實業會堂に於て發會式を兼ね生花大會を開催する由で當日は目下來滿中の家元宗匠代理塚本松溪氏も臨場すると猶支部長には矢野まい氏が推薦された

市井雜俎

十七日千山探勝團を主催して成功して製鐵所鐵魂では來る二十七日の日曜を利用し鳳凰山の紅葉狩りを催す事となつたが出發は二十六日午後六時半齒府は二十七日午……

瓦房店

荷馬車道指定さる

從來瓦房店市街道路は御積牛馬車の通行を制限せなかつたが、近來田舍より搬出する穀類其他物資は著るしく多くなり隨つて道路を破壞するので地方事務所にては警察と協議の上衞生作業又は轉宅の場合に使用する牛馬車の外承認を受くるにあらざれば左記道路以外は通行を禁ずる事となつた

一、石丸果樹園附近より青葉街を經て東、西復州大街に至る間
一、同く機關區南方より公學堂裏を經て財神街に出て復州大街廣場と屠獸場に至る間
一、驛前より火葬場に至る間及金關店より東復州大街に出づる間と同じく學校前に出て敷島街に至る間

露店營業所

附屬地衞生取締上の必要より地方事務所にては中和街と福德街の一部道路の兩側を露店營業所に指定し相當料金を徵する事となつたが十一月一日より實施すると

營口

營口醫院の落成披露
廿日盛大に

建築費三十六萬圓を投じたる營口醫院新築落成披露宴は二十日午前十二時から開會されたるが多數の來會者は開宴前醫員及事務員に案內されて院內の各室及設備等につき一々詳細なる說明を得、設計其他が何れも最新式の樣式に依て構造されて居るので完全無缺且つ至便で寧ろホテルにしたきほどの整備である一同食卓に着くや前田院長は營口醫院の前身たる同仁醫院を引繼ぎたる歷史及新醫院の設計設備及特色等につき詳細なる說明をなし挨拶にかへ之に對する荒川領事の謝辭あり開宴中はたへ〴〵……

安東

新義州で大電球を點燈する

新義州電氣株式會社ではトーマスエヂソンが一八七九年十月二十一日白熱電球を完成してより本年は丁度五十年目に相當するを以て此の記念日の催しとして今度アメリカから日本にタツタ五十個輸入して來た素晴らしく大きな一萬燭光と言ふ電球を購入して府內眞砂通京屋旅館の四つ角に特に塔を建て點火する事に決定し當日點火したが此の大電球は朝鮮に於て京城と新義州のみであると

浮浪鮮人救濟

安東朝鮮人會では在留朝鮮人の勢の美風を涵養するのと浮浪者の朝鮮人に正業を授ける爲め大道溝にある六萬坪の滿鐵所有……

憲兵隊の檢閲

二宮關東憲兵隊長は營口憲兵分遣所定期檢閲の爲二十一日午前九時四十五分來營午後三時二十五分にて離營した

鐵都夜譚

近頃局の姫達が不親切だとの聲を此處彼處で聞く十九日の宵永樂町に強盜被害事件が突發した際某が警察に急報すべく馬賊々々と言つて呼出し方を求めたが唯話中とのみで接續せなかつたとの事非常時に於てすら斯くの如きで實に困つたものだと當局では憤慨して居た▲昨今鐵西市場內の支那旅館で媾曳をする不義の日本人が居るとか何んでも女は滿鐵病院の附添婦だとのこと……

後十時半であると

◇

山陽時報社主催の滿鮮視察團の一行は近く來鞍製鐵所を視察する豫定

◇

楠田氏は二十一日正午から製鐵所講堂に於て從事員の爲め獨逸見聞講話をなした

◇

鞍山園藝會では近く菊花展覽會を催すべく計畫中であると

蛙鳴集
奉天醫大助教授　辻忠治(?)

三、予は李逵を愛す

……大きな肉を割いて食つた。其中宋江が潯陽の魚を食つて見たいと言ひ出したので、李逵はよしとばかり跳出す。江岸に繋いであつた漁船を片端からあさつて、宋江のため大きなのを持ち歸らうとするが根が智慧のない李逵、いけすの口を開けて魚を皆逐がしてしまう。承知出來ないのは船頭達、各々櫂を取つて闘ふも到底李逵の敵ならず、丁度其時張順と云ふもの、上手からやつて來て李逵を誘ひ出し船を覆へして水中で戰ふ。陸ならばこそ李逵は雙斧の達人であるが好漢水に熟せず、浮んでは沈み、沈んでは浮み、カッパのやうな張順のため散々な目に遭はされる。

傳記語つて

李逵罵、那人在水裏揪扯、浸得眼白、又提起來又納下去、老大吃虧。

と。牛のやうな男がアップ〳〵水を呑んで苦む樣を船頭等は氣持よく眺めたことであらう。其中に宋江戴宗が追つかけて來て仲直りをさせる。間もなく宋江が潯陽樓の壁に、反詩を書いて捕はれの身となり、知府蔡九の命により、市曹に斬られんとした時、茶店の二階から跳び下りて來て、一番に劊手の首を刎ね、之を助けたのは此李逵であつた。此時蔡九の追手を引受け、雙斧を振つて敵を斬ること數知れず、黑旋風の面目躍如たり。

斯くて李逵は何時の戰にも、步軍の先鋒として武名を轟かしたが其反面又涙ぽい、やさしい點を忘れることは出來ない。或日公孫勝一淸先生が山を辭して故鄕に老母を省みることになり、宋江以下の見送りを受け金沙灘に下つた。此時急に泣き出したものがあるので驚いて見るとそれは李逵であつた何事かと思ふと、

這個也去取爺、那個也去望娘、偏鐵牛是土掘坑裏鑽出來的、我只有一個老娘在家裏、我的哥々又在別人家做長工、如何養得我娘快樂、我要去取他來這這裏、快樂幾時也好。

と言ふではないか。是があの亂暴な鐵牛の口から出た言葉であるかと思ふと一層嬉しい。

漸くにして宋江の許しを得、歸省の途に上り、故鄕沂州界に達した頃、大勢の人が切りと路傍の制札を見て居る。目に一丁字なき彼其處に立つてボンヤリ眺め入つて居る。札に曰く

第一名正賊宋江係鄆城縣人、第二名從賊戴宗係江州兩院押獄、第三名從賊李逵係沂州水縣人。

と、危ういかな、幸ひ同志の朱貴のために助けられるが此處にも彼の無智が窺はれる。斯くて行く程に、松並樹の蔭から兩手に斧を持つて、顏に墨した大の男が現れ出で、我こそ天下の黑旋風なり、命が惜くば金を置いて行けと言ふ。然り心頭に發して直に此賊を斬る。本當の黑旋風一寸面を食つた。抑ても李逵家に歸り、目の見えない母を、かつ浚ふやうにして背に乘せ、夜道を急ぐ程に、とある嶺の上で母のために水を求めんと、山嶺を下る間に不幸母は虎に食はれる。年とつた母を梁山泊に連れて行き、折角樂しい思ひをさせようと、此處まで努力したのも水の泡、恨み骨髓に達して母子の虎を退治する。虎の穴に隱れて居て、それとも知らず尻込み這入る此虎の尻に、柄も通れと山刀を刺通し之を殺す。黑旋風としてありさうなことである。

數年後宋江が公孫勝先生を迎へるため、戴宗を薊州に派する時、李逵は其隨行を志願した。一體戴宗は神行法を能くし甲馬を足に着けると日に八百里を行くとあり。元來此神行法は葷菜を禁ずるのであるが、李逵の同行を辯つたのであるがたつての願に遂に之を許すことになつた。最初の間は李逵も神妙にして居たが、二三日經つともう我慢が出來ず、戴宗に隱れて肉を食つた。戴宗之を知つて一つ戒めてやらんと終日甲馬を解かず、ひた走りに走る。李逵腹が減つても飯を食ふことが出來ない。飯やに跳び込むことが出來ないのだ……

第四回 滿日勝繼碁戰（湯淺氏一回）（第二回目）

先相先先番　宮武嘉三太氏　湯淺唯二氏

●六一チの七　○六二への八
●六五トの十　○六六トの八粘く
●六九チの十四　○七〇ヌの十四
●七三リの十四　○七四への十六
●七七への十四　○七八チの十二

▲國崎四段講評　黑五一以下六七まで損失多大にして黑の大石を烈しく攻め立つれば白七〇大に惡し七一に切斷して局勢忽ち白に歸せり白七四亦惡し無論（い）に連絡を絕たざる可らず

●六三チの十　○六四トの九
●六七リの十二　○六八ルの十二
●七一トの十四　○七二への十七
●七五ホの十五　○七六ヌの十三
●七九リの十三　○八〇ホの十四

易々勝勢白に確定しならん白七四……

良い醤油は
キッコータツ
大連市伊勢町
丸辰醤油會社
すき燒シーズン來る
涼風肌をかすめて、氣もさわやかな時候となりました。
皆さんお待ちかねの　弊店特獨の鳥、牛肉すき燒　を始めました。鳥、牛肉販賣店を兼營して優秀新鮮なる材料を提供するは全然他に眞似の出來ない處、もしそれ　がん、も田しぎの類に至っては、主人自慢の遊獵みやげ、新鮮で、盛澤山で安いのは、お客の都合は上々だが、商賣にはなるまい、とはお客の噂話、各種宴會、懇親會等にぜひ御利用を
(出前迅速)(深夜不關)
浪速町交番ト　ナニブラお休み處　サクラカフエー
電話　八九一六、五八〇四
貴金屬製作には
浪速町一ノ一五電話三七二八
大村洋行へ
蜂ブドー酒
談笑
しきりに湧いて時の移るを知らず
此間話題をとりもつ蜂ブドー酒の一杯ありて興趣さらに一段!
近藤利兵衛商店
頭ハッキリ腕テキパキと　ノーシンのむ人出世する
肺結核患者の滋養兼治療補助劑
グアヤコール　ポリタミン
肺結核の治療上榮養劑の必要なるは周知の所なり。グアヤコールポリタミンは、最も價値ある補血滋養强壯劑ポリタミンに肺結核治療藥として特効あるグアヤコール化合體を配し、榮養と藥物の兩作用を兼備せしむ。尙ほ食慾增進作用をも有す。肺結核療法上最も有力なる治療補助劑なり。
全國藥店にあり
LIQUID POLYTAMIN
發賣元　大連市　武田長兵衛商店
製造元　大阪市　大五製藥株式會社
29—901 (D)
眼科
馬場醫院
ドクトル馬場庄江
飲めばすぐ效く
昭和胃腸藥
昭和の一服藥
製品
鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置
鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類
本店　大連市沙河口臺山町
電話　(代表共通番號)九一五一番　(夜間及長距離)九一五二番
株式會社　大連機械製作所
支店並分工場　奉天西塔大街三丁目　電話二二〇三番
要目
汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯
大連市三河町二番地
日下齒科醫院
電話三三六七
男子一代の恥辱!
生殖機能衰弱を復活せよ
トツカピン
ラヂオ用、通信用トシテ最モ高評ナ
高砂工業會社製
日本乾電池
多數入荷
御一報次第型録進呈可仕候
鮮滿總代理店
株式會社　進和商會
電話長八一二九番
新涼ご寢冷え
食傷による下痢と腹痛に
所謂お腹の掃除に
糖衣　アドース錠
藤澤友吉商店
品質本位
花王石鹸
東洋第一の大工場から—
わが國石鹼工業の主流となって流れ出る花王は、幾千萬大衆の手で毎日泡と化します。この大がゝりな實地試驗の結果が愈白熱的御愛用!
正にこれ擧國民連署の折紙つき!!
花王石鹸

コドモページ

童話 樂園の破壊者(中)

近藤義長

それは鳩達のいふ「惡い人」が現はれたのでした。確にこれは強敵です。而も突然だつたので鳩達の驚きはそれはく大變なものでした。

「鳩の肉は本當においしい、今日は一つ鳩狩りをやるのだよ」

さう云つて一人の若い會社員風の人が空氣銃を下げて、面白さうに飛交ふ鳩達を眺めてゐました。

「でも君こんな可愛い鳩を殺すのは何だか可哀さうぢやないか」

と一緒について來た人はさう云ひながら空氣銃と鳩を見較べると相手は「フヽン」と鼻の先きで笑つて答へるのでした。

「何君、こんな奴には生も死もないのさ、生きてゐる間はそりや面白さうにも見えるがさて死んだとて何でもないのだ。こんな奴が可哀さうで銃は持てないよハヽヽ」

「でも生きてゐる以上、鳩だつて出來るだけ生き度いと云ふ氣持のあるとは人間と同じことさ、君だつてさう云ふ考へはあるだろう」

「何に云つてゐるのさ。人間とこんな奴と一緒にされてたまるものかネ」

「いや何も一緒にすると云ふのではないよ、ただその氣持ちを云ふのさ」

「大丈夫、鳩なんかにどんな氣持ちがあつたつてかまふものか、でも肉のうまい事は有難いネ」

その人は鳩達にとつては心強い味方でした。でも相手の人は一向それに耳を傾けもしません。此處で銃を放つてはいけないと云ふ親眼もない以上その人もこれ以上は停めることもできませんでした。

相手の人はその人の言葉をうるさいとでも云ふ樣な顔をして空氣銃に彈をつめるのです。今遊びつかれて歸つて來たばかりの一羽の鳩その鳩は自分に恐ろしい運命の巡つて來てゐるのを知る由もありませんでした。ぴつたりとねらひはその首筋に當てられました。「パッツ……」と云ふその音と共に其の鳩はパタくと苦んで飛び上つたのでしたが間もなく此の高い屋上から眞さかさまに下へ落ちて仕舞ひました。銃を持つた人は急いでそれを拾ひに行くのです。もう一人の人は見てゐられないと云ふ風に顔をそむけるとそのまゝ何處へか行つて仕舞ひました。やがて落ちた鳩を拾つて來た人はその冷たくなつた鳩を其處へ放り出すと銃を片手に、さも誇らしげにあたりを見廻しながら口笛を吹くのでした。

斯うして間もなく五六羽の鳩は同じ樣に冷たくなつてその人の足許に轉がりました。

「もう居ないのかしら」

さう云つてゐる處へ又何も知らない鳩が今度は二羽、きつと身内のものでせう、仲よく手をつないで飾つて來ました。

「あゝ、くたびれたく」

二羽の鳩は恐ろしい死の手が身邊に迫つてゐるのを知らず、さう云つて軒にとまりました

ニドメノ 大チャンノタンケン (124)

ハルミチ作 ジラウ畫

ヤガテ オソロシイ シマノヨルハ シヅカニ アケハナレマシタ。オヂサンノ コヤハ キユウニ カゾクガ フエテ タイヘン ニギヤカニナリマシタ。

ダラスハ キヅノ イタイノモ ワスレテ クダモノヲ トツテキタリ ミヅヲ ハコンダリシテ マメマメシク ハタラキマシタ。

ソノヒハ ソラガ アヤシク クモツテキマシタ。オヂサンハ シキリニ ソトニデテ「カミナリガナルトイイガナア」トソラバカリ ナガメテヰマス。

學校と家庭

教育の本當の姿

熊岳城小學校訓導 柴田亮一

優賞の榮譽は我校に!

各學校がさうした期待をかけてゐる全滿小學校對抗の陸上競技は秋陽うらゝかな奉天のグラウンドで花々しく開かれてゐた。必勝を期するこうした番組を想像しながら快報を待つて居る私たちは氣が氣でなかつた。

「どうです、何か知らせがありましたか」

「いゝえ今頃まで何の知らせもない所を見ると駄目だつたのでせう。しかし下手な負け方はせぬ筈ですが……」

私はこんな會話を町の人々と風呂の中で交しながら、社宅の前まで來た時、自轉車に乘つた支那人の郵便配達が家の前に佇んで居るではないか。私は思はずハッとした。

「五時過に郵便を自轉車で配達して來る筈はない、電報かも知れぬ優勝したのじやないかしら……」

「ニーヤ電報?」

「電報!」

「やつぱり電報だ、若や優勝?」

胸がドキドキする。引つたくるやうにして受取つてみると部厚な電報である、一枚じやないらしい。押し開く。

「ユウショウ……」

「優勝だ、優勝だ」

私はそのまゝ家の中にかけこんだ上り口の六疊の部屋でもう一度電報を見る、

「ユウショウ……」

優勝だ、ほんたうに優勝したのだ

その中私はやつと氣がついた。先づ同僚の宮本君に知らさねばならぬ。選手の父兄、町の方々にも知らさねばならぬ。さう思ひ直してやつと文意を判ずることが出來た。併し妙に心がわくくして其の後が讀めない。何度繰返しても始めのユウショウの五字だけで讀み切れない。黒い字が點々と眼に映るだけである。

「優勝、しかも四十一點といふ、大聯校よりも十七點も飛躍した優勝振りで明日の十二時半に歸校する」

それから家を飛出して宮本君の家に走つた。郵信紙を振りく道で逢ふ人毎に

「優勝しました。うちの學校が」

と叫んで走つた。

宮本君は丁度夕飯の最中であつた。

「オイ、優勝々々」外からどなり込んだ。

「本當かい……」

と大きく叫んで食ひさしの茶碗を投げ出した。

「ウ、、、ンやつたな……」

宮本君は何も言はないで電報を握つたまゝにらんでゐる。感極まつて何も云へないのである。

「おい通知をださう」

二人は外に飛び出した。二人は優勝した、優勝したと叫びながら町を驅けて行く、出あふ人毎に呼びかける。

二人はそれから電話をかけたり通知を出したりして十時過ぎに夕食のテーブルに向つたが、何だか腹が一杯で何も食ひたくない。

しかしそれにつけても忘れられないのは、その日の父兄の方々の心からの歡迎である。お目出度くと心から喜んで下さることは勿論、それ國旗を作りませう、御輿をかついで迎へに出ませう(丁度祭禮)爆竹をやりませう。花輪を贈つたらよい。途中まで出迎へに行きませう。……等の有盡しに感謝せずには居られない。優勝旗を中心として學校に寄せていただいた父兄の方々の熱誠こめた喜び程力強く意義の深いものはなかつた。

あのユニホームで優勝旗を先頭に雄々しく選手の一行が汽車から降りてきた時、全町擧つて出迎へて居た。熊岳城の人といふ人は感激の極泣いてゐた。

私は此處に教育の本當の姿を見た。父兄と教師と兒童とが一つの心で固く握りあつたこの緊縮こそ眞の教育の姿である。こんな意氣込みで一つに力が集つたならどんなことでも出來るだらうと思つた

宿舎

大廣場小學校尋二 柴田正一

大連の町には
宿舎がおほい
赤いレンガの
宿舎やら
クリーム色やら
水色や
ねずみ色やら
いろくの
西洋かんの
宿舎です
ふとい四かくい
えんとつが
どのお家にも
ついてます
僕のせいほどの
青い木の
かきねがたいてい
できてます

國際ジャンボリー 寫眞だより(その四)

大連少年團主事 阿左見生

人氣の集る日本のテント

場所のよかつた關係もありますが、日本人の食事は餘程珍しく感じたと見えて何時も澤山押寄せて大困りをしました。何でも食卓を始め種々の置物などに竹細工が多かつた事と、時々箸をつかつて見せたので一層珍しく思ひ、態々暇を下して茶をのんで行くと云ふ人々もありました

兒童の作品

こうへいちやん

松林小學校二年 森本阿久利

うちのこうへいちやんはかはいゝです、いつでもいつでも、かはいゝこえでものをいひます。私はこうへいちやんがだいすきです。私がかくからからかへつたらニコニコわらひます

教科書全般に亘り 根本的大改正 目下準備中

從來教科書の内容改善に關しては從來教科書調査會或は國語調査會に於て愼重審議の上毎年修正を加へてゐるが、近く教科書全般に亘り根本的大改正をなすことに決定した然し從來の教科書修正の方針は課目全體を通じて一學年一課目修正主義を採用して居り本年修正の準備をなしてゐる主なる課目及び學年は

課目	學年
國語讀本	高等三年
修身	同
算術	同
地理	尋常六年
歴史	高等三年
理科	尋常五年

であつて、今直ちに全課目の大改正をなすことは從來の方針と新方針と混同矛盾を生ずるので、從來の方針で全課目の修正終了をまつて始めて精神教育の擴充國民思想の善導を期する新方針の下に昭和七年度全課目に亘り一齊に大修正を行ふことになり目下その準備中である

コヽ暫くは霞網黨の天下
多くは『ツグミ』を覘つて 毎朝夥しい獲物

◇…胡藤の下葉が散り初めて鳶が色づく頃となると大連では渡り鳥の眞盛りである、神は空飛ぶ小鳥にも生きんがためのいみじくも尊い本能的習性を與へたまふ、シベリア、北滿、南滿と冬季不可抗の凍風が北から北からと漸次暴威を逞しうして地にも空にも胃の腑を滿たすべき餌がなくなると寒さと饑とに追はれるいろ〳〵な小鳥共は群をなして南下し、遼東半島――殊に旅順、大連邊の一角をそれ〴〵最後の羽休め場所として……山東苦力が長途の旅行するやうに……降りたち長い苦い空中旅行の翅休める隙もなく、また朝まだきよりねぐらを飛出して渤海の

◇…波路 遙かに南をさして海を渡る、その可憐な旅行者の朝戸出に、霞網を張つて待つ小鳥とりがナンと大連に數を増したことか、十數年前には今の石本老市長その他三、四名ぐらゐに過ぎず、それも釣魚、銃獵など〻等しく單なる趣味に過ぎなかつたのが、この頃では毎、譚家屯附近一帶の山の峰つゞき、松山臺、中央公園、櫻花臺、南山、寺兒溝等にかけ卅餘名、多い時には四五十名も未明の四時頃から出かけて網を張る、然し獲物は何れも小鳥屋、市場等に卸したり小賣りしたりで商賣にする本職が多い、渡鳥の種類は頗る多いが右の人々が狙ふ獲物は大抵はツグミである

◇…時期 は九月の末頃から十一月の末頃まで〻、十月廿四日頃から十一月三日頃までが例年一番多く渡る、この時期には一と朝に一人で少くも百羽位、多きは四五百羽の獲物を各自が毎朝せしめる、値段は捕獲の數量に反比例するが昨今では卸値一羽六、七錢で小賣値十錢内外といふところ、ツグミ捕は網の張り方の巧拙よりは場所の適否よりは、寧ろ全く囮の良し惡しである、從つて良い囮は一羽百圓、二百圓など一寸想像も及ばぬ高價を稱へられるが、霞網黨は各自

◇…自慢 の囮を持つてゐて値段の如何によらず容易に之を手放さうとはせぬ、良い囮が遙か遠くの大空を渡る同族の大群の聲を人間より早く敏感に聞きつけてまだ明けやらぬ鳴方の空に向つてのどかも裂けよと聲を張つて呼び續ける態は可憐と云ふにも餘りに悲壯である、その憐れな囚はれの同族の高音を聞きつけて呼び寄せられた渡り鳥の大群が急轉直下薄闇の東雲の空から一齊に舞ひ下る羽音の凄じさに、弱い囮は威壓されて鳴く音をやめてしまひ、折角呼寄せた大群を網の外に逸するさうである大連で有名な霞網黨に石本老市長、戸田賀治郎氏等を初めとし芝局、泉の諸氏その他いづれ劣らぬ熱心家多くそれ〴〵自慢の囮と獵場を持つてゐる、この

◇…獵場 の縄張りは却々やかましく、別に許可を受けてゐる譯でもないが、大業に云ふと歷史的先取特權を固く持して動かない春日町の首藤俊雄君の如きはツグミ以外の小鳥專門として十年一日の如く射的場上方の峰を縄張りに網を張り、昨今毎日八反の網で目白、頬白、ヒワ、かしらなど種々な小鳥を二、三百羽づゝ捕獲してゐるさうである

奉天北陵に於る三國競技を終りて

意外の好成績を主催者として感謝
委員長劉風竹氏語る

【奉天特電二十日發】大會委員長劉風竹氏は張學良氏代理として今大會に關し大要左の如く語つた

今回初めて此のやうな國際大會を開き意外の好成績を擧げたことは主催側として眞に感謝する次第で、ドイツ及び日本の世界的選手を迎へた支那はたゞコーチを受けるといふ目的であつた自分達は政治的には何等關係なく眞のスポーツマンとして國際親善を圖りたいと思ふ、支那はこの競技會を好機會として今後度々かくの如き大會を開き自信ある競技を行ひ人類の平和に努めたいと思ふ

最初としては好成績
森田監督語る

日本選手監督森田氏は語る

勿論不十分な點が多かつたが之が國際競技として最初のものであることを考へれば支那としては非常な好成績であつたと思ふ獨逸選手もかなり期待して來た模樣ですが審判などで多少辛抱してゐた、然し奉天では獨逸選手一名を東北大學で雇ひたいと云つてゐる程だから實際自分達としても油斷が出來ない、私達は二十一日撫順を見物し三時三十分發の汽車で獨逸選手と共に歸途に就きます

注目に値する支那選手の發達
監督デイム博士語る

ドイツの選手監督デイム博士は二十日グラウンドで通譯を通じて感想を語る

歐洲文明の立場から見れば支那の文明に多少の見劣りを感ずるやうに運動競技でも歐洲のそれに比べて矢はり見劣りがあつた支那選手にも有望な人がかなりゐるから今後の發達は大いに注目に値する、日本選手に就ては競技會を開く毎にたゞ驚きを增すばかりです、獨逸選手は今度は寒さのため筋肉を傷めた者もあつて十分の働きの出來なかつたことは殘念である

女子選手の自重を望む
人見選手語る

二つの世界記錄を作つた人見選手は語る

滿洲の女子選手の感想といつても一緒に走つてゐるので分りませんがとにかく今後益々自重し努力して欲しいと思ひます、何分今日の競技會が一たいに競技の進行その他兎かくゴタ〳〵とだらしのない氣分であつたのが日獨選手にも自然とその空氣が影響して選手のなかで氣分を削がれた人がかなりに多かつたことはレコードの惡かつた一つの原因でせう

雜觀

【奉天特電二十日發】本競技會は結局一種の運動會に終つたが人見孃の二つの世界新記錄・南部の一つの日本記錄を生んだとは何といつても一番大きな收穫であつた▲併しスタートは常に支那側選手がフライング氣味にやまをかけてスタートし而も支那の審判はそれを態と見逃すかの如くに見えるので、日本選手は皆非常に苦んでゐた、▲女子の高見が思はぬ苦戰をしたのも全くこのためである、又決勝審判では劉と阿部との二、三等の判斷に可なりの疑問があつた▲支那側にはこうした國際大會の經驗がないためか場內整理はゼロとなり、役員は勿論のこと觀衆までがトラック內に入込んで、甚だしいのはフイールドの中を散步してゐるものまであつたのは甚だ遺憾であつたが、結局支那としては運動會の氣分であつたのではあるまいか、兎にかく初めの嚴格な規定を守つてゐた者こそ全く迷惑を蒙つて了つた▲優勝カップ授與に際し人見選手はこれを辭退し結局滿洲の高見選手が全部のカップを貰つたが、人見選手が恥かしさうにカップを貰つた高見選手の肩を輕くうちながら一緒に喜んだ光景は氣持がよかつた▲三國選手及び役員は競技會散會後學良氏招待の晩餐會に出席した

廿日の國際競技
(上)ハードル(右下)南部選手の走巾跳(下中)六十米で人見孃世界記錄を破る(下左)四百米の一着ストルツ選手

觀菊御會へ參列の光榮に
村井大連商議會頭が
滿洲の帶勳無資格者を代表

新宿御苑における觀菊御會は十一月十二三日ごろ執り行はせらるゝと洩れ承るが、滿洲よりも例年の如く有位帶勳の有資格者の上京を見る筈である、しかるに傳へられるところによると本年は滿洲より帶勳者中拜觀の資格なきものゝうちより一名のみ特に拜觀を許さるゝ事となり種々人選の結果、村井商工會議所會頭がこの名譽を擔ふこととなり同氏は來る廿四、五日ごろ朝鮮經由上京榮ある觀菊會に參列する事となつた、右につき當の村井啓太郎氏は語る

とにかく名譽な事です、滿洲から私一人の樣です、私は勳六等を頂いてゐるんですから本當は拜觀の資格はないのですが、資格のない方々中からまあ選ばれた形です、朝鮮の方に所用がありますから二十四、五日頃こちらを出發しようと思つてゐます

尺八と舞踊の演奏會

大連曉風會では滿鐵音樂會講師草崎主山總指揮の下に來る二十五日午後六時から滿鐵協和會館で都山流尺八大演奏會を開催するが當日は舞踊もある筈、尺八と舞踊と一緒にやるのは大連で始めての試みである、なほプログラムは左の通である

一、若葉、二、三の景色、三、秋の調、四、磯千鳥、五、谷間の水車、六、御山獅子、七、楓の花、八、鶴の巣籠、九、秋の曲、十、六段の調、十一(イ)草のはつば、(ロ)珠と鈴、十二、改訂越後獅子、十三、比良、十四、瀧口入道、番外大西名曲「アベネーの悲歌」

食糧問題に光明を與ふ歐洲の大豆研究
◇―滿鐵臨時經濟調査所でも資料につき調査を

食糧問題でやかましい歐洲に於て最近代用食として大豆が大いに注目さるゝに至つたが、ドイツ等では特に科學的に研究され大戰當時砂糖大根、甜菜の研究が食糧缺乏のドイツを非常に助くるところがあつた如く、今後大豆の研究は歐洲現下窮迫せる食糧問題に一光明を與ふるところあらんとまでいはれてゐる、右に就いて埠頭ビルにある滿鐵臨時經濟調査所高橋氏は語る

目下歐洲 で問題となつてゐるのは大豆を粉末としたソーヨルクといふもので、ウイーン大學教授ベチエラー氏の創製により既にロンドンには工場があり製造されてゐる、このソーヨルクは言はゞキナ粉で大豆の蛋白質は動物質蛋白質と營養價値に於て殆んど同樣である事が判明し、且また非常に安價であるので佛國軍需局では戰時用食糧として肉粉の代りに之を用ひ英國海軍々需局にてもソーヨルクを入れてプデイング固麵麭を製造してゐる

保存に便 で當然に當つても腐敗の憂が無く戰時食物としては恰好な物であるが、當所にもその資料及び見本を送つて來たので見本は目下中央試驗所に託し分析中でコチラでは資料に就いて調査して居る、併し從來豆類を餘り食べ無かつた歐米でこそ珍しく論ぜられるが、古來豆類を主要な副食物としてとつてゐる我國ではソーヨルクといへ與すゝにキナ粉であるから寧ろこちらの方が先鞭をつけてゐるわけである、事實從來肉食を攝らぬ

日本人も 豆から充分蛋白質をとつてゐたのである、その他畜の飼料として豆粕と同巧異曲のソイミン等製造されてゐるが、未だこれ等が將來大豆の需要に革命的な變化を齎すには至らない

不具の元船乘り
大連警察署へ泣き込む

原籍石川縣金澤市古道町一〇二前平定雄(三〇)は郷里に親兄弟もなく家もなく又使つて呉れる親戚もないので北海道、カムチヤツカと內地間の就航貨物船吉田丸に貨物人夫として約二ケ年ばかり乘組、約一ケ月前當大連へ來航したが、從來の不具者とて充分に人夫としての働きも出來ないところから給料の支給も受けない狀態とて何か糊口を凌ぐ職にありつきたいと下船し、爾來惠比須町智光院に止宿し就職口――を物色してゐたが不具者とて使つて呉れる人もない上に所持金も餘す處なくなつたので、この上は東京深川に女髮用の賃金櫛細工を營んでゐる知人成田林治を頼つて上京するの外ないと二十一日大連署へ旅費の心配かたを泣き込んだので、大連署でも同情し救濟金の中から金二十圓の旅費を支給し二十二日出帆の定期船で歸還せしめる事にした

刑事と巡捕重傷を負ふ
犯人押送の途中にサイドカーが顚覆して

廿日犯人搜査のため南關嶺に赴いた小崗子警察署のサイドカーが一名の犯人を警乘し午後三時過ぎ急速力で周水子驛近くを疾走歸署の途上トラックと擦違つた拍子に俄然モンドリうつて顚覆しカーは大破したがトラックは異狀なかつた搭乘の犯人は擦過傷を負ふただけであるが、刑事風呂田政三、巡捕王錫財の兩名は虫の息となつてゐるのを急報により大連警察署の自動車で滿鐵醫院に舁ぎ込んだ、呂田氏の負傷は膀胱裂傷に却々の重傷であるが應急手術を施したので生命は取止めるらしい、王巡捕は頭蓋骨折症で生命覺束ない模樣である、此の椿事のため小崗子署では署長初め大勢の同僚が病床に詰め切り容體を氣づかつてゐる

彌生高女生歸連の途に

【天津二十一日發電】茶谷敎諭引率の大連彌生高女旅行團一行十五名は六日間に亘る天津、北平の見學を終へ一同元氣旺盛にて今朝六時出帆の濟通丸に乘船歸連の途についた二十二日正午大連着の豫定である

全滿卓球大會
來る廿七日擧行

滿洲體育協會主催の全滿アマチユアーピンポン大會はいよ〳〵廿七日午前八時三十分より市內敷島町基督敎青年會館にて擧行するに決定したが、參加申込期日は廿六日迄である、なほ參加規定は複雜だから申込み希望者は一應體育堂に問合はされたいと

日本空輸大連支所營業主任着任

日本航空輸送株式會社大連支所營業所主任は從來麥田支社長が兼務中の處今回辻五郎氏が同營業所主任として就任した

日滿聯絡上り機

二十一日の旅客機は午前八時周水子發十二時京城へ着陸した、乘客は平壤まで永井辰之助氏及同夫人きく子二人であつた

瓦斯移動實演會

南滿瓦斯會社では嚢に華人適用瓦斯移動實演會を千代田町に於て開催、瓦斯使用の方法並にこれが利便に就いて宣傳したところ、六日の期間に約一萬六千餘人の參觀者あり、多數の申込みがあつて頗る好成績を擧げたので更に沙河口方面に於て開催すべく準備中である

野間助教授講演

滿鐵社會課および農務課の主催で廿三日午後四時廿分から滿鐵第二集會室に於て東京帝大助教授野間啓造氏の「米穀政策に就いて」と題する講演がある筈で一般の來聽を歡迎すると

けふのラヂオ

昭和四年十月廿二日(火曜日)
自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、支那語講座「第三十課實用支那語會話」滿鐵學務課秩父固太郎
三、新內「[illegible]日記」(彈語り)田中しげ
四、筑前琵琶合奏「國の華」琴法祭山大賀旭樂本社法恂山兒玉旭靜
五、支那劇「廣華山」遼東倶樂部員
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

愛欲の窓（135）

戸川貞雄作　浅川枝次朗畫

謎（七）

黒田と瀨公の生活のなかに入つて來たことは、美知子に取つては確にいゝことだつた。彼女は、そこにはじめて生活を見たやうな氣がしてきた。生活の意義を知つたやうに思つた。彼等は、一介の勞働者でしかなかつた。だから彼等は貧乏であつた。にもかゝはらず彼等の生活は明るかつた。張り切つてゐた。仲間が、同志が、始終やつて來る。誰も彼も、元氣であつた。彼等は必ずしも健康さうではなかつたが、それは彼等が病弱だからではない。彼等の生活が、活字をいぢりインクに塗れ、輪轉機に取つ組いてゐる彼等の生活が彼等の顏色を惡くさせてゐるのである。

——生活は鬪ひだ！

——誰のための？

——プロレタリアの解放のための！

——だから我々は職場の勇士でなければならぬ！

——然り！戰線へ！

まだ新しい襖や壁に、そんなスローガンが書きなぐつてあつた。

美知子には、しかし彼等が折々集つて論じ合つてゐることはわからない。みんな菜葉服を着た勞働者でありながら、彼等の論じ合つてゐる命題はむづかしく、私立女學校中途退學者の美知子には難解だつた。それに黒田の書架にびつちりつまつてゐる書物の數の夥しいことは、怠惰な大學生を赤面させるに足るであらう！

——みんな貧乏だわ！でもみんな元氣だわ！そしてみんな素晴しい勉强家だわ！

美知子は心から黒田をはじめ彼等の仲間の生活に感じ入つた。何か知らそこには力強さが感じられるではないか？何か知らそこには未來の希望が育まれつゝあることが感じられるではないか？

小森製版の爭議は、爭議の母體たる日本印刷工聯盟の内部に分裂騷ぎが生じたり、社長小森英太があくまで頑迷な態度で突ッ張り通したりしたゝめに、職工側の慘敗に歸したけれども、どうやら爭議の犧牲者だけは出さない程度に喰ひ止めたので、彼等は再擧を謀るために、機の熟するを待つてゐるらしかつた。美知子には、一緒に住んでゐても、深い事情はわからなかつたが、しかし彼女は、別な意味で、小森英輔を憎んでゐるのだつた。小森父子が關係してゐる會社では、かうして幾千幾萬の人々が苦められてゐるのだ。今に見るがいゝ！彼女は私憤を公憤に移してゆくやうであつた。この氣持の變化は、彼女に取つては明らかに一種の救ひであつた。彼女はおぼろげながら生きてゆく上の方向を知つたやうに思つた。彼女は二度と再び自殺などを思ふまい。

その日も、彼女は黒田や瀨公と一緒に朝早く集會の住居を出て、裁判所へ出掛けて行つたのである。もとより彼女は久彦の冤罪を信じてゐるので、その日の公判には明るい希望を持つてゐた。あの人が恐るべき殺人の罪を犯す？馬鹿げた間違ひだわ！

彼女の豫期どほり、久彦は法廷で警察の供述を覆へし犯行を悉く否認したので、傍聽席の片隅で、彼女はほつと胸を撫おろしたが、しかし氣にかゝるのは次回の公判であつた。

——參考人としてあの小森英輔が出廷する！あの卑屈な男が、草野さんのために果して有利な證言をするだらうか？

美知子にはそれがひどく不安に感じられてならなかつた。

裁判所から戻つて來ると、その夜、美知子は貧しくともうまい夕飯の膳を黒田や瀨公と圍みながら公判の模樣を報告した。

「……へーえ、小森の伜が參考人として召喚されるのか？」

と、黒田も飯を頰張りながら、太い眉をひそめてみせた。

「あん畜生、何をいふか知れやあしないぞ心配だな。然し大抵大丈夫だらう。是非この次の公判にも君は傍聽に行くんだね」

「えゝ、行つてみますわ！だつてわたし心配なんですもの……」

美知子も眉をひそめながらうなづいた。

滿日文藝

雑吟　月南整理

「顏役」

大連　渓峰
顏役の名を借りに來る願ひ下げ
顏役は足に餘つた下駄をはき
顏役の唯だ一言で見がつき

萬家嶺　一柳坊
町内の祭り顏役四五度寄り

大連　若葉冠
顏役が揃ふと上座口を切り
平服に替へて爭議を考へる

大連　農夫
顏役でとき／＼遲い飯にする
双方を満足させる鮮かさ

旅順　葩水
轟式な髭が威嚴をそへてゐる
顏役が見えて一座があらたまり
威してはすかし顏役手を打たせ

旅順　桂花庵
頼まれた顏役どうせ損する氣
顏役の顏へあつまる靜かな目
獣々として顏役よくさばき
顏役の席をあけてる厚布團

「看板」

大連　青海
看板が蟬に見えてるビルデング
看板屋小供のほめる繪が出來る
看板へ錠前がいる支那の町

大連　若葉冠
おでんやへ看板娘一人居り
看板を塗り替へてゐる讓り店
美しく汚れて通す看板屋
看板へ夕陽が落ちる向側

海龍縣　杢堂
看板で包まれてゐる二階借り
時代相新看板へ足が寄り
店仕舞へ金看板を持てあまし
看板にされて娘は年をとり

朝鮮　爲捷
新開地看板重たさうに見え
看板屋その看板のみそぼらし

大連　水母
思想團つまり看板だけのこと
盛裝を看板にする美容院

大連　渓峰
三代目大看板の根がゆるみ
貞操を看板にして流行妓
看板へ子守の一人よく話し

三十里堡　吾川
トランプの看板端町から覗き
落選者立看板は立て放し

大連　素寢坊
伸製屋の鏡に映る左文字
看板を流し眼に見る同業者

大連　すみ子
看板へ夜濡れの愚痴をあびせかけ
秋陽に色あせてゐる大看板

大連　立ん坊
文明から遲れて見える老茶店

鞍山　八雲
網盲人貸屋の看板だけは讃め

奉天　白雲
開業の看板當分二割引
看板と別な噂の寄るそば屋

撫順　靖郎
看板が路次口にある紺暖簾
文なしは看板だけを見て歸り